

精華町地域創生戦略

【資料編】

平成27年10月
精華町

目 次

1. 精華町地域創生戦略策定経過	1
2. 精華町地域創生戦略 基礎調査結果	2
3. 精華町地域創生戦略策定に向けた住民アンケート調査結果報告書	19
4. 精華町地域創生戦略策定に向けた中学生アンケート調査結果報告書	71
5. 精華町地域創生戦略策定に向けた小学生アンケート調査結果報告書	89
6. 精華町まち・ひと・しごと創生有識者会議	103
7. (仮称) 精華町地域創生戦略(素案)に対する議会からの質問事項	126
8. 精華町子ども議会報告	129
9. (仮称) 精華町地域創生戦略(素案)に対するパブリック・コメント意見対応表	133

1. 精華町地域創生戰略策定經過

精華町地域創生戦略 策定経過

年度	月	内 容
平成 27 年度	3 月	○第 1 回策定委員会開催 ○第 2 回策定委員会開催
	5 月	○第 3 回策定委員会開催
	6 月	○第 4 回策定委員会開催 ○住民アンケート実施 (6/19～6/29) ○中学生アンケート実施 ○小学生アンケート実施
	7 月	○第 1 回有識者会議開催
	8 月	○人口ビジョン (素案) 作成 ○総合戦略 (素案) 作成 ○第 5 回策定委員会開催 ○子ども議会での意見聴取 ○第 6 回策定委員会開催 ○パブリックコメント実施 (8/19～9/18)
	9 月	○第 7 回策定委員会開催 ○第 2 回有識者会議開催
	10 月	○パブリックコメント意見集約 ○精華町議会への報告 (全員協議会) ○パブリックコメント結果公開 ○第 8 回策定委員会開催

2. 精華町地域創生戦略 基礎調査結果

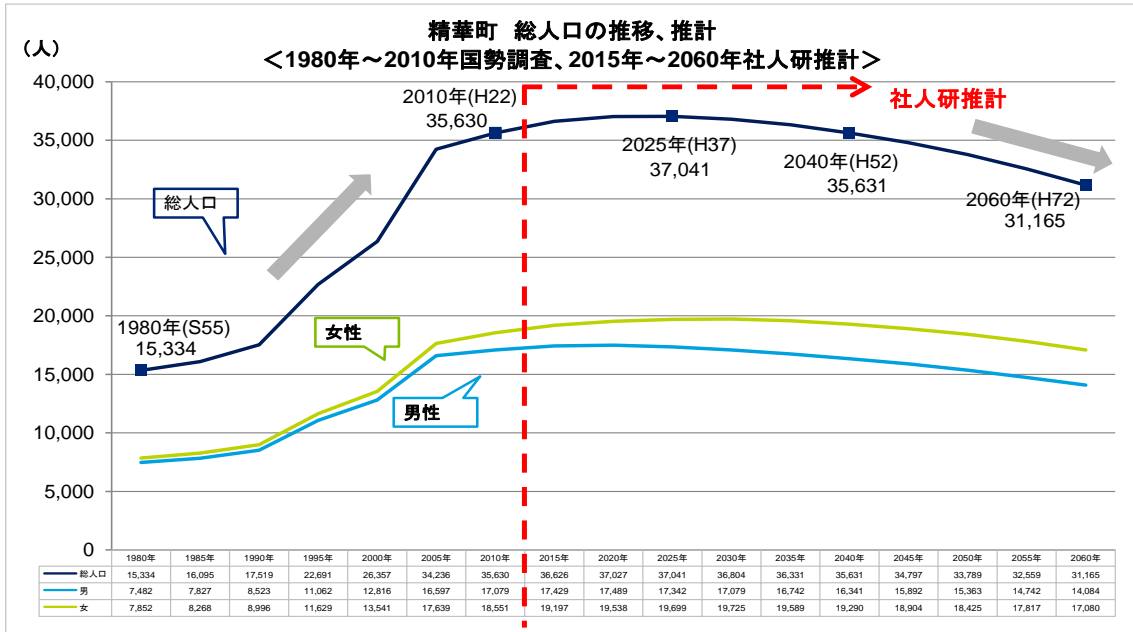
目 次

1. 総人口関係	2
(1) 総人口の推移、推計	2
(2) 年齢区分別の人口の推移	3
2. 自然増減関係	4
(1) 出生数・死亡数の推移	4
(2) 15～44歳女性人口の推移	4
(3) 女性の有配偶率の他自治体との比較	5
(4) 女性の有配偶率の推移（年齢階級別）	5
(5) 男性の有配偶率の他自治体との比較	6
(6) 男性の有配偶率の推移（年齢階級別）	6
(7) 母の年齢別出生数の推移	7
(8) 母の年齢別出生数の推移（1995年＝100）	7
(9) 出生の状況（2008～2012年）	8
(10) 合計特殊出生率の状況	8
(11) 離婚率の推移と比較	9
3. 社会増減関係	10
(1) 転入・転出数の推移	10
(2) 年齢区分別、性別純移動者（転入－転出）の状況	10
(3) 転入元の内訳	11
(4) 転出先の内訳	11
(5) 転入元及び転出先の内訳（男性、年齢階級別）	12
(6) 転入元及び転出先の内訳（女性、年齢階級別）	13
4. 自然増減と社会増減の影響	14
(1) 自然増減と社会増減が人口増減に与える影響度分析①	14
(2) 自然増減と社会増減が人口増減に与える影響度分析②	14
5. 労働関係	15
(1) 男女別産業別従業者数の状況	15
(2) 年齢階級別、男女別産業人口	16
(3) 男性の年齢階級別労働力率	16
(4) 女性の年齢階級別労働力率	17
(5) 通勤者の状況	17

1. 総人口関係

(1) 総人口の推移、推計

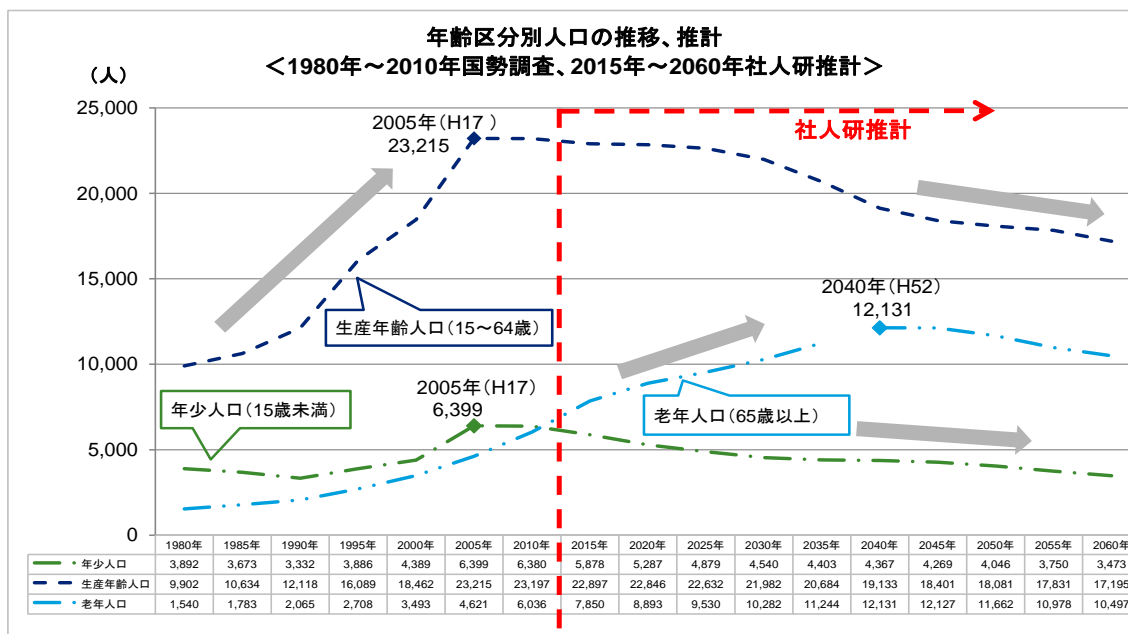
- ・ 総人口は1980年から現在まで増加し続けているが、2005年以降は増加スピードが鈍化している。
- ・ 今後、総人口は2025年まで微増し、その後減少すると見込まれている。



※出所 国勢調査（1980年～2010年）、社人研推計（2015年～2060年）

(2) 年齢区分別の人口の推移

- ・ 生産年齢人口は2005年以降、横ばいから微減傾向になると見込まれている。
- ・ 老年人口は2040年まで増加し続けた後、維持・微減傾向になる。
- ・ 年少人口は2006年をピークとして減少しており、2015年以降は老年人口を下回ると見込まれている。

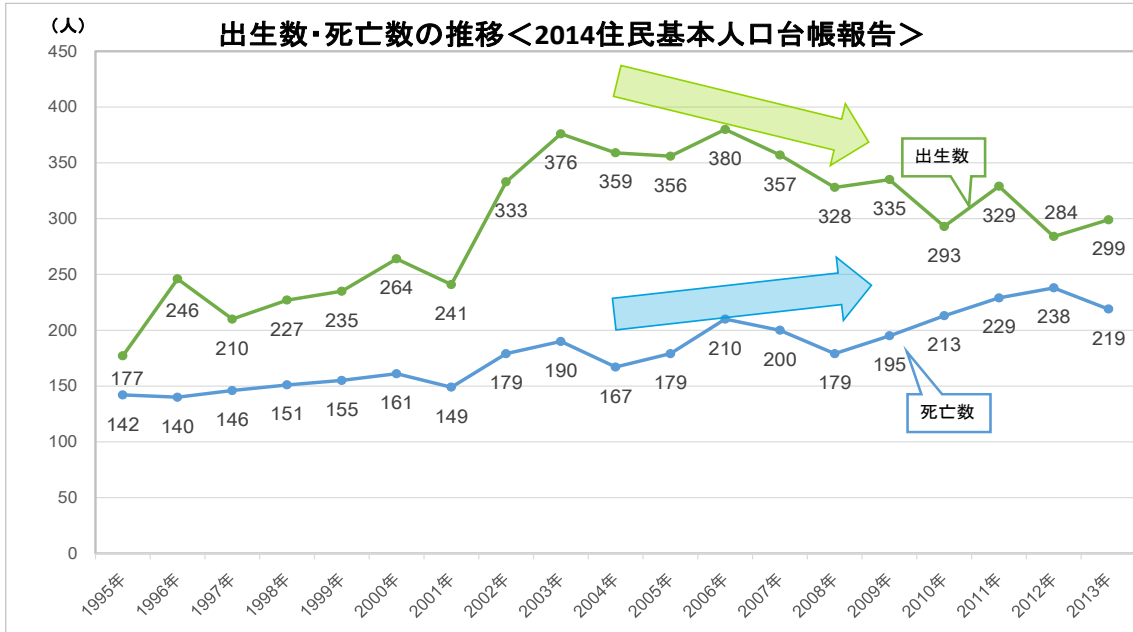


※出所 国勢調査（1980年～2010年）、社人研推計（2015年～2060年）

2. 自然増減関係

(1) 出生数・死亡数の推移

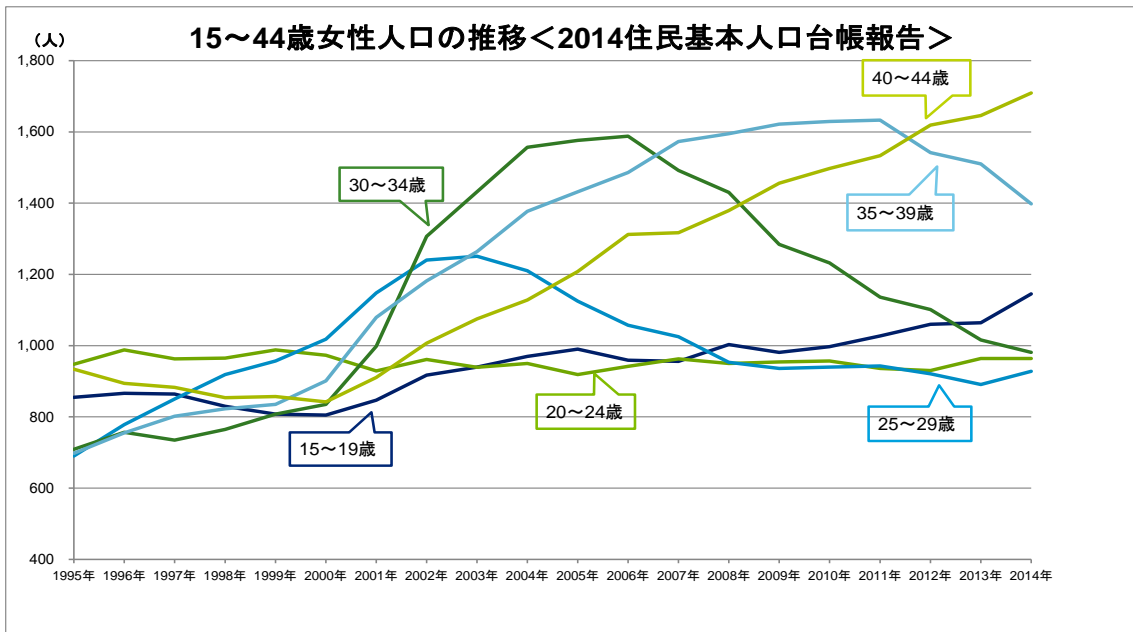
- ・ 出生数が死亡数を上回っており、自然増の状態が続いている。
- ・ 近年、死亡数は微増、出生数は微減傾向にある。



※出所 住民基本人口台帳報告 (2014年)

(2) 15~44歳女性人口の推移

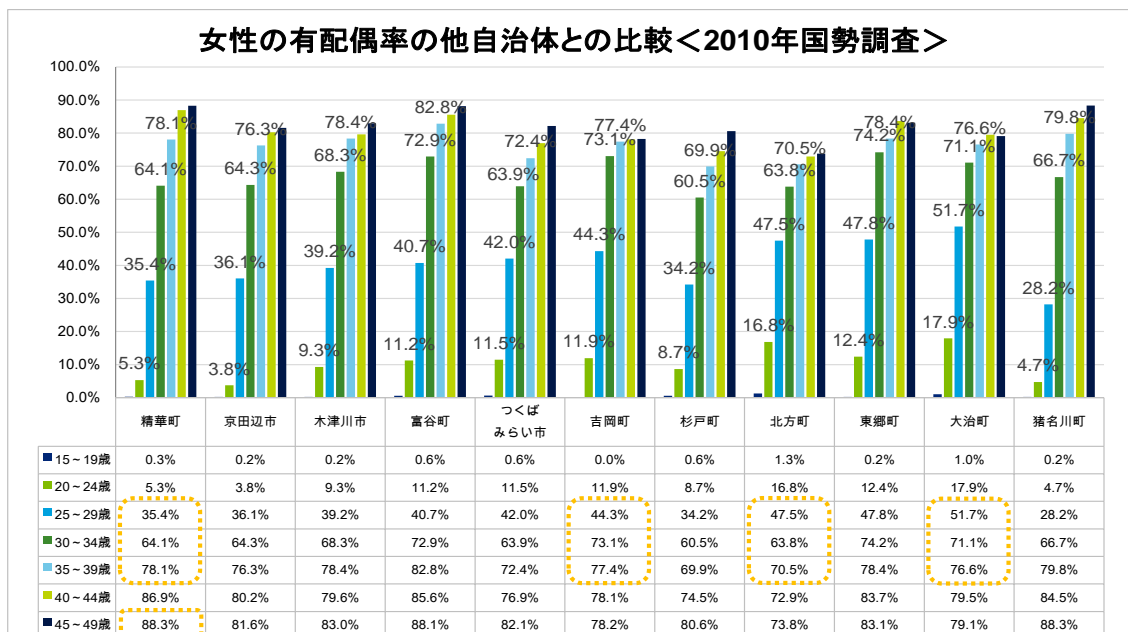
- ・ 25~34歳女性の人口はこの約10年で減少しているが、15~19歳や35~44歳の女性の人口は増加している。



※出所 住民基本人口台帳報告 (2014年)

(3) 女性の有配偶率の他自治体との比較

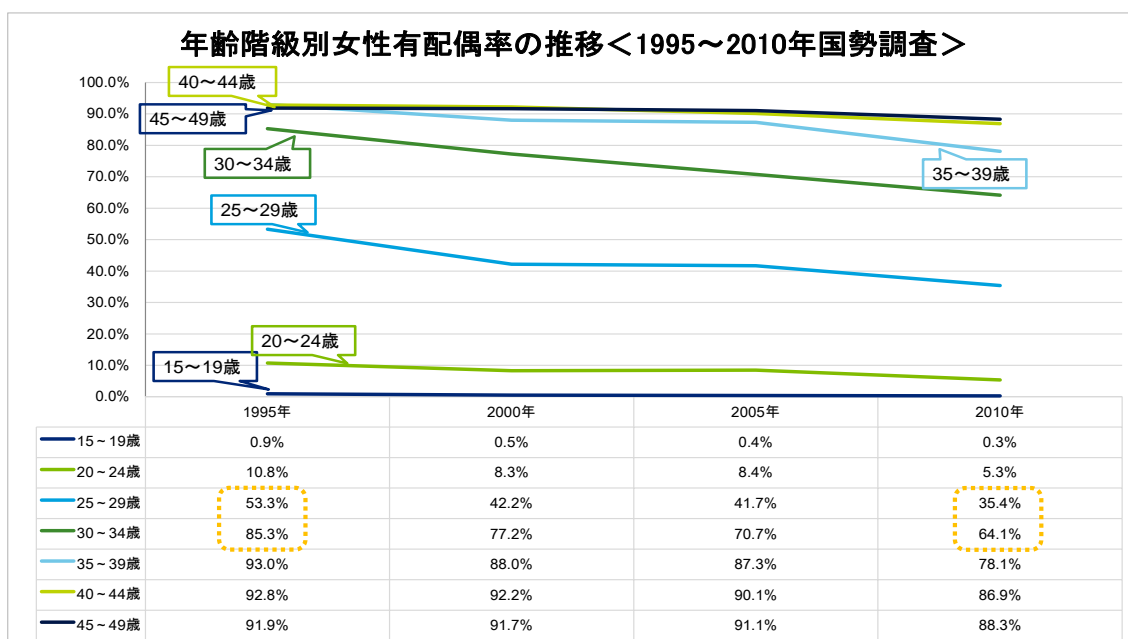
- ・ 吉岡町や北方町、大治町と比較すると 25～29 歳時点での有配偶率は本町の方が低いが、35～39 歳以降では本町の方が高い。
- ・ 本町の 45～49 歳では比較自治体の中で有配偶率が最も高い。



※出所 国勢調査（2010年：総務省）

(4) 女性の有配偶率の推移（年齢階級別）

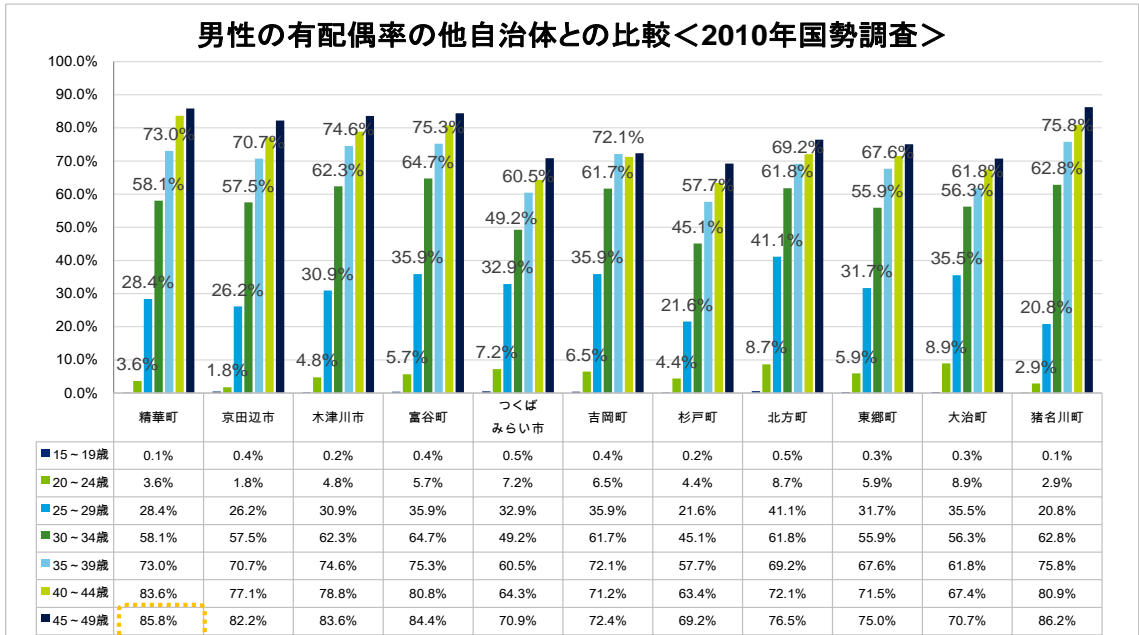
- ・ 1995～2010年の15年間の間で、25～34歳女性の有配偶率は約20%減少しており、その他の年代では微減している。



※出所 国勢調査（1995～2010年：総務省）

(5) 男性の有配偶率の他自治体との比較

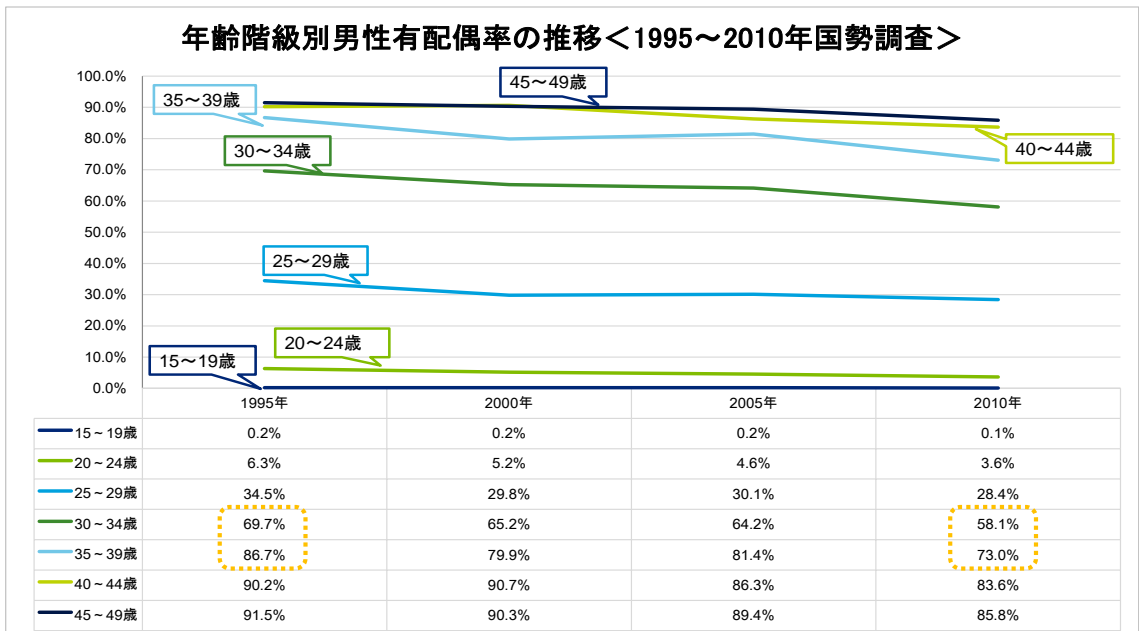
- ・ 女性と比較して、男性の方が全体的に有配偶率が低い。
- ・ 40～49歳では、比較自治体の中で2番目に高い有配偶率である。



※出所 国勢調査（2010年）

(6) 男性の有配偶率の推移（年齢階級別）

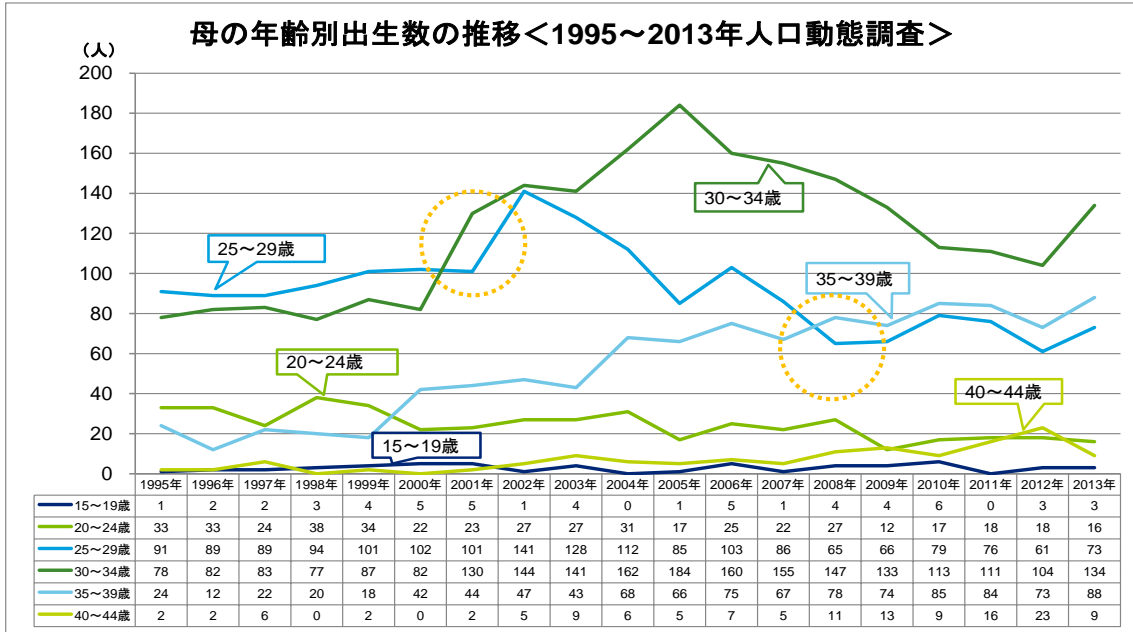
- ・ 1995～2010年の15年間の間で、30～39歳男性の有配偶率は10%以上減少しており、その他の世代でも微減している。



※出所 国勢調査（1995～2010年）

(7) 母の年齢別出生数の推移

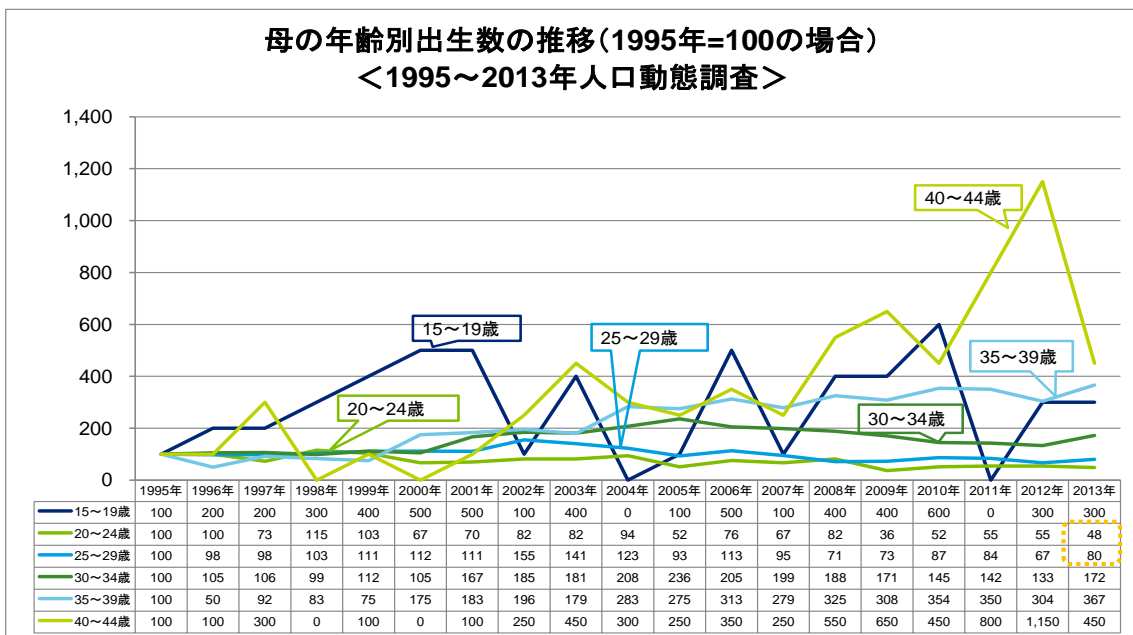
- 25～29歳の出生数に着目すると、2001年以降は30～34歳の出生数を下回り、2008年以降は35～39歳の出生数を下回って推移している。



※出所：人口動態調査（1995～2013年）

(8) 母の年齢別出生数の推移（1995年=100）

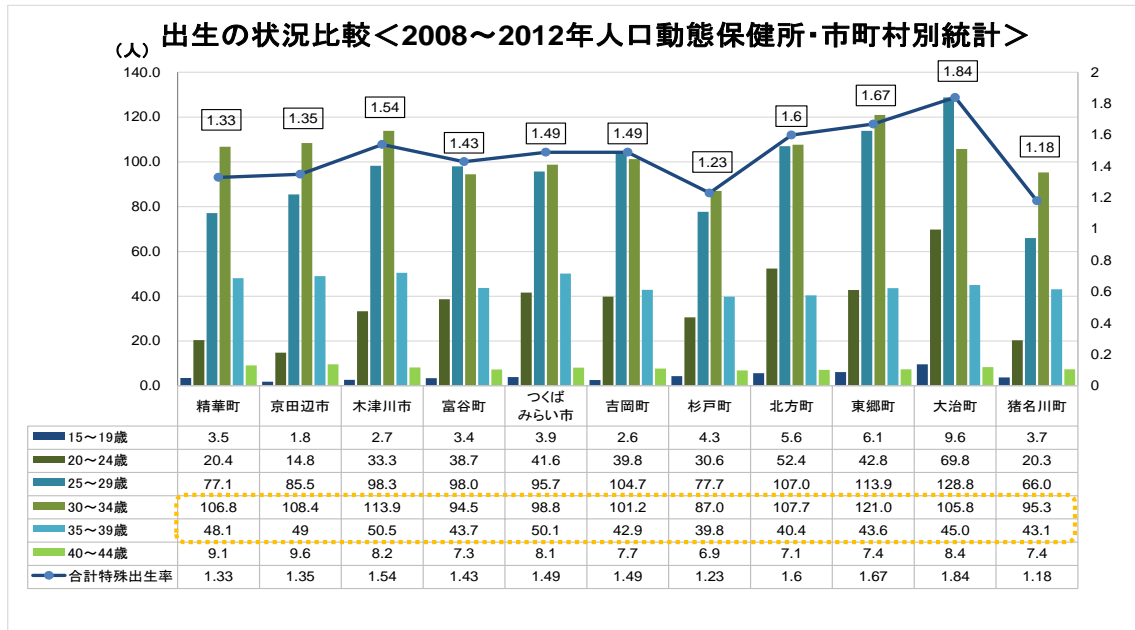
- 1995年を100とした場合、35歳以上の出生数は増加し、20～29歳の出生数は減少している。
- 30歳以上の出生数が増加しており、出産年齢が高くなっている。



※出所 人口動態調査（1995～2013年）

(9) 出生の状況

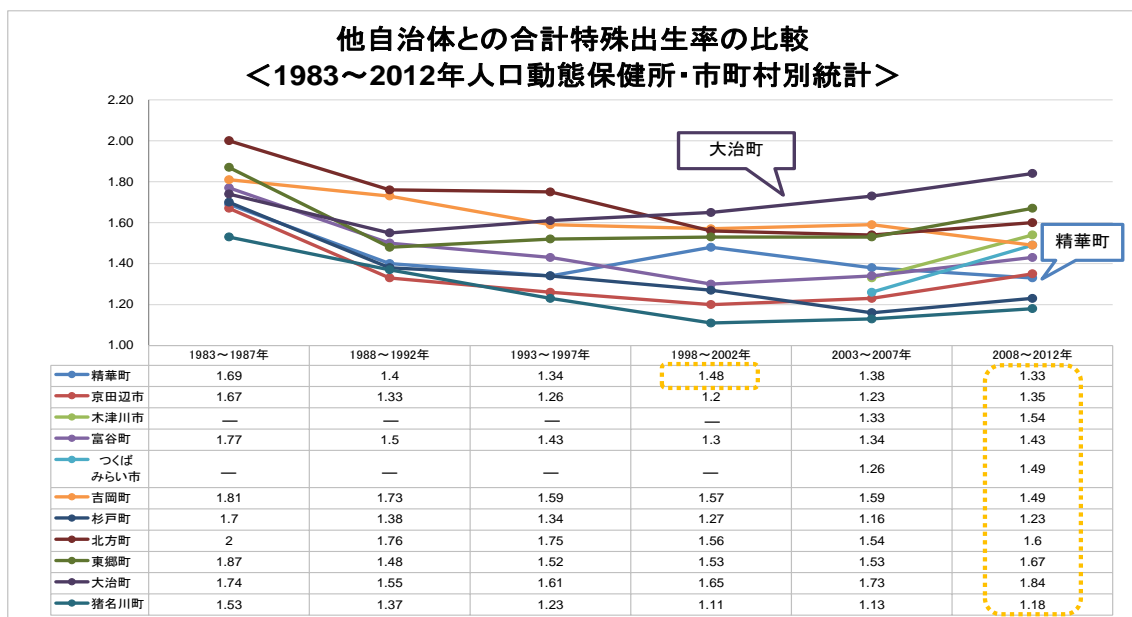
- ・ 合計特殊出生率では、本町は比較自治体の中で3番目に低い。
- ・ 25～29歳の層における出生数は比較自治体の中で2番目に低い、30～34歳の層では5番目に高い。



※出所 人口動態保健所・市町村別統計（2008～2012年）

(10) 合計特殊出生率の状況

- ・ 2008～2012年における本町の合計特殊出生率は、比較自治体の中で3番目に低い。
- ・ 本町は1998～2002年に合計特殊出生率が一度上昇し、その後下降傾向にある。

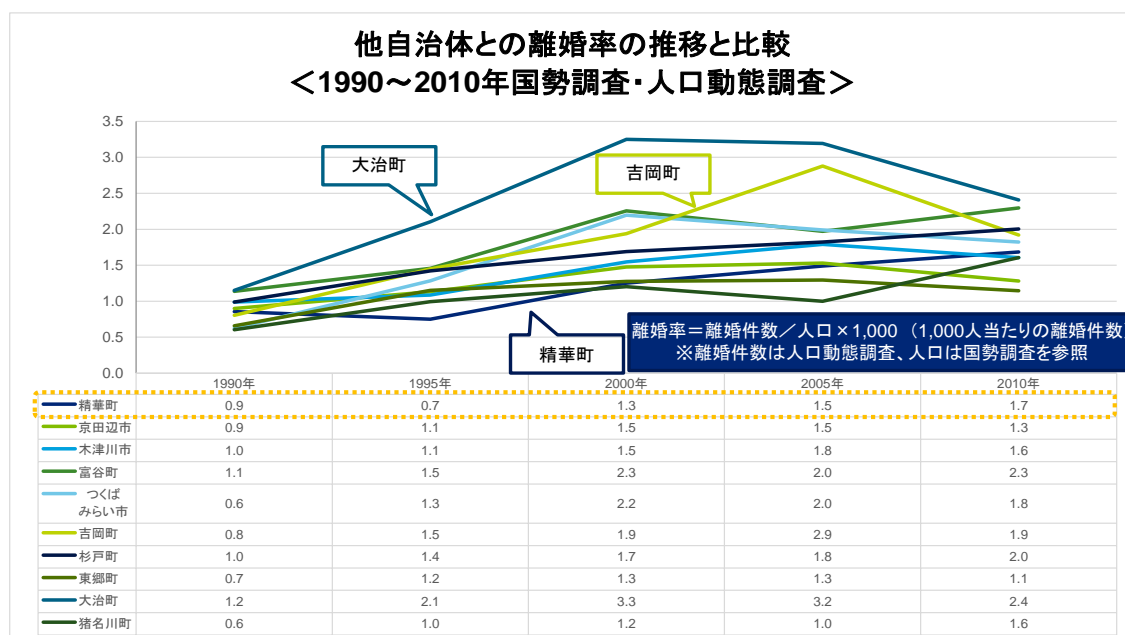


※木津川市とつくばみらい市は合併前のデータが存在しないため、「—」と表示

※出所 人口動態保健所・市町村別統計（1983～2012年）

(11) 離婚率の推移と比較<1980～2010年国勢調査・人口動態調査>

- ・ 本町の2010年の離婚率は1990年と比較すると約2倍になっている。

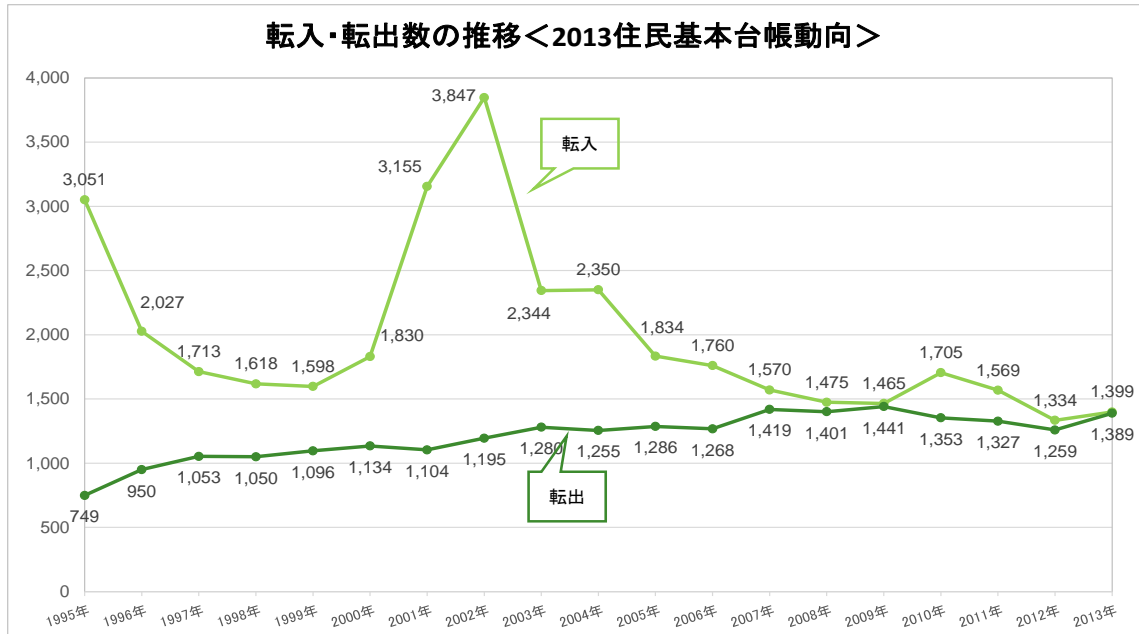


※出所 国勢調査 (1990～2010年)、人口動態調査 (1990～2010年)

3. 社会増減関係

(1) 転入・転出数の推移

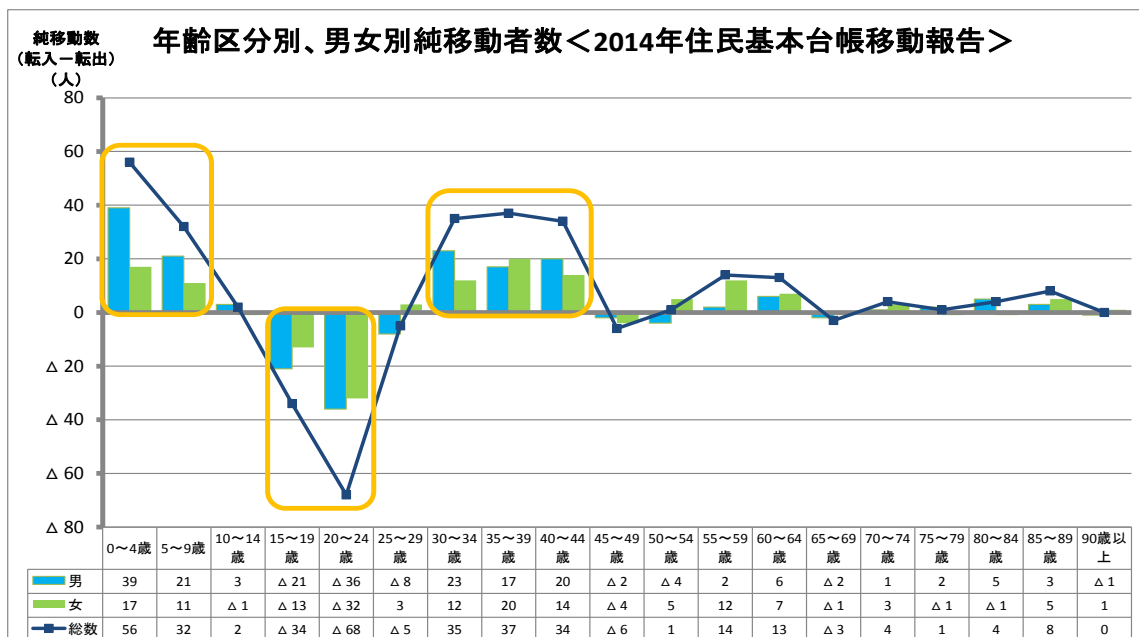
- ・ 本町からの転入数が転出数を上回るため、人口の社会増が続いていた。
- ・ 2007年以降は転入数と転出数との差が縮小している。



※出所 住民基本台帳動向 (2013年)

(2) 年齢区分別、性別純移動者（転入－転出）の状況

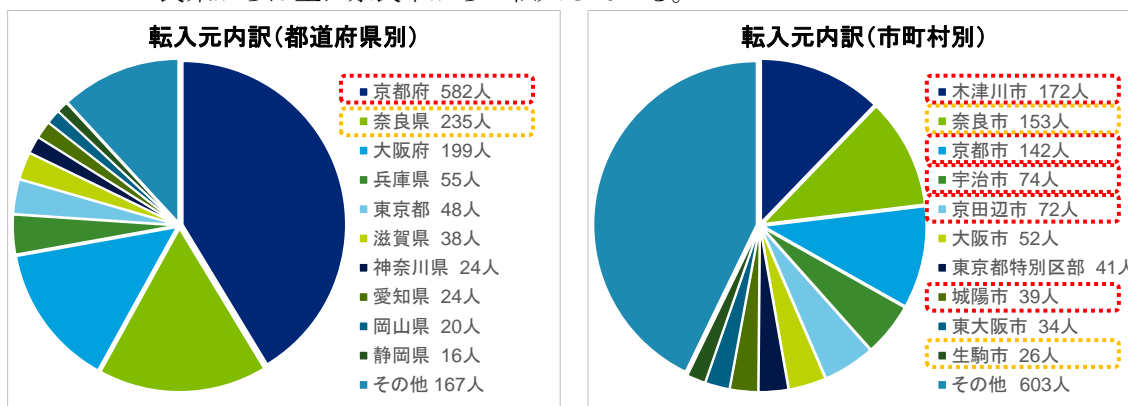
- ・ 30～44歳の層とその子供と考えられる0～9歳の層では、ともに転入超過になっている。
- ・ 15～24歳の層では転出超過になっている。



※出所 住民基本台帳移動報告 (2014年)

(3) 転入元の内訳<2014 住民基本台帳人口移動報告>

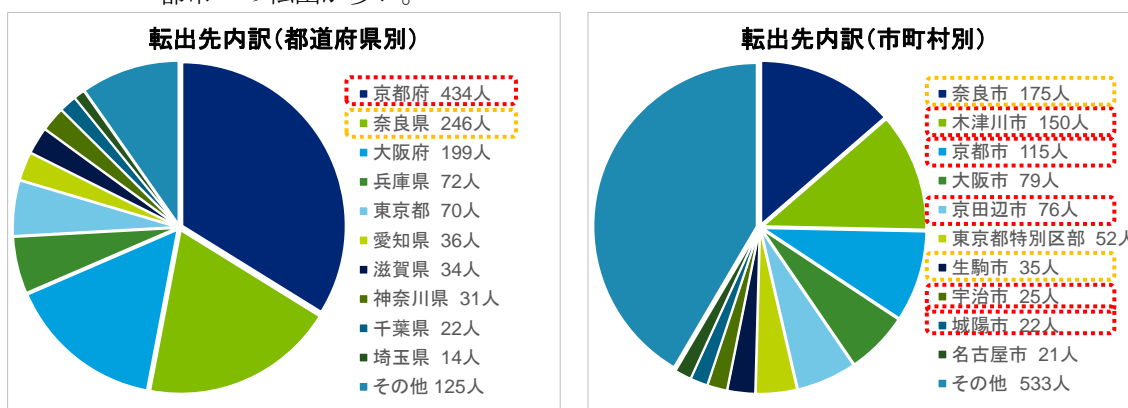
- ・ 都道府県別では、京都府からの転入が最も多く、次いで奈良県が多い。
- ・ 市町村別では、京都府からは木津川市や京都市など多数の市から転入しているが、奈良県からは主に奈良市からの転入している。



※出所 住民基本台帳移動報告 (2014年)

(4) 転出先の内訳<2014 住民基本台帳人口移動報告>

- ・ 都道府県別では、京都府への転出が最も多く、次いで奈良県が多い。
- ・ 市町村別では、奈良県の中では奈良市に転出しており、京都府の中では木津川市や京都市への転出が多い。



※出所 住民基本台帳移動報告 (2014年)

(5) 転入元及び転出先の内訳（男性、年齢階級別）

- ・ 転入元は、20～29歳と30～39歳の層ともに、奈良県や京都府の近隣市町村が多い。
- ・ 転出先は近畿圏が大半を占めるものの、20～29歳の層では東京都への転出も目立つ。

転入元

	10～19歳		20～29歳		30～39歳	
第1位	木津川市	6人	木津川市	20人	奈良市	26人
第2位	岡山県	4人	京都市	16人	木津川市	23人
第3位	東京都	3人	奈良市	13人	京都市	17人
第4位	京都市	3人	京田辺市	9人	京田辺市	11人
第5位	宇治市	3人	滋賀県	8人	兵庫県	9人
第6位	奈良市	3人	大阪市	7人	大阪市	8人
第7位	岐阜県	2人	宇治市	6人	宇治市	8人
第8位	静岡県	2人	生駒市	6人	東京都	8人
第9位	枚方市	2人	東京都	5人	滋賀県	4人
第10位			福岡県	5人	愛知県	4人
	その他	16人	その他	79人	その他	66人
	総数	44人	総数	174人	総数	184人

※各都道府県での合算

※東京都は特別区部

転出先

	10～19歳		20～29歳		30～39歳	
第1位	木津川市	7人	京都市	20人	木津川市	19人
第2位	奈良市	7人	木津川市	16人	京都市	15人
第3位	京田辺市	6人	東京都	15人	奈良市	15人
第4位	京都市	5人	奈良市	14人	大阪市	12人
第5位	兵庫県	4人	兵庫県	13人	京田辺市	11人
第6位	生駒市	3人	大阪市	12人	東京都	8人
第7位	東京都	2人	滋賀県	12人	兵庫県	7人
第8位	城陽市	2人	愛知県	10人	滋賀県	6人
第9位	神奈川県	2人	京田辺市	9人	愛知県	4人
第10位	岡山県	2人	神奈川県	6人	生駒市	4人
	その他	22人	その他	90人	その他	43人
	総数	62人	総数	217人	総数	144人

※出所 住民基本台帳移動報告（2014年）

(6) 転入元及び転出先の内訳（女性、年齢階級別）

- ・ 転入元は、20～29歳と30～39歳の層ともに、奈良県や京都府の近隣市町村が多く、男性と同様の傾向である。
- ・ 転出先は、男性の傾向とは異なり東京都への転出は限定的で、近隣市町村への転出が上位である。

		10～19歳		20～29歳		30～39歳	
転入元	第1位	奈良市	5人	京都市	30人	木津川市	20人
	第2位	木津川市	3人	奈良市	22人	京都市	19人
	第3位	宇治市	3人	木津川市	18人	奈良市	18人
	第4位	京都市	2人	京田辺市	7人	京田辺市	13人
	第5位	京田辺市	2人	兵庫県	7人	宇治市	10人
	第6位	兵庫県	2人	滋賀県	7人	兵庫県	9人
	第7位	八幡市	2人	大阪市	6人	大阪市	9人
	第8位			東京都	6人	東京都	8人
	第9位			城陽市	6人	生駒市	6人
	第10位			枚方市	4人	愛知県	5人
	その他	11人	その他	62人	その他	58人	
	総数	30人	総数	175人	総数	175人	

		10～19歳		20～29歳		30～39歳	
転出先	第1位	奈良市	12人	京都市	29人	木津川市	23人
	第2位	木津川市	4人	大阪市	20人	奈良市	17人
	第3位	京田辺市	3人	奈良市	19人	京都市	13人
	第4位	愛知県	3人	木津川市	15人	大阪市	10人
	第5位	京都市	2人	兵庫県	14人	兵庫県	9人
	第6位	生駒市	2人	京田辺市	12人	京田辺市	7人
	第7位	大阪市	2人	東京都	12人	東京都	7人
	第8位			愛知県	6人	生駒市	5人
	第9位			滋賀県	5人	城陽市	5人
	第10位			神奈川県	5人	千葉県	4人
	その他	16人	その他	67人	その他	44人	
	総数	44人	総数	204人	総数	144人	

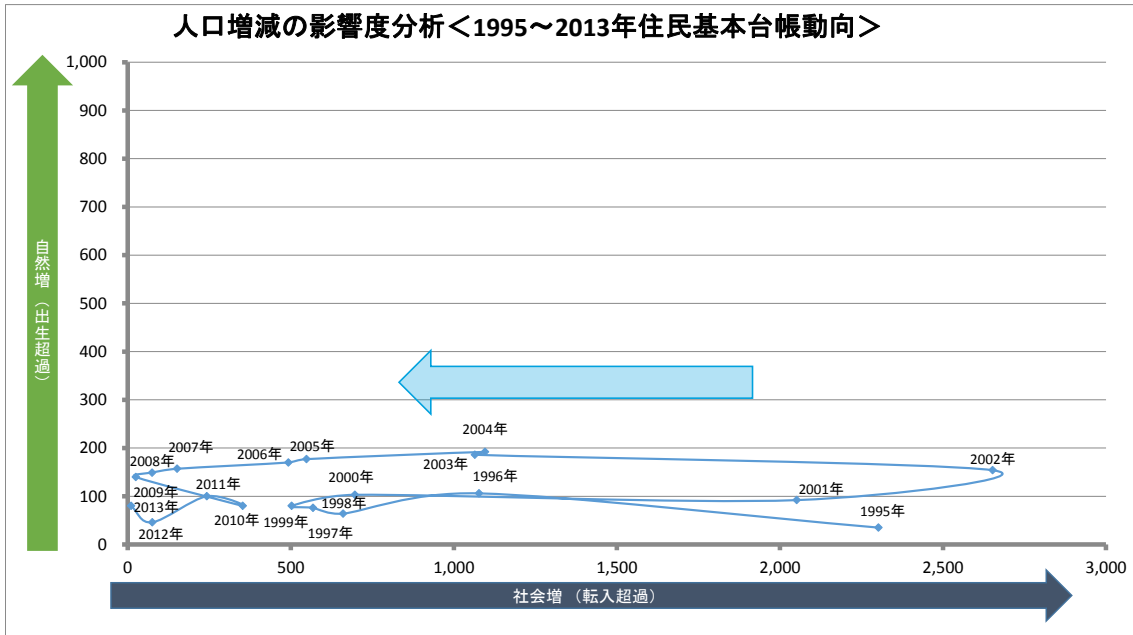
※各都道府県での合算
 ※東京都は特別区部

※出所 住民基本台帳移動報告（2014年）

4. 自然増減と社会増減の影響

(1) 自然増減と社会増減が人口増減に与える影響度分析①

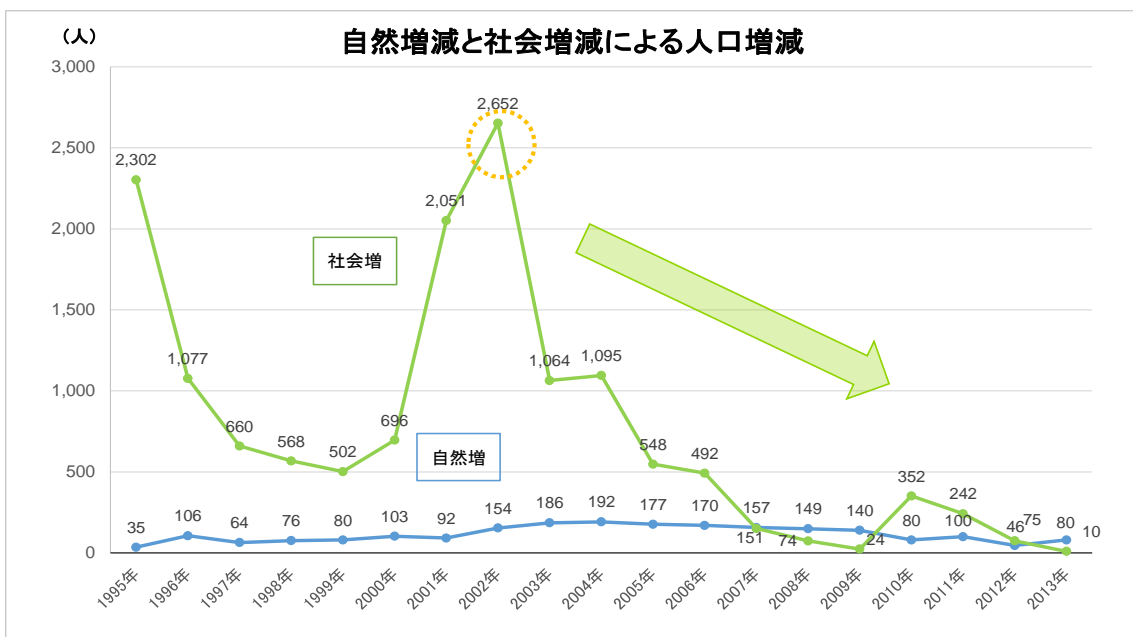
- ・ 自然増に関しては、2004年以降に増加幅が減少傾向にある。
- ・ 社会増に関しては、1995年以降転入超過が続いていたが、近年はその増加幅が縮小してきている。



※出所 住民基本台帳動向 (1995～2013年)

(2) 自然増減と社会増減が人口増減に与える影響度分析②

- ・ 社会増は近年減少し、自然増は横ばいが続いている。
- ・ 2002年に大きく社会増の人数が増え、その後減少している。

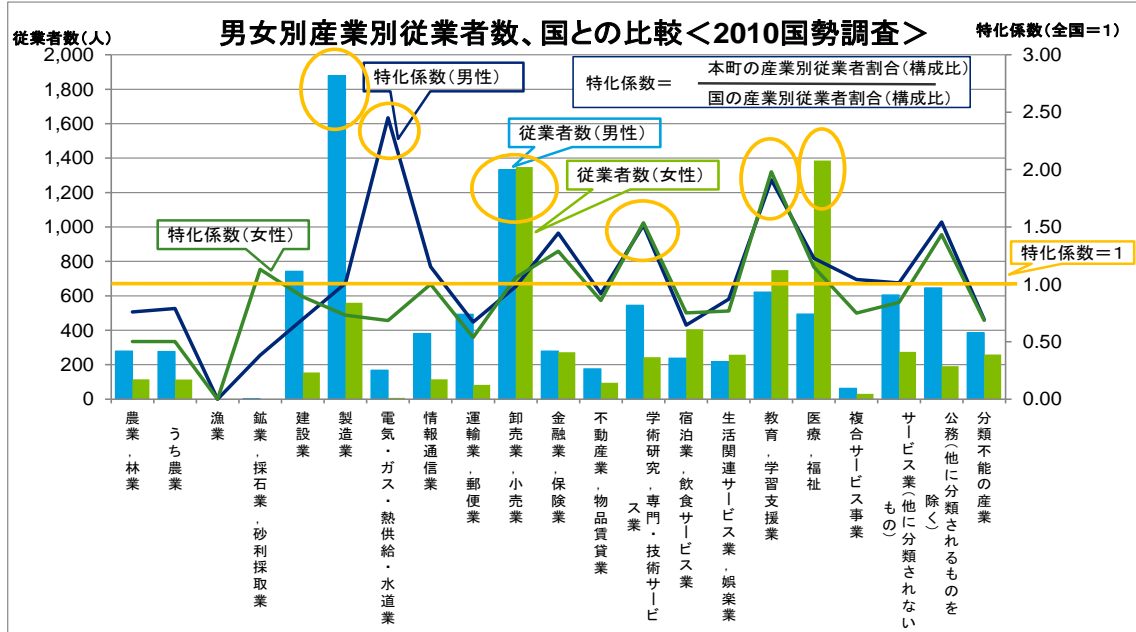


※出所 住民基本台帳動向 (1995～2013年)

5. 労働関係

(1) 男女別産業別従業者数の状況

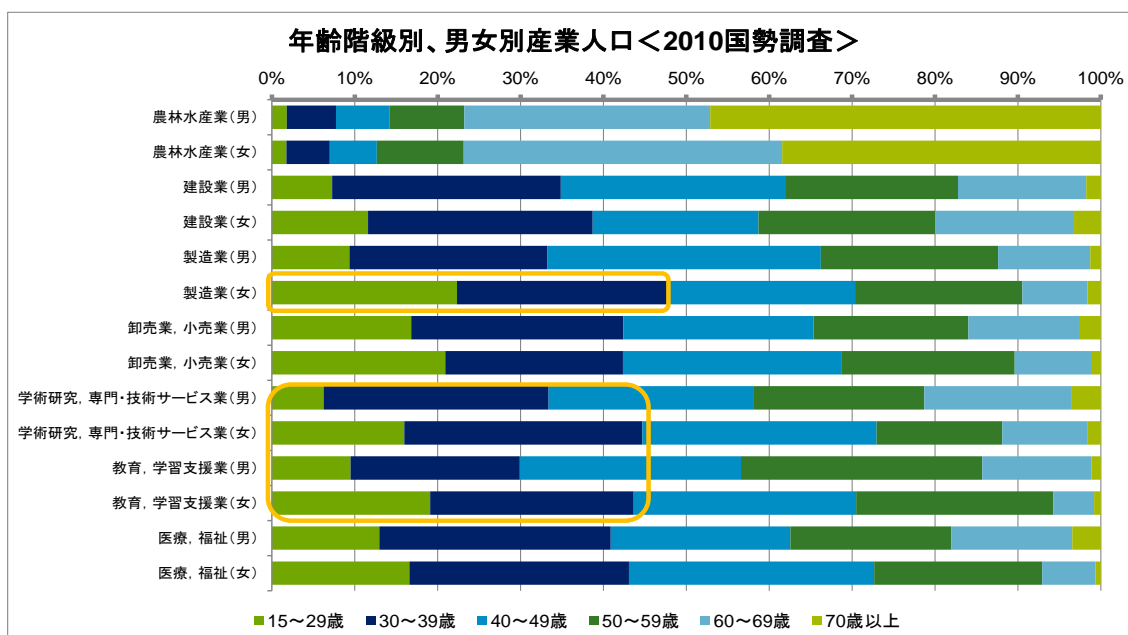
- ・ 従事者では、男性は「製造業」・「卸売業，小売業」が、女性は「卸売業，小売業」・「医療，福祉」が多い。
- ・ 特化係数では、男性の場合「電気，ガス，熱供給，水道業」が非常に高く、男性女性ともに「学術研究，専門・技術サービス業」と「教育，学習支援業」が高い。



※出所 国勢調査 (2010年)

(2) 年齢階級別、男女別産業人口

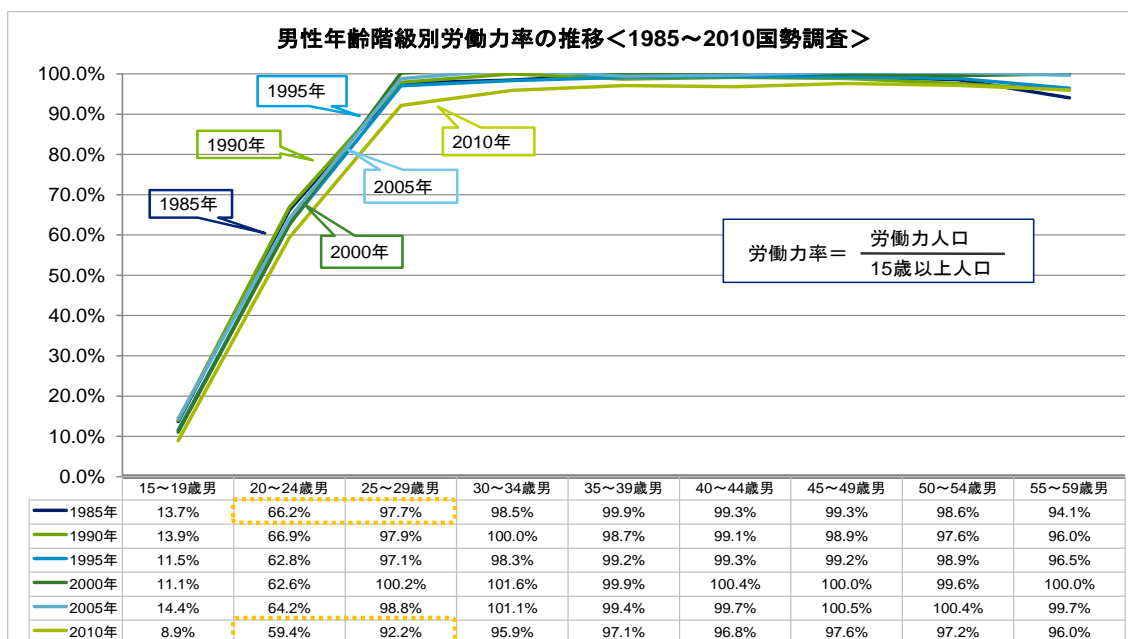
- ・ 女性の15～39歳の層では、「製造業」の従事者割合が最も高い。
- ・ 「学術研究，専門・技術サービス業」「教育，学習支援業」において、男性の39歳以下と女性の39歳以下を比べると、10%以上女性の方が高い。



※出所 国勢調査（2010年）

(3) 男性の年齢階級別労働力率

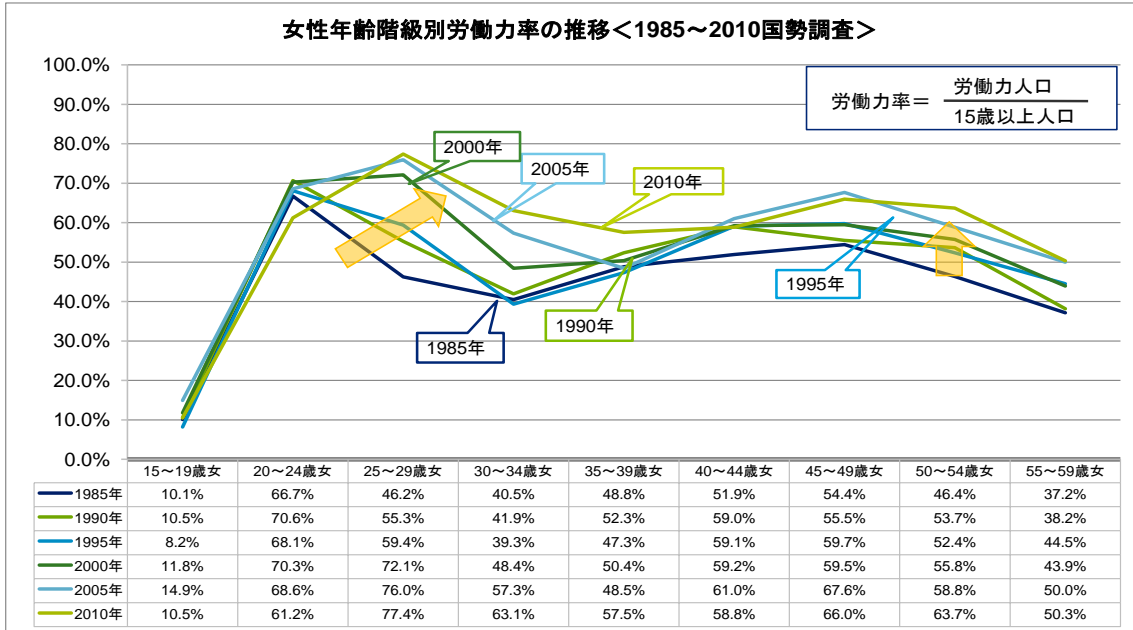
- ・ 2010年の労働力率を1985年と比較すると、20～24歳の層では66.2%（1985年）から59.4%（2010年）に低下し、25～29歳の層では97.7%（1985年）から92.2%（2010年）に低下しており、20～29歳の層で約5%低下している。



※出所 国勢調査（1985～2010年）

(4) 女性の年齢階級別労働力率

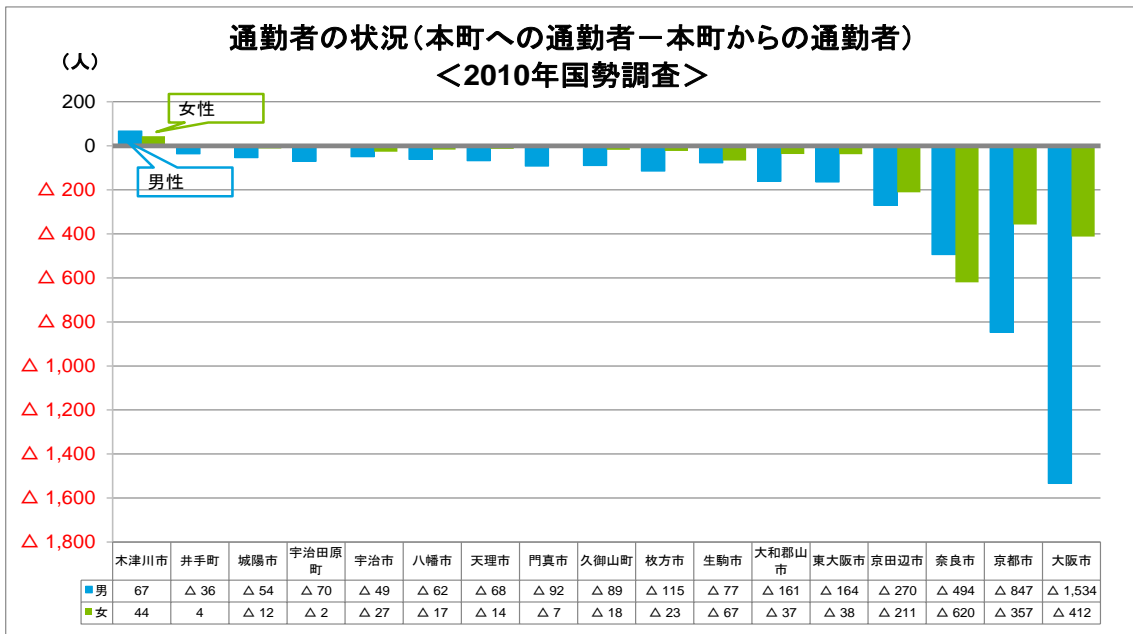
- ・ 1985年以降、全体的に労働力率が上昇傾向にある。
- ・ 1985年と2010年を比較すると、M字カーブの底が浅くなっている。



※出所 国勢調査 (1985~2010年)

(5) 通勤者の状況

- ・ 本町から他市町村への通勤者が多い。
- ・ 男性は大阪市への通勤者が最も多いが、女性は奈良市への通勤者が最も多い。



※出所 国勢調査 (2010年)

3. 精華町地域創生戦略策定に向けた 住民アンケート調査結果報告書

目 次

1 調査の概要	2
① 調査の目的	
② 調査方法と回収結果	
③ 調査項目	
④ 留意点	
2 調査結果	3
(1) 回答者の属性に関する調査結果.....	3
(2) 住みやすさに関する調査結果.....	6
① 住みやすさ意識調査	
② 住みやすさの理由調査	
③ 住みにくさの理由調査	
(3) 精華町の魅力や誇れるものに関する調査結果.....	8
① 魅力や誇れるものに関する調査	
(4) 精華町の今後のまちづくりに関する調査結果.....	9
① 子育てできる環境整備への取り組み調査	
② 経済活性化のためのまちづくり調査	
③ 若い人がいきいきと活動できる環境実現のための取り組み調査	
(5) 精華町の現状に関する調査結果.....	12
① 人口の推計結果の認知度調査	
② 人口減少に対する意見調査	
③ 人口減少に伴う不安に感じる事調査	
(6) 結婚・出産・子育てに対する考え方に関する調査結果.....	15
① 結婚・未婚の状態調査	
② 結婚をしていない理由調査	
③ 結婚を支援するための行政としての取り組み調査	
④ 子育てに関するイメージ調査	
⑤ 子どもの人数に関する調査	
(7) 町の広報に関する調査結果.....	23
① 町行政が発信している情報の入手方法調査	
② 町行政の発信情報に関する意見調査	
③ 聞いたことのある精華町のキーワード調査	
(8) 働く場所に関する調査結果.....	26
① 理想の勤務地調査	
② 勤務地選択の優先順位調査	
③ 就職や転職時の利用方法調査	
(9) 転入に関する調査結果.....	29
① 転入時期調査	
② 転入前の市町村調査	
③ 転入のきっかけ調査	
④ 転入の理由調査	
⑤ 転入前の市町村と精華町の比較調査	
(10) 自由意見.....	36
3 資料	41

1 調査の概要

① 調査の目的

①安定した雇用の創出、②地方へのひとの流れの創出、③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるための支援などにより、地域の活性化を目指す「精華町まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮）」の策定にあたり、町民の町政に対する評価やニーズを統計的に把握することを目的として調査を実施しました。

② 調査方法と回収結果

○ 調査対象

平成 27 年 4 月 1 日時点における住民基本台帳から、満 18 歳以上の 2,500 人を無作為抽出しました。

○ 調査方法

調査票を郵送にて配布・回収しました。

○ 調査期間

平成 27 年 6 月

○ 回収結果

抽出数 (a)	有効回答数 (b)	有効回答率 (b/a)
2,500 件	952 件	38.1%

③ 調査項目

- 回答者の属性に関する質問
- 住みやすさに関する質問
- 精華町の魅力や誇れるものに関する質問
- 精華町の今後のまちづくりに関する質問
- 精華町の現状に関する質問
- 結婚・出産・子育てに対する考え方に関する質問
- 町の広報に関する質問
- 働く場所に関する質問
- 転入に関する質問

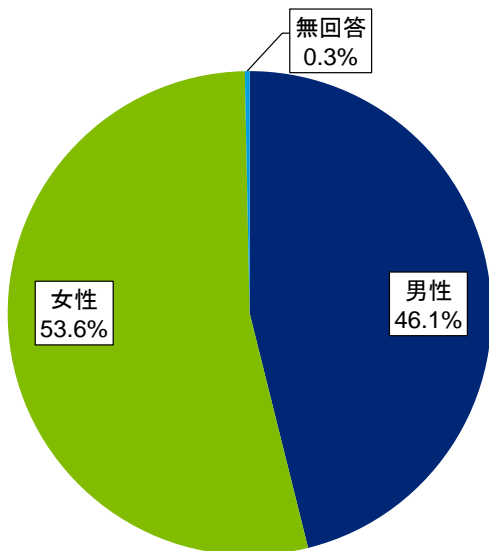
④ 留意点

- 結果は百分率で表示しました。百分率は小数第 2 位を四捨五入しているため、比率の合計が 100%と一致しない場合があります。
- 複数回答可の質問の百分率の合計は、100%を超えます。住みやすさに関する質問結果
- 二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。
- 各質問のサンプル数は「n=」で表しています。

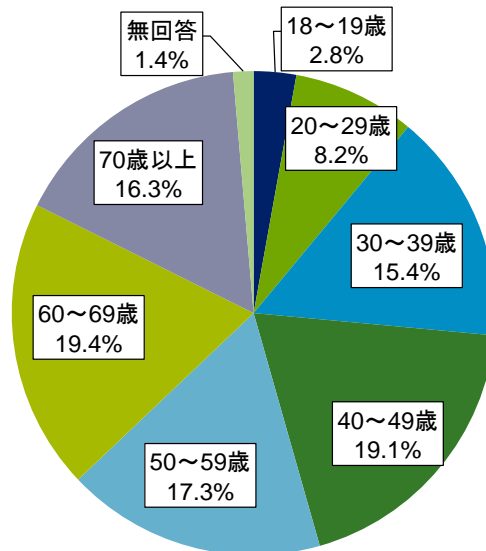
2 調査結果

(1) 回答者の属性に関する調査結果

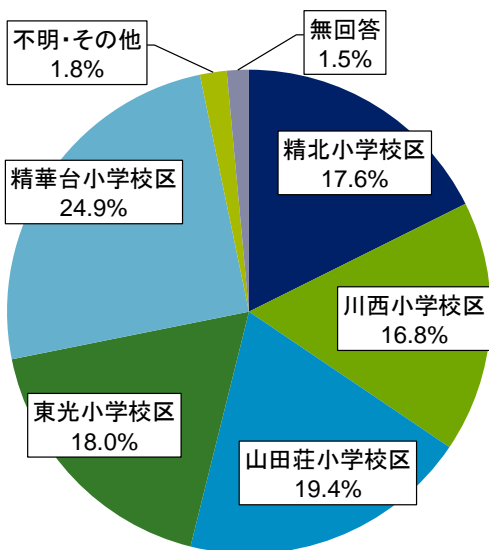
① 性別 (n=952)



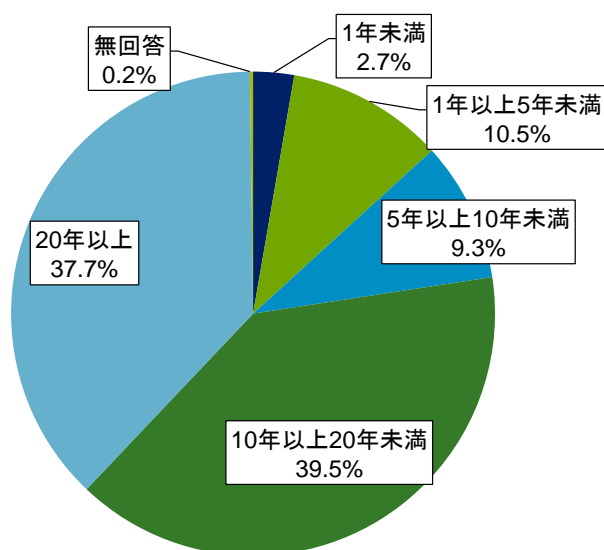
② 年齢 (n=952)



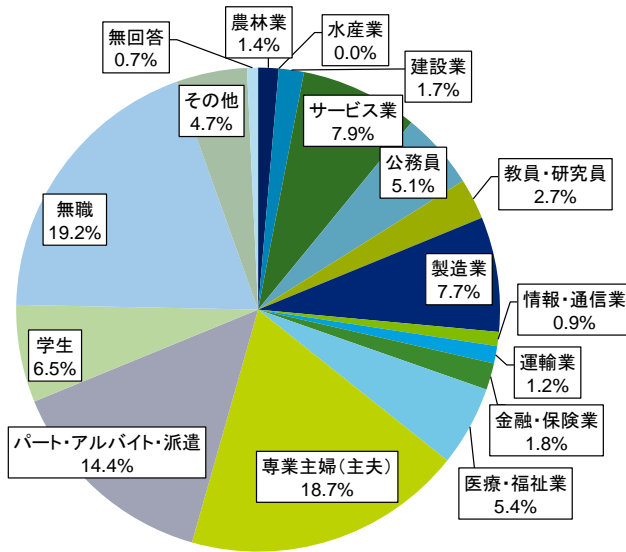
③ 居住地 (n=952)



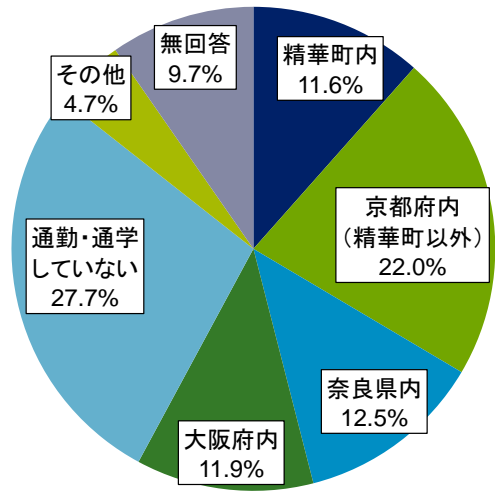
④ 居住年数 (n=952)



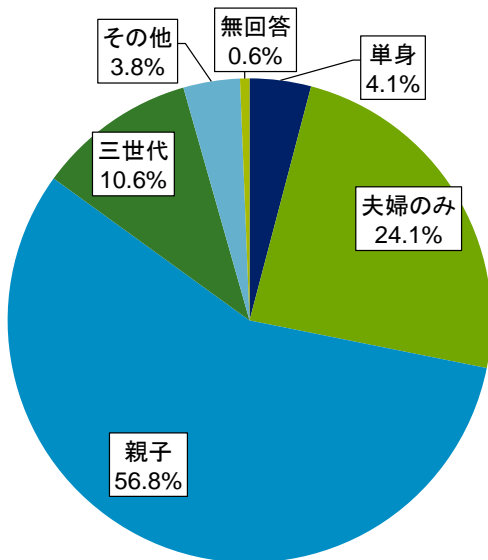
⑤ 職業 (n=952)



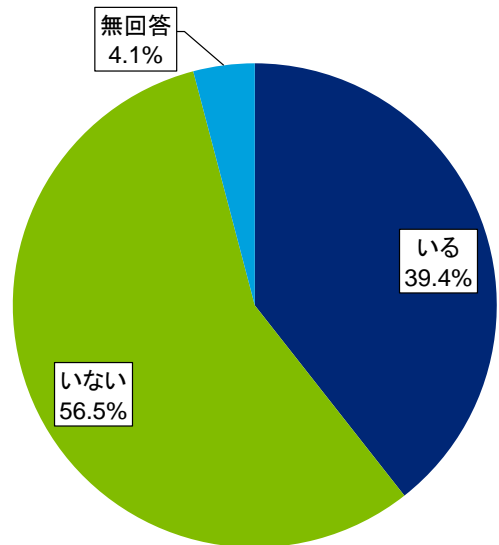
⑥ 通勤・通学の場所 (n=952)



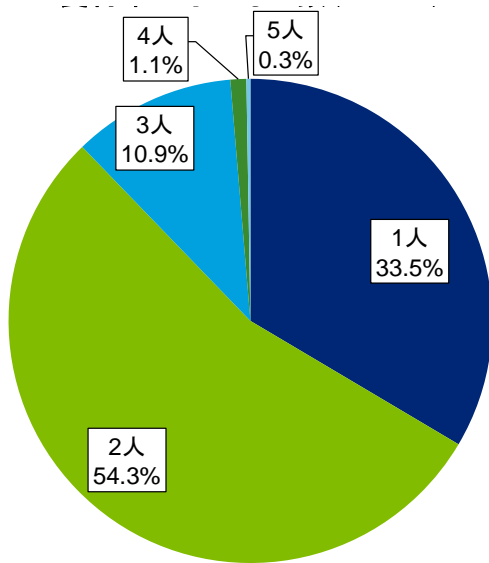
⑦ 家族構成 (n=952)



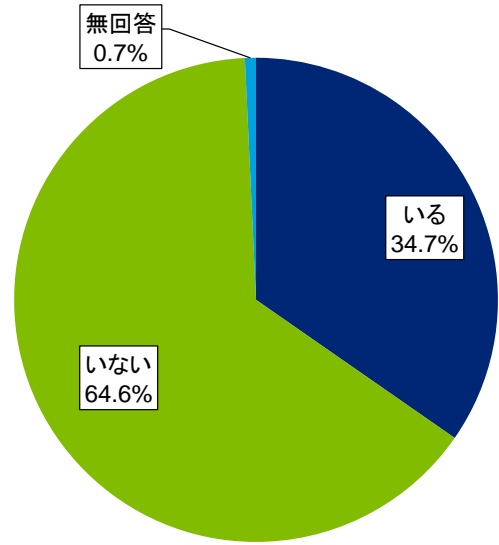
⑧ 養育中の子ども (n=952)



⑨ 養育中の子どもの数 (n=375)



⑩ 高齢者の同居家族 (n=952)

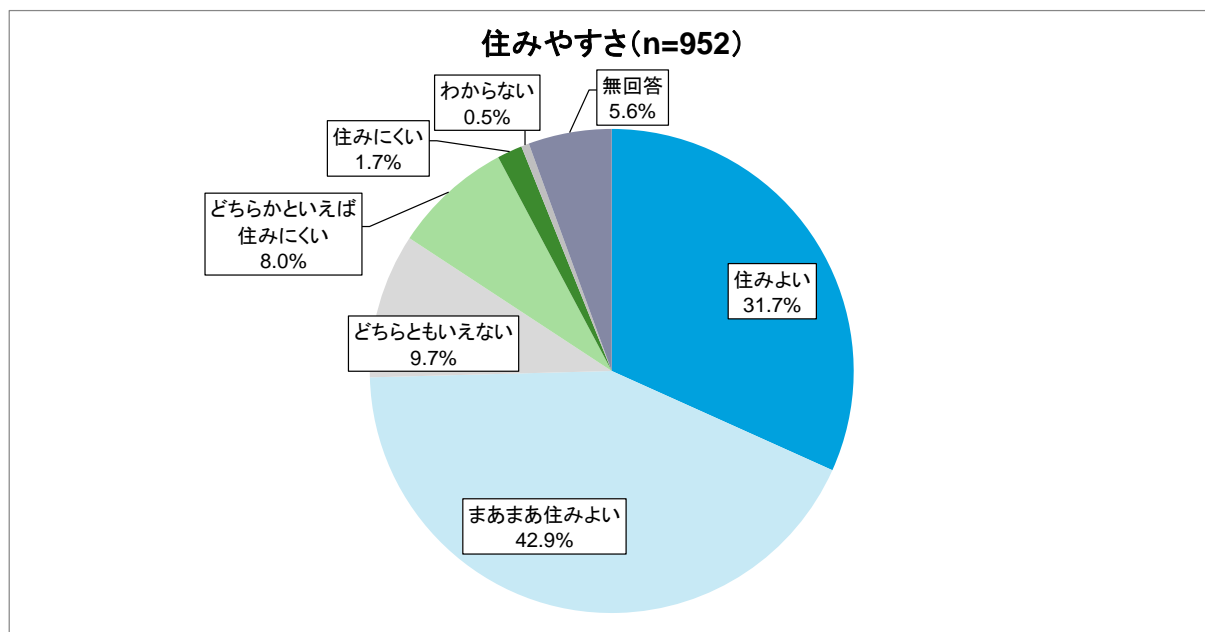


(2) 住みやすさに関する調査結果

① 住みやすさ意識調査

問 2

精華町の住みやすさについてどう思われますか？
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
住みよい	302	31.7%
まあまあ住みよい	408	42.9%
どちらともいえない	92	9.7%
どちらかといえば住みにくい	76	8.0%
住みにくい	16	1.7%
わからない	5	0.5%
無回答	53	5.6%
合計	952	100.0%

精華町の住みやすさ意識調査の結果、「まあまあ住みよい」と回答した人の割合が最も高く 42.9% となっています。

また、「住みよい」「まあまあ住みよい」を合わせると、回答者の 74.6% が住みよいと回答しています。

「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を合わせると、回答者の 9.7% が住みにくいと回答しています。

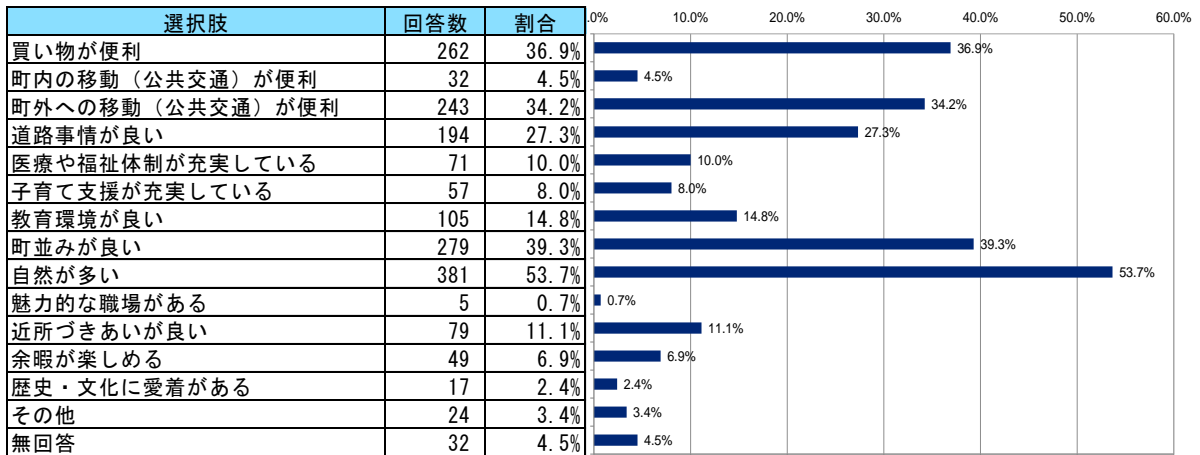
② 住みやすさの理由調査

問 3-1

「精華町が住みよい」と感じる理由は何ですか？

次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

※該当者は問2で「住みよい」「まあまあ住みよい」と回答した人のみ



n=710

精華町の住みやすさの理由調査の結果、「自然が多い」と回答した人の割合が53.7%と最も高いです。次いで、「町並みが良い」が39.3%、「買い物が便利」が36.9%、「町外への移動（公共交通）が便利」が34.2%と続きます。

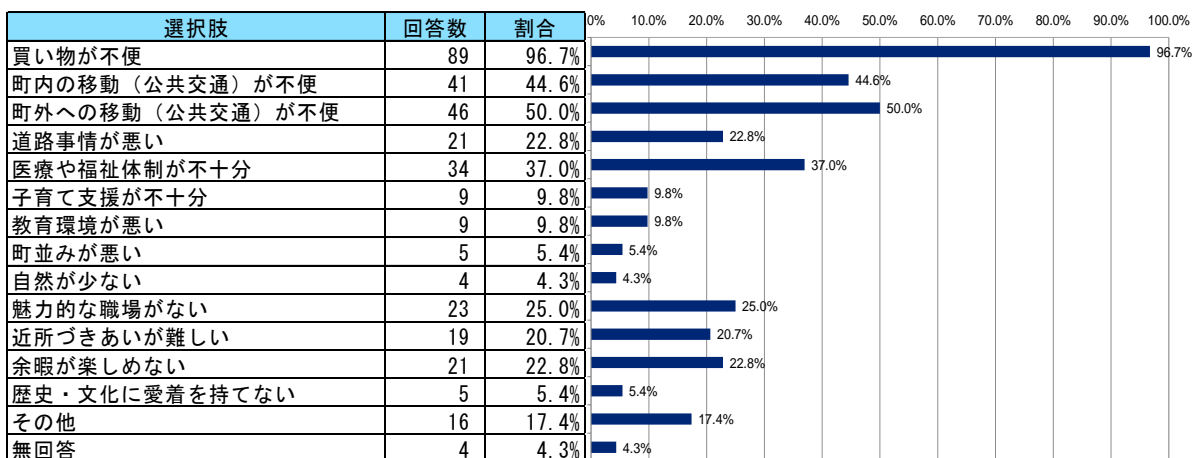
③ 住みにくさの理由調査

問 3-2

「精華町が住みにくい」と感じる理由は何ですか？

次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

※該当者は問2で「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と回答した人のみ



n=92

精華町の住みにくさの理由調査の結果、「買い物が不便」と回答した人の割合が最も高く96.7%となっています。次いで、「町外への移動（公共交通）が不便」が50.0%、「町内への移動（公共交通）が不便」が44.6%と続きます。

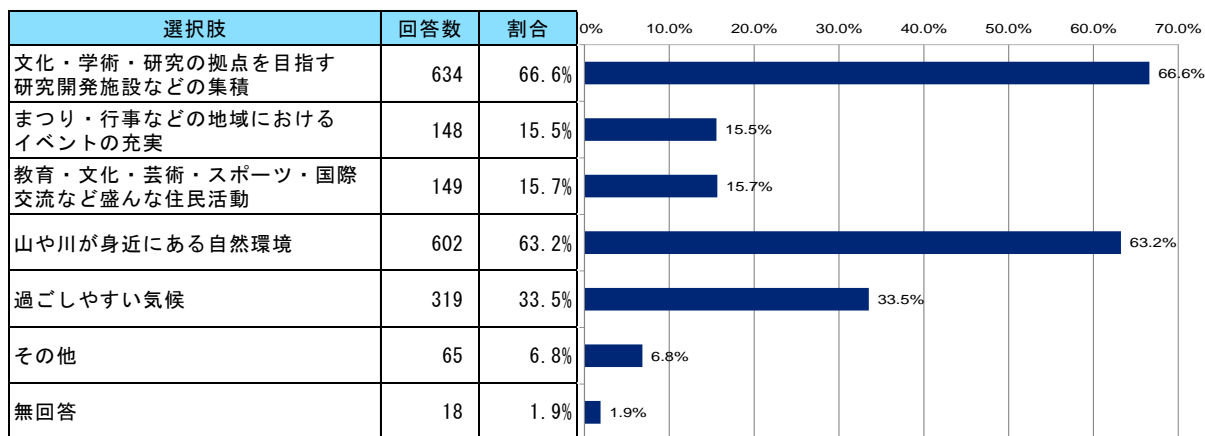
(3) 精華町の魅力や誇れるものに関する調査結果

① 魅力や誇れるものに関する調査

問 4

精華町の魅力や誇れるものは何だと思いますか？

主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。



n =952

魅力や誇れるものに関する調査の結果、「文化・学術・研究の拠点をめざす研究開発施設などの集積」と回答した人の割合が66.6%と最も高いです。次いで、「山や川が身近にある自然環境」が63.2%、「過ごしやすい気候」が33.5%と続きます。

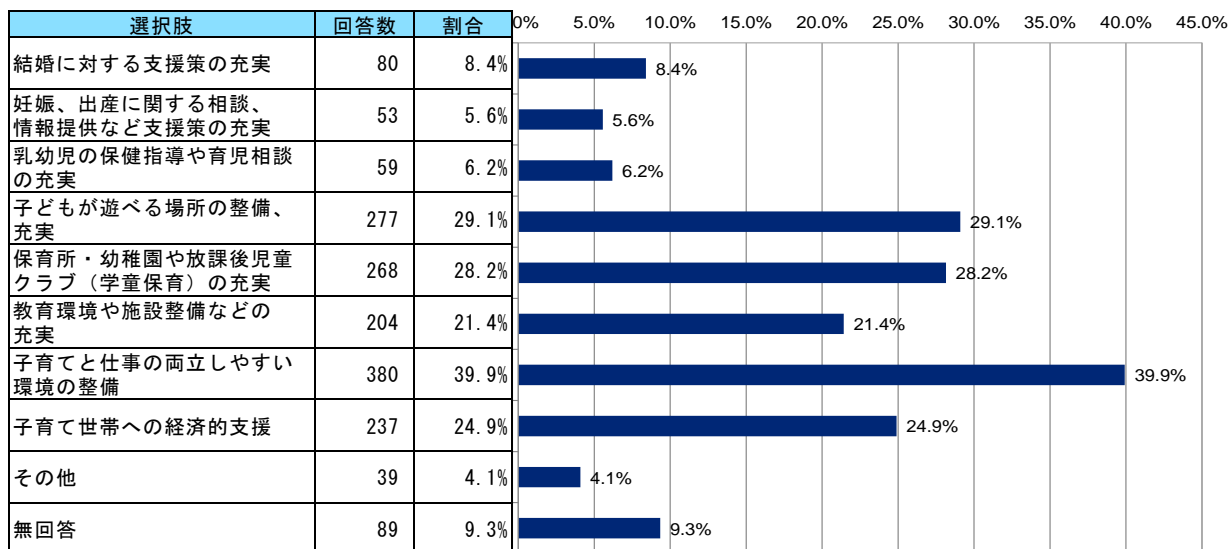
「文化・学術・研究の拠点をめざす研究開発施設などの集積」と回答した人の割合と「山や川が身近にある自然環境」と回答した人の割合の差は3.4%と上位2項目の差は5%以内に収まっています。

(4) 精華町の今後のまちづくりに関する調査結果

① 子育てできる環境整備への取り組み調査

問 5

安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



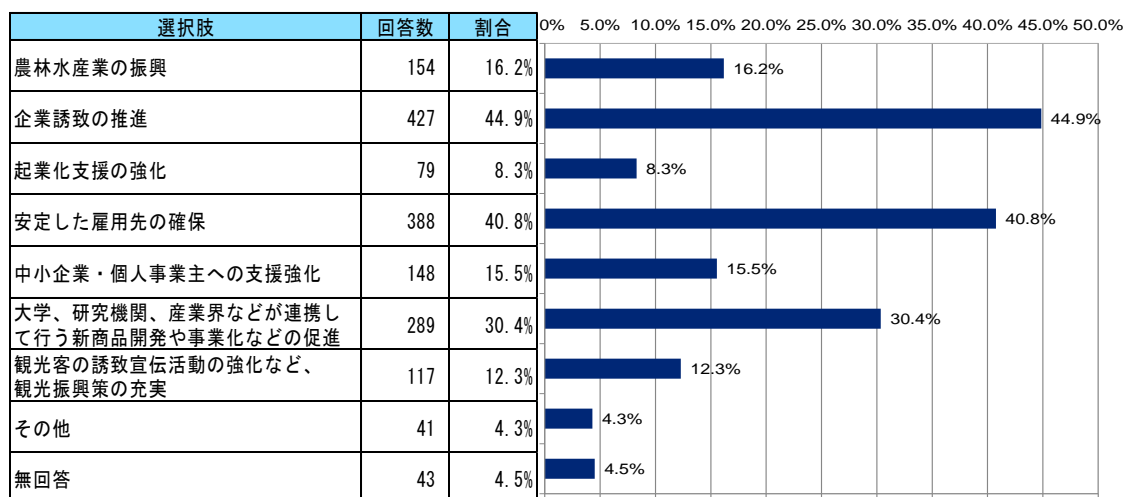
n = 952

子育てできる環境整備への取り組み調査の結果、「子育てと仕事の両立しやすい環境の整備」と回答した人の割合が39.9%と最も高いです。次いで、「子どもが遊べる場所の整備、充実」が29.1%、「保育所・幼稚園や放課後児童クラブ（学童保育）の充実」が28.2%、「子育て世帯への経済的支援」が24.9%、「教育環境や施設整備などの充実」が21.4%と続きます。

② 経済活性化のためのまちづくり調査

問 6

精華町の経済を活性化するために、どのようなまちづくりが必要だと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



n =952

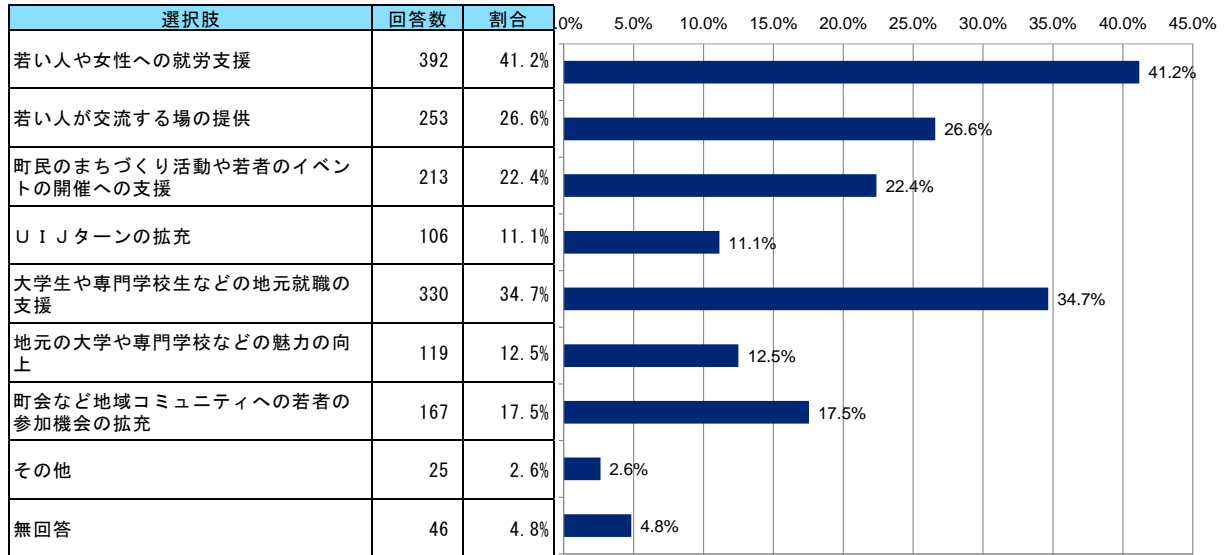
経済活性化のためのまちづくり調査の結果、「企業誘致の推進」と回答した人の割合が44.9%と最も高いです。次いで、「安定した雇用先の確保」が40.8%、「大学、研究機関、産業界などが連携して行う新商品開発や事業化などの促進」が30.4%と続きます。

「企業誘致の推進」と回答した人の割合と「安定した雇用先の確保」と回答した人の割合の差は4.1%と上位2項目の差は5%以内に収まっています。上位3つのまちづくりの選択肢と他のまちづくりの選択肢で大きな差が出ています。

③ 若い人がいきいきと活動できる環境実現のための取り組み調査

問 7

若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



n =952

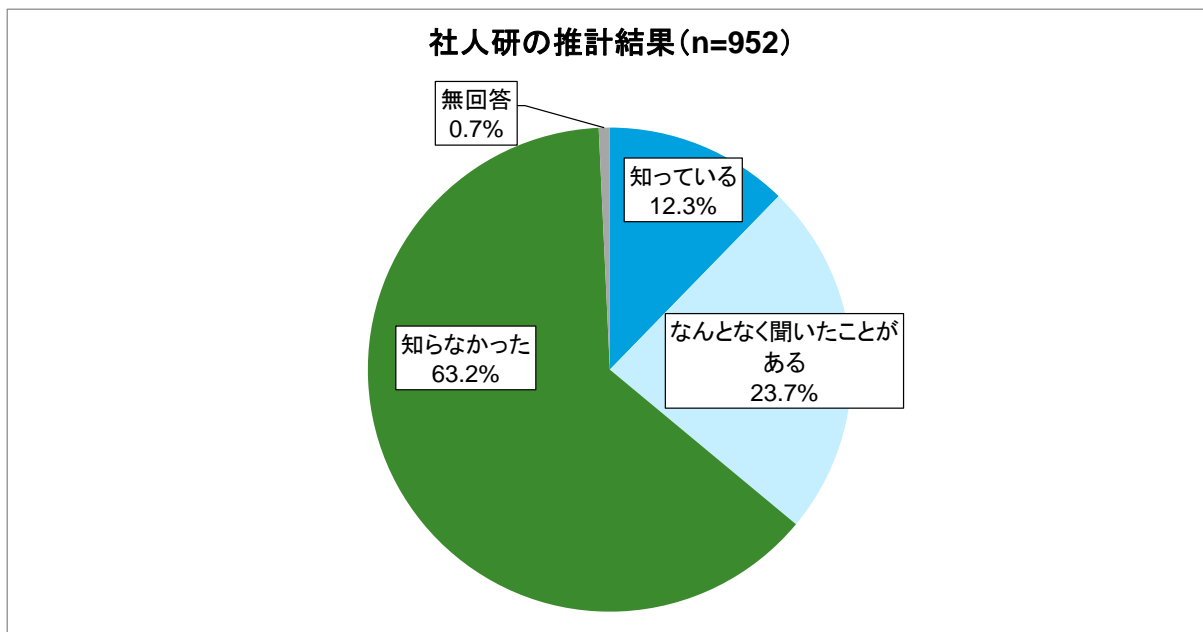
若い人がいきいきと活動できる環境実現のための取り組み調査の結果、「若い人や女性への就労支援」と回答した人の割合が41.2%と最も高いです。次いで、「大学生や専門学校生などの地元就職の支援」が34.7%、「若い人が交流する場の提供」が26.6%と続きます。

(5) 精華町の現状に関する調査結果

① 人口の推計結果の認知度調査

問 8

精華町の人口は 35,630 人（2010 年国勢調査時点）ですが、2025 年頃にピーク（37,048 人）を迎えた以降は減少していくと、国立社会保障・人口問題研究所の推計結果が公表されています。この推計結果をご存知ですか？
あてはまる番号を 1 つ選んで○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
知っている	117	12.3%
なんとなく聞いたことがある	226	23.7%
知らなかった	602	63.2%
無回答	7	0.7%
合計	952	100.0%

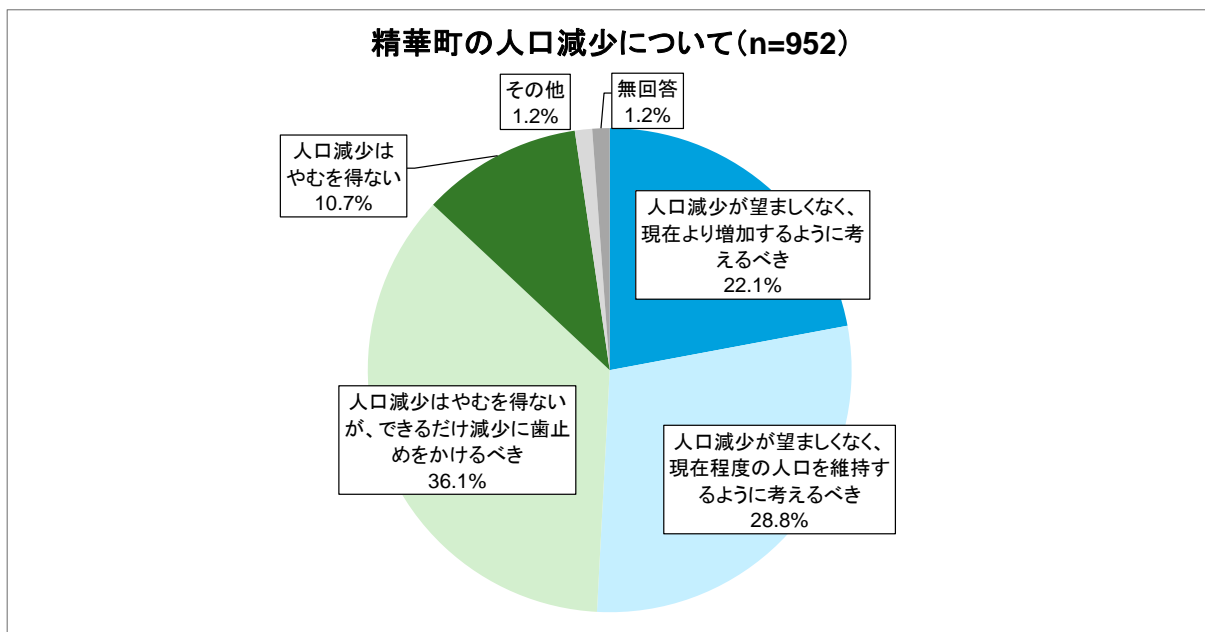
人口の推計結果の認知度調査の結果、「知らなかった」と回答した人の割合が 63.2%と過半数を上回っています。

なお、「知っている」と「なんとなく聞いたことがある」を合わせると、約 36%が認知しています。

② 人口減少に対する意見調査

問 9

精華町の人口が減少していくことについて、あなたの考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
人口減少が望ましくなく、現在より増加するように考えるべき	210	22.1%
人口減少が望ましくなく、現在程度の人口を維持するように考えるべき	274	28.8%
人口減少はやむを得ないが、できるだけ減少に歯止めをかけるべき	344	36.1%
人口減少はやむを得ない	102	10.7%
その他	11	1.2%
無回答	11	1.2%
合計	952	100.0%

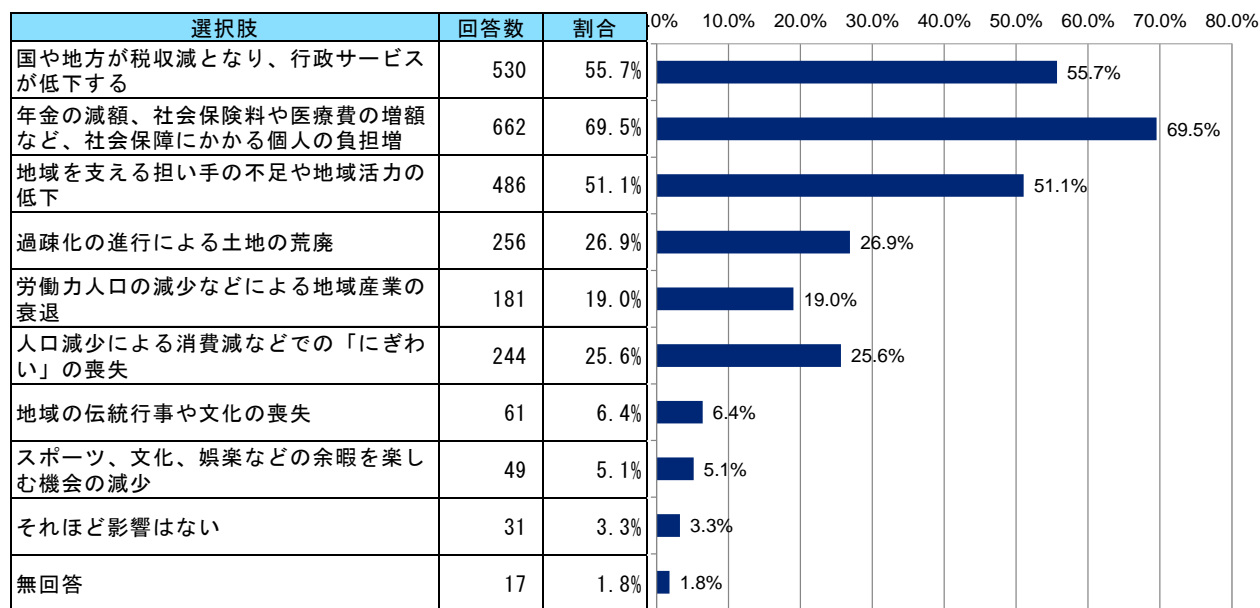
人口減少に対する意見調査の結果、「人口減少が望ましくなく、現在より増加するように考えるべき」と「人口減少が望ましくなく、現在程度の人口を維持するように考えるべき」と「人口減少はやむを得ないが、できるだけ減少に歯止めをかけるべき」を合わせると、約87%です。

一方、「人口減少はやむを得ない」と回答した人の割合は10.7%です。

③ 人口減少に伴う不安に感じること調査

問 10

将来、精華町の人口減少が進行した場合に、あなたが不安に感じることを次のうちからあなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。



n =952

人口減少に伴う不安に感じること調査の結果、「年金の減額、社会保険料や医療費の増額など、社会保障にかかる個人の負担増」と回答した人の割合が69.5%と最も高いです。次いで、「国や地方が税収減となり、行政サービスが低下する」が55.7%、「地域を支える担い手の不足や地域活力の低下」が51.1%と続きます。上位3つの不安に感じることと他の不安に感じることで差が出ています。

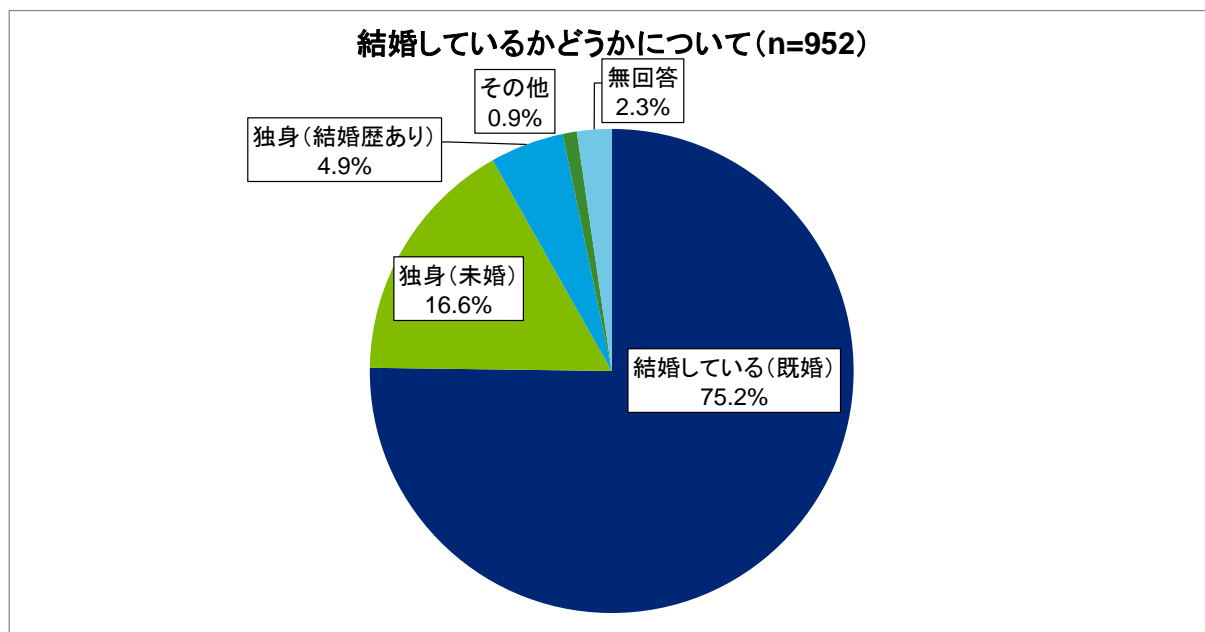
(6) 結婚・出産・子育てに対する考え方に関する調査結果

① 結婚・未婚の状態調査

問 11

あなたは、現在結婚していますか？

あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
結婚している(既婚)	716	75.2%
独身(未婚)	158	16.6%
独身(結婚歴あり)	47	4.9%
その他	9	0.9%
無回答	22	2.3%
合計	952	100.0%

結婚・未婚の状態調査の結果、「結婚している(既婚)」と回答した人の割合が75.2%です。

「独身(未婚)」と「独身(結婚歴あり)」を合わせると、約21.5%が独身と回答しています。

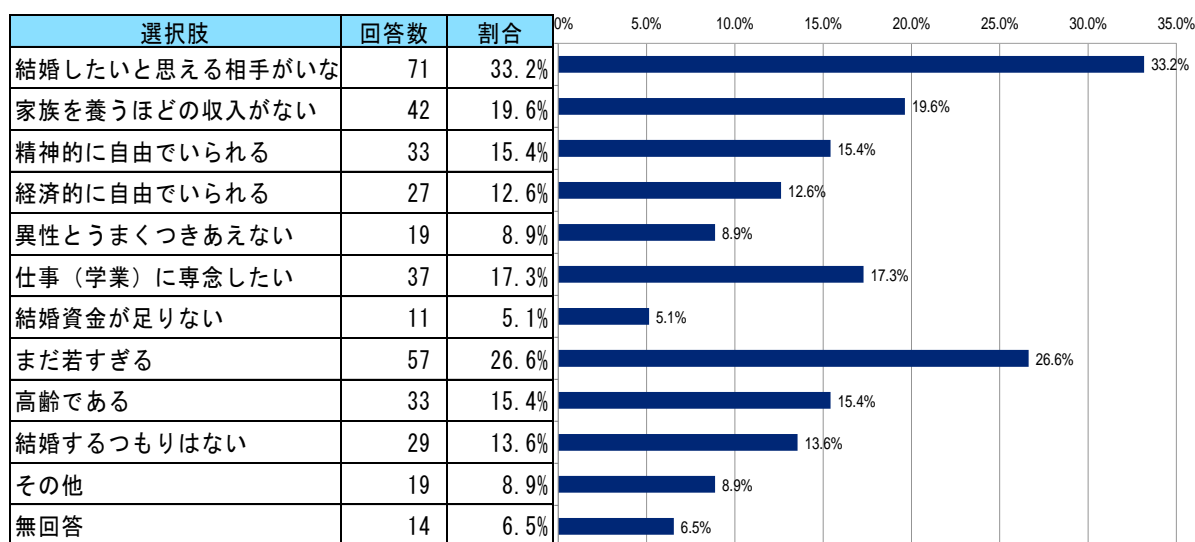
② 結婚をしていない理由調査

問 12

結婚をしていない理由は何ですか？

あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

※該当者は問 11 で「独身（未婚）」「独身（結婚暦あり）」と回答した人のみ



n = 214

結婚をしていない理由調査の結果、「結婚したいと思える相手がいない」と回答した人の割合が33.2%と最も高いです。次いで、「まだ若すぎる」が26.6%、「家族を養うほどの収入がない」が19.6%と続きます。上位2つの理由と他の理由と差が出ています。

i. 男女別

選択肢	男	女	無回答
結婚したいと思える相手がいない	34.9%	32.3%	0.0%
家族を養うほどの収入がない	34.9%	9.4%	0.0%
精神的に自由でいられる	11.6%	18.1%	0.0%
経済的に自由でいられる	16.3%	10.2%	0.0%
異性とうまくつきあえない	10.5%	7.9%	0.0%
仕事（学業）に専念したい	20.9%	18.1%	0.0%
結婚資金が足りない	12.8%	3.1%	0.0%
まだ若すぎる	27.9%	24.4%	0.0%
高齢である	12.8%	15.0%	100.0%
結婚するつもりはない	8.1%	16.5%	0.0%
その他	7.0%	7.1%	0.0%
無回答	1.2%	10.2%	100.0%
回答者数 (n=)	86	127	1

男女別では、男女ともに「結婚したいと思える相手がいない」と回答した割合が最も高い結果となっています。また、男性は「家族を養うほどの収入がない」と回答した割合が「結婚したいと思える相手がいない」と回答した割合と同じ34.9%と女性の9.4%と比べて25.5%と大きな差が出ています。

ii. 年代別

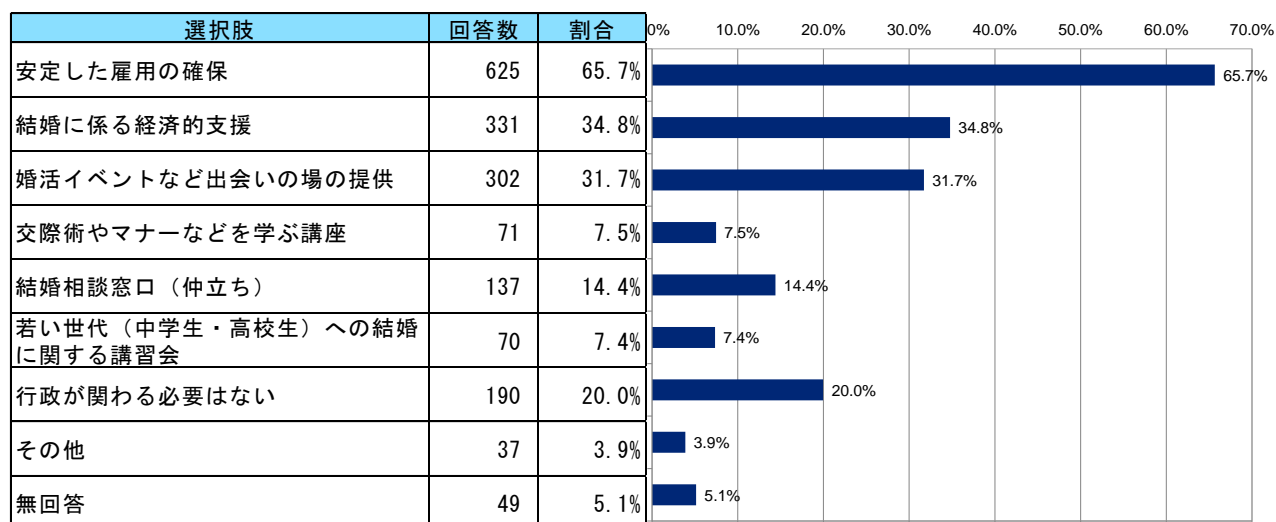
選択肢	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	無回答
結婚したいと思える相手がいない	7.7%	34.4%	64.9%	41.7%	21.7%	0.0%
家族を養うほどの収入がない	15.4%	18.8%	24.3%	37.5%	13.3%	0.0%
精神的に自由でいられる	3.8%	7.8%	24.3%	16.7%	23.3%	0.0%
経済的に自由でいられる	0.0%	15.6%	27.0%	12.5%	6.7%	0.0%
異性とうまくつきあえない	3.8%	9.4%	16.2%	8.3%	6.7%	0.0%
仕事（学業）に専念したい	38.5%	34.4%	8.1%	0.0%	1.7%	33.3%
結婚資金が足りない	3.8%	4.7%	10.8%	12.5%	0.0%	0.0%
まだ若すぎる	80.8%	54.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
高齢である	0.0%	0.0%	5.4%	8.3%	45.0%	33.3%
結婚するつもりはない	0.0%	4.7%	13.5%	29.2%	23.3%	0.0%
その他	7.7%	10.9%	10.8%	8.3%	6.7%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	18.3%	100.0%
回答者 (n=)	26	64	37	24	60	3

年代別では、20歳未満・20歳代では「まだ若すぎる」が、30歳代・40歳代では「結婚したいと思える相手がいない」が、50歳以上では「高齢である」と回答した割合が最も高くなっています。

③ 結婚を支援するための行政としての取り組み調査

問 13

結婚を支援するために、行政としてどのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。



n = 952

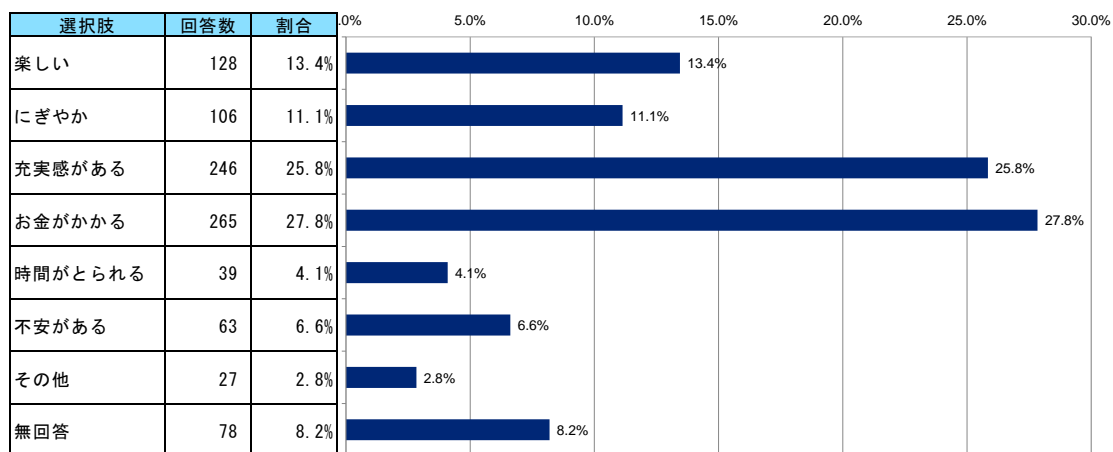
結婚を支援するための行政としての取り組み調査の結果、「安定した雇用の確保」と回答した人の割合が 65.7%と最も高いです。次いで、「結婚に係る経済的支援」が 34.8%、「婚活イベントなど出会いの場の提供」が 31.7%と続きます。「安定した雇用の確保」と回答した人の割合と「結婚に係る経済的支援」と回答した人の割合の差は 30.9%と「安定した雇用の確保」がと他の項目で非常に大きな差が出ています。

また、「行政が関わる必要はない」と回答した人の割合が 20.0%です。

④ 子育てに関するイメージ調査

問 14

子育てについてどのようなイメージを持っていますか？
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



n =952

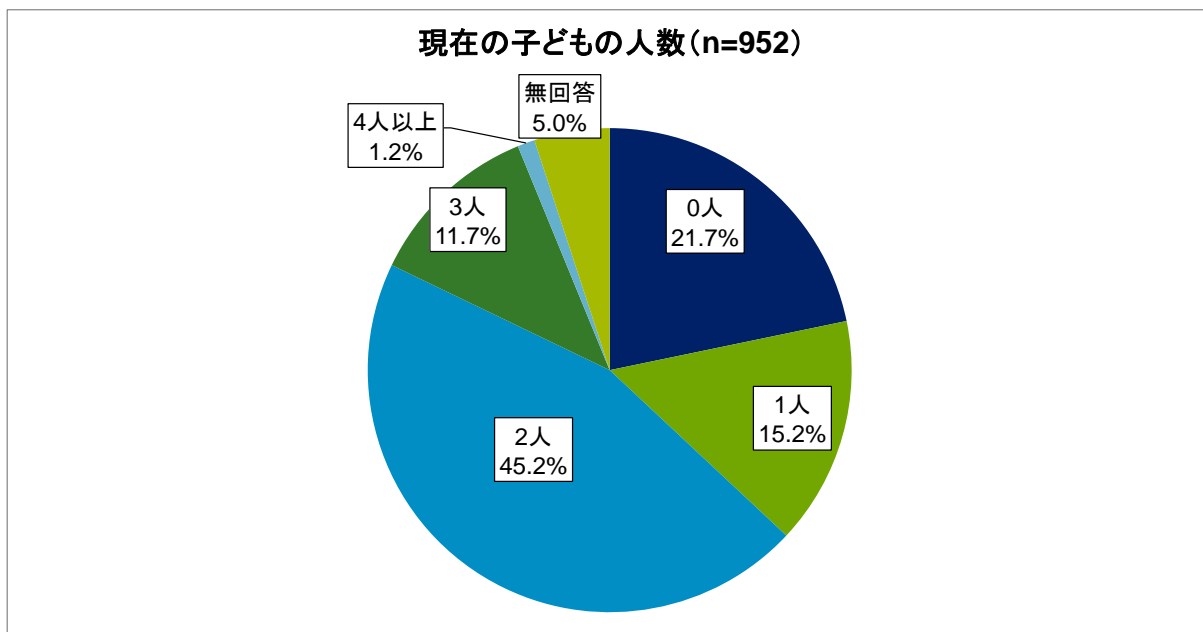
子育てに関するイメージ調査の結果、「お金がかかる」と回答した人の割合が27.8%と最も高いです。次いで、「充実感がある」が25.8%、「楽しい」が13.4%、「にぎやか」が11.1%と続きます。

「充実感がある」と回答した人の割合と「楽しい」と回答した人の割合の差は2.0%と上位2項目の差は5%以内に収まっていますが、他の回答と大きく差が出ています。

⑤ 子どもの人数に関する調査

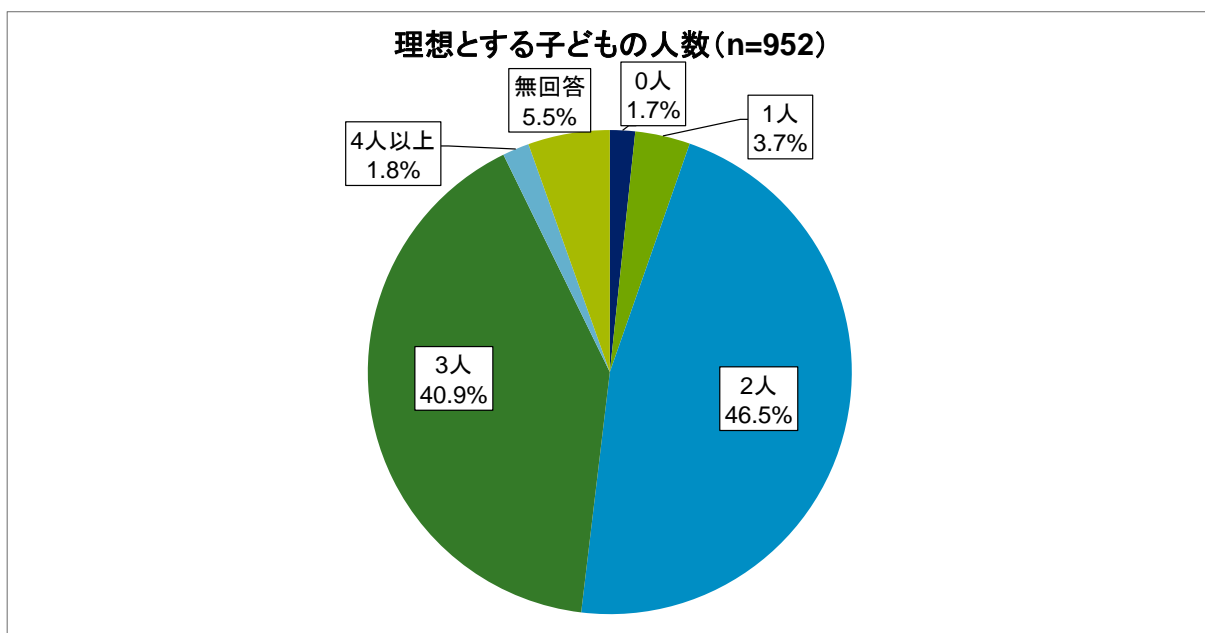
問 15

あなたの現在の子どもの人数、理想とする子どもの人数は何人ですか？
あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
0人	207	21.7%
1人	145	15.2%
2人	430	45.2%
3人	111	11.7%
4人以上	11	1.2%
無回答	48	5.0%
合計	952	100.0%

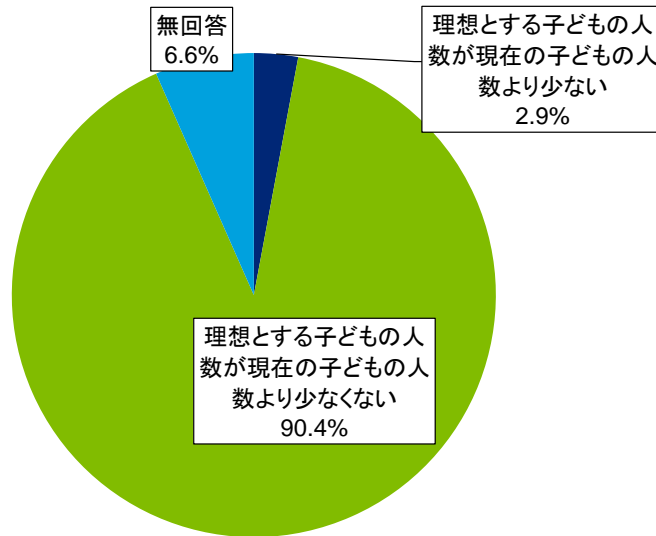
子どもの人数に関する調査の結果、現在の子どもの人数に関して「2人」と回答した人の割合が45.2%と最も高いです。次いで、「0人」が21.7%、「1人」が15.2%と続きます。



選択肢	回答数	割合
0人	16	1.7%
1人	35	3.7%
2人	443	46.5%
3人	389	40.9%
4人以上	17	1.8%
無回答	52	5.5%
合計	952	100.0%

子どもの人数に関する調査の結果、理想とする子どもの人数に関して「2人」と回答した人の割合が46.5%と最も高いです。次いで、「3人」が40.9%です。2人以上と回答した人の割合が高くなっています。

理想の子どもの人数が現在の子どもの人数より少ないかどうか(n=952)



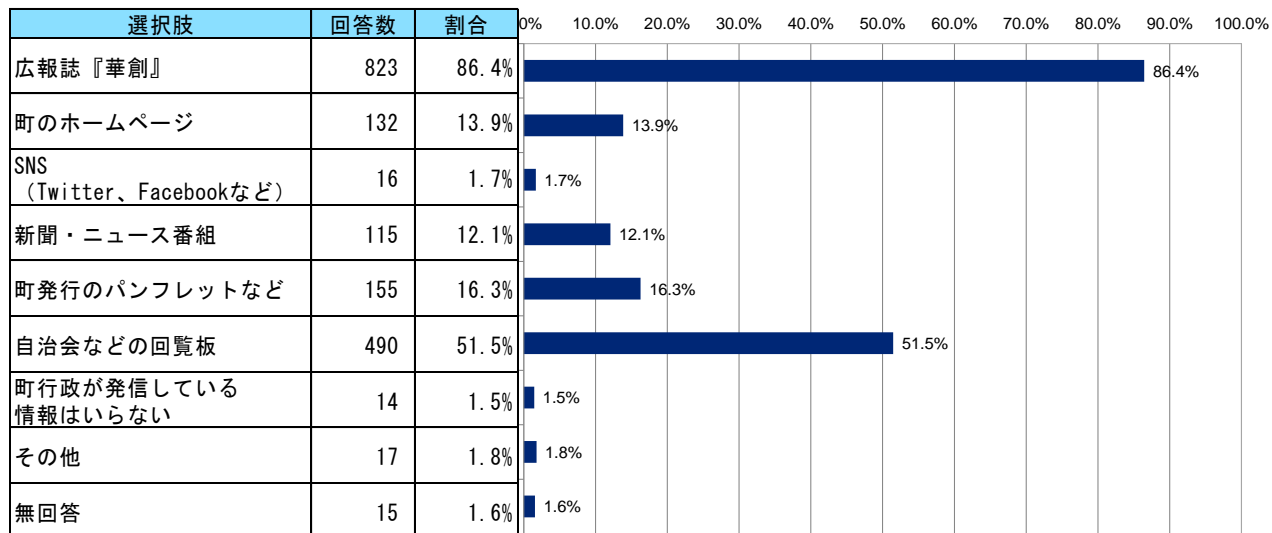
子どもの人数に関する調査の結果、理想の子どもの人数が現在の子どもの人数より少ないかどうかを見ると「理想とする子どもの人数が現在の子どもの人数より少なくない」との回答が 90.4%です。一方、「理想とする子どもの人数が現在の子どもの人数より少ない」との回答は 2.9%です。

(7) 町の広報に関する調査結果

① 町行政が発信している情報の入手方法調査

問 17

町行政が発信している情報の入手方法としてよく活用するものはどれですか？
(該当する番号全てに○)



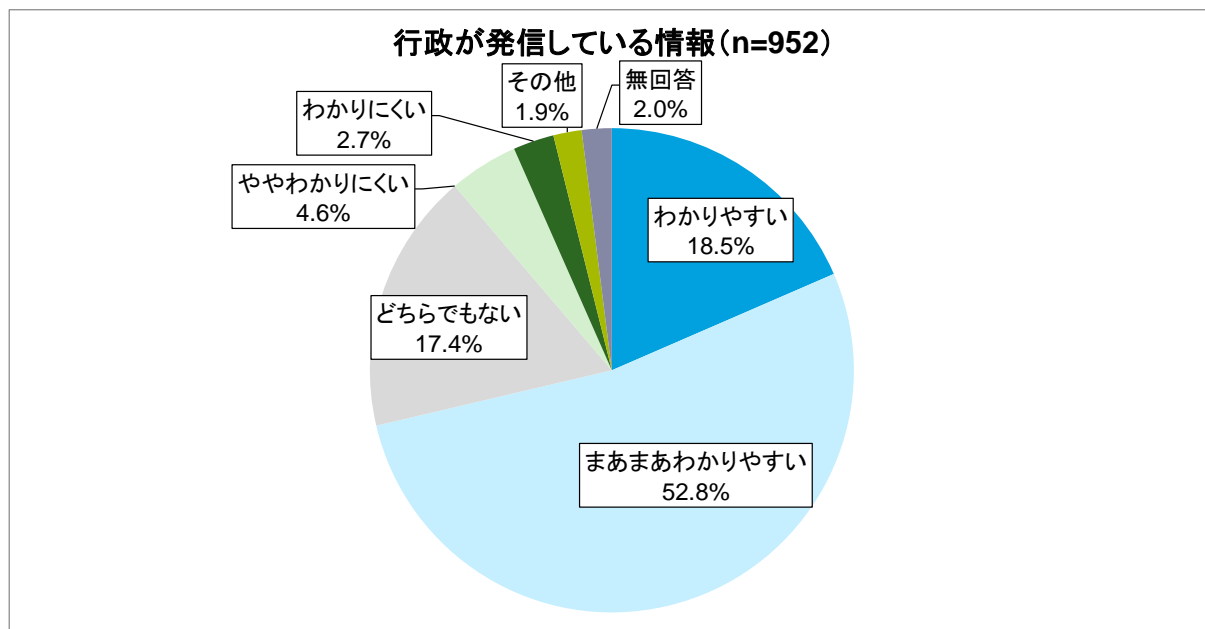
n = 952

町行政が発信している情報の入手方法調査の結果、「広報誌『華創』」と回答した人の割合が 86.4%と最も高いです。次いで、「自治会などの回覧板」が 51.5%、「町発行のパンフレット」が 16.3%、「町のホームページ」が 13.9%です。「広報誌『華創』」と「自治会などの回覧板」以外で情報入手している人の割合は低いです。

② 町行政の発信情報に関する意見調査

問 18

町行政が発信している情報に関してどのように感じますか？
 あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
わかりやすい	176	18.5%
まあまあわかりやすい	503	52.8%
どちらでもない	166	17.4%
ややわかりにくい	44	4.6%
わかりにくい	26	2.7%
その他	18	1.9%
無回答	19	2.0%
合計	952	100.0%

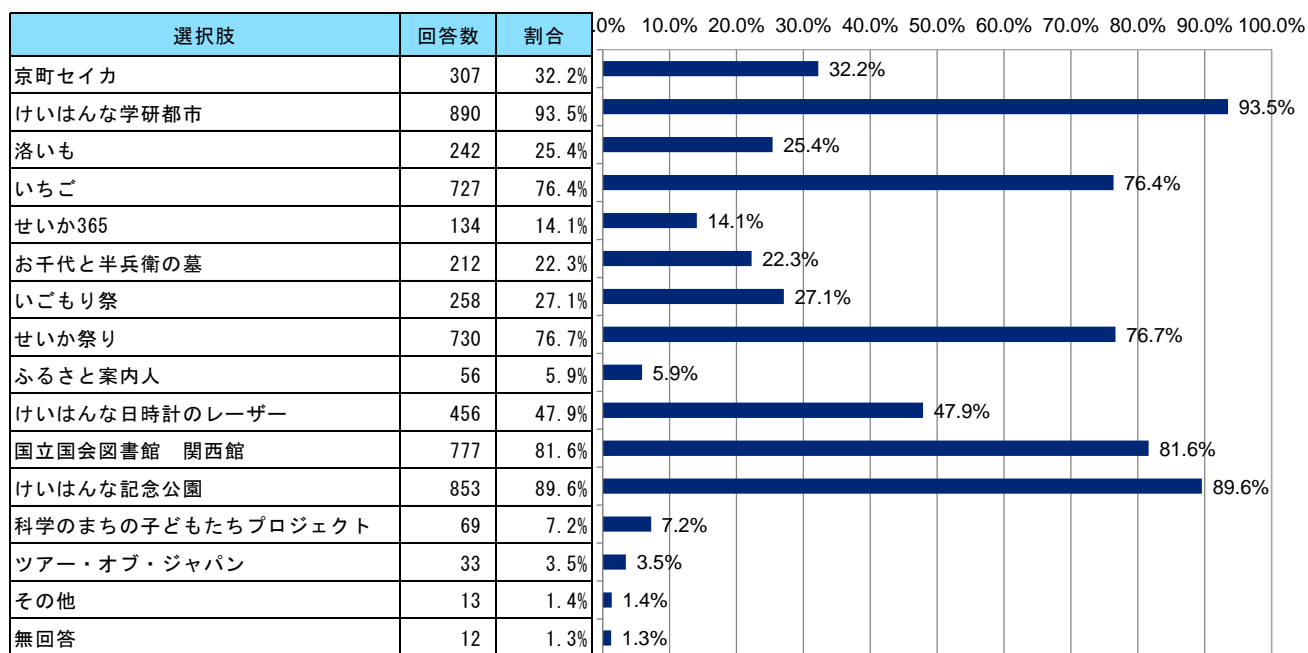
町行政の発信情報に関する意見調査の結果、「まあまあわかりやすい」と回答した人の割合が52.8%と最も高いです。「わかりやすい」と「まあまあわかりやすい」を合わせると、回答者の71.3%がわかりやすいと回答しています。

一方、「わかりにくい」と「ややわかりにくい」を合わせると、回答者の7.3%がわかりにくいと回答しています。

③ 聞いたことのある精華町のキーワード調査

問 19

あなたがこれまでに聞いたことのある精華町に関連するキーワードはどれですか？あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。



n =952

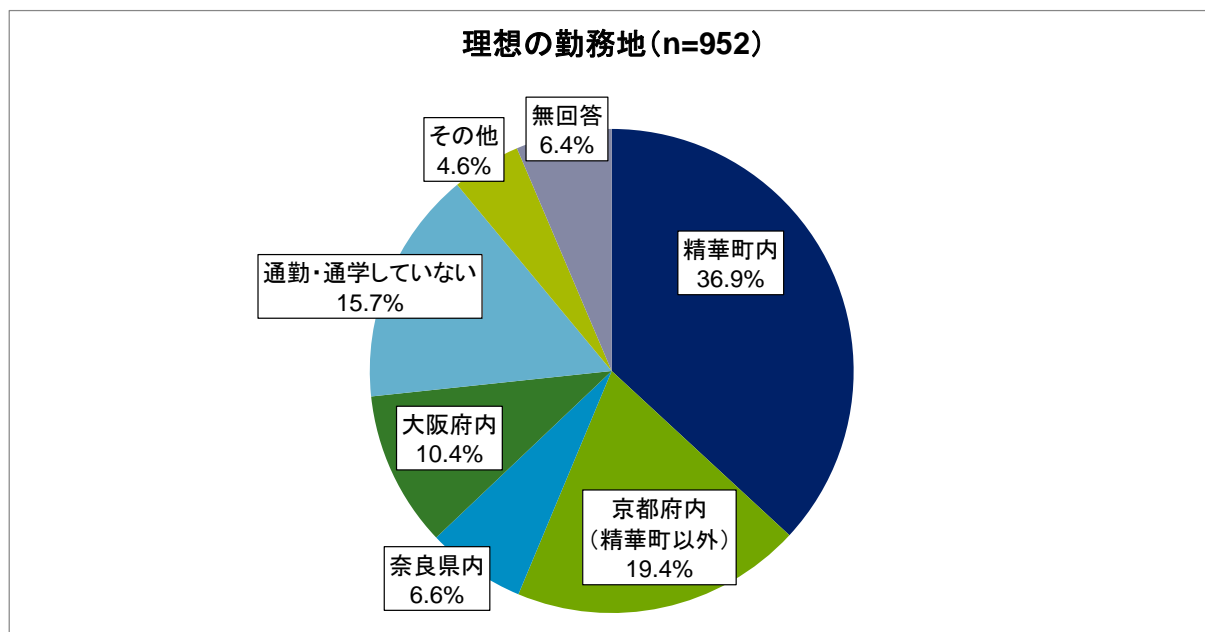
聞いたことのある精華町のキーワード調査の結果、「けいはんな学研都市」と回答した人の割合が93.5%と最も高いです。次いで「けいはんな記念公園」が89.6%、「国立国会図書館関西館」が81.6%、「せいか祭り」が76.7%、「いちご」が76.4と続きます。上位5つのキーワードと他のキーワードとで大きな差が出ています。

(8) 働く場所に関する調査結果

① 理想の勤務地調査

問 20

あなたは、理想の勤務地はどこですか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
精華町内	351	36.9%
京都府内(精華町以外)	185	19.4%
奈良県内	63	6.6%
大阪府内	99	10.4%
通勤・通学していない	149	15.7%
その他	44	4.6%
無回答	61	6.4%
合計	952	100.0%

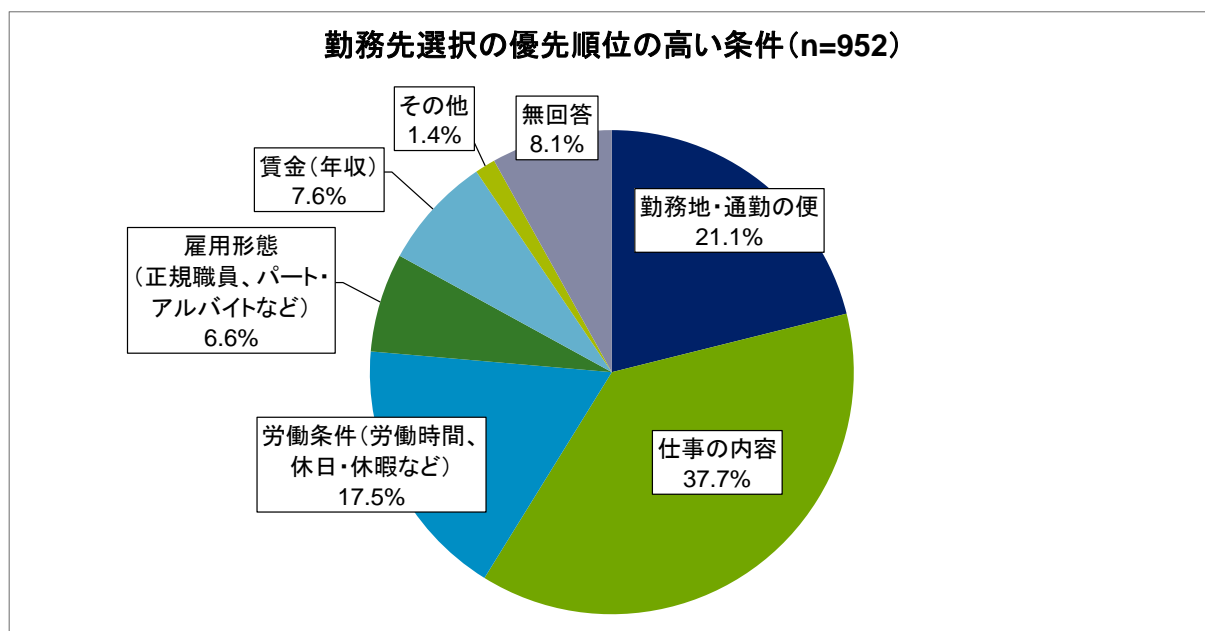
理想の勤務地調査の結果、「精華町内」と回答した人の割合が36.9%と最も高いです。

「精華町内」「京都府内(精華町以外)」「奈良県内」を合わせると、京都府と奈良県で62.9%です。

② 勤務地選択の優先順位調査

問 21

あなたが勤務先を選ぶときの条件として優先順位が高い条件はどれですか。
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
勤務地・通勤の便	201	21.1%
仕事の内容	359	37.7%
労働条件 (労働時間、休日・休暇など)	167	17.5%
雇用形態 (正規職員、パート・アルバイトなど)	63	6.6%
賃金 (年収)	72	7.6%
その他	13	1.4%
無回答	77	8.1%
合計	952	100.0%

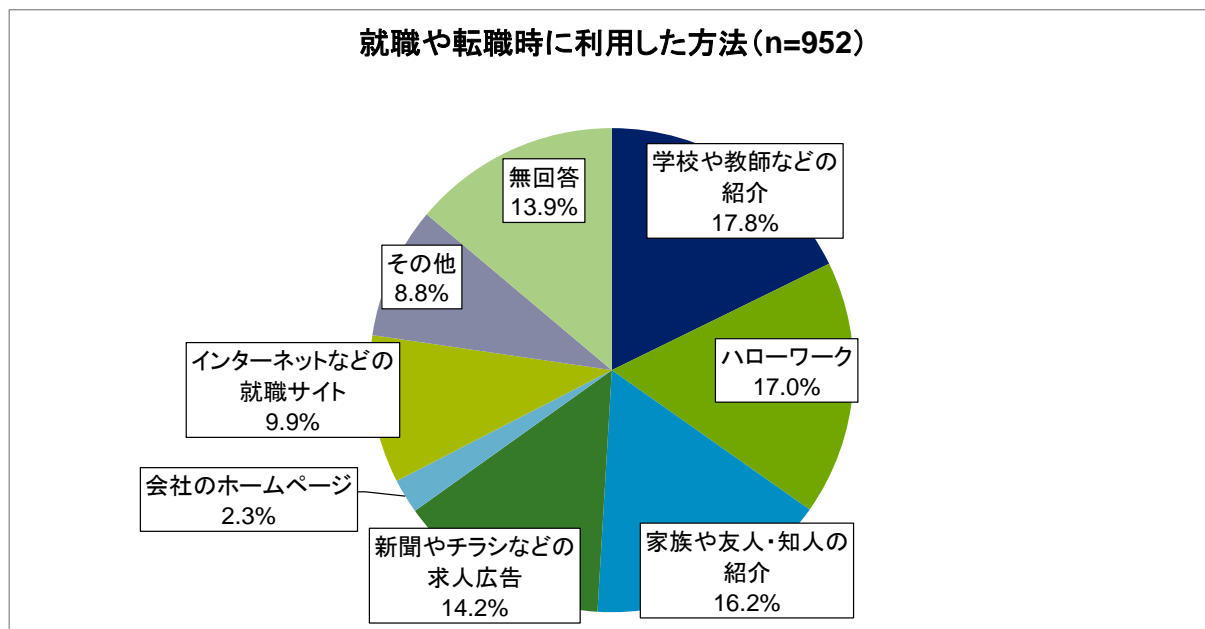
勤務地選択の優先順位調査の結果、「仕事の内容」と回答した人の割合が37.7%と最も高いです。次いで、「勤務地・通勤の便」が21.1%、「労働条件 (労働時間、休日・休暇など)」が17.5%と続きます。

一方、賃金 (年収) は7.6%と10%を下回っており、回答率では4番目です。

③ 就職や転職時の利用方法調査

問 22

あなたが就職や転職をするときに利用した方法はどれですか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
学校や教師などの紹介	169	17.8%
ハローワーク	162	17.0%
家族や友人・知人の紹介	154	16.2%
新聞やチラシなどの求人広告	135	14.2%
会社のホームページ	22	2.3%
インターネットなどの就職サイト	94	9.9%
その他	84	8.8%
無回答	132	13.9%
合計	952	100.0%

就職や転職時の利用方法調査の結果、「学校や教師などの紹介」と回答した人の割合が17.8%と最も高いですが、「ハローワーク」が17.0%、「家族や友人・知人の紹介」が16.2%と近い数値で続きます。

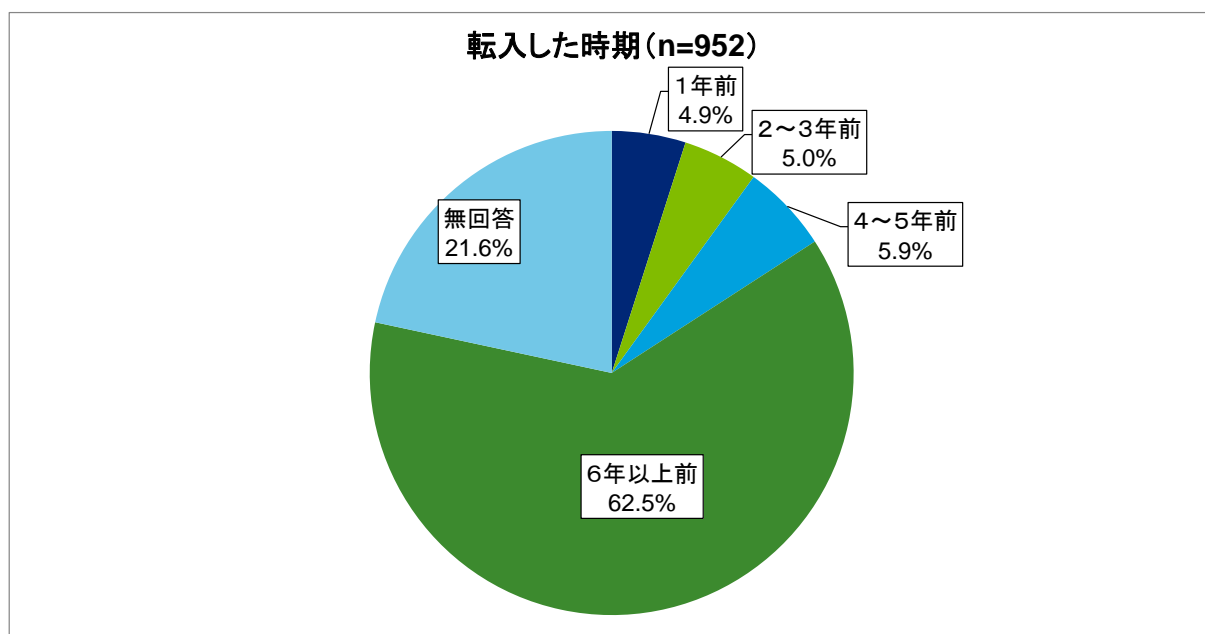
(9) 転入に関する調査結果

① 転入時期調査

問 23

精華町に転入した時期はいつ頃ですか。

※該当者は精華町に転入された人のみ



選択肢	回答数	割合
1年前	47	4.9%
2～3年前	48	5.0%
4～5年前	56	5.9%
6年以上前→自由意見へ	595	62.5%
無回答	206	21.6%
合計	952	100.0%

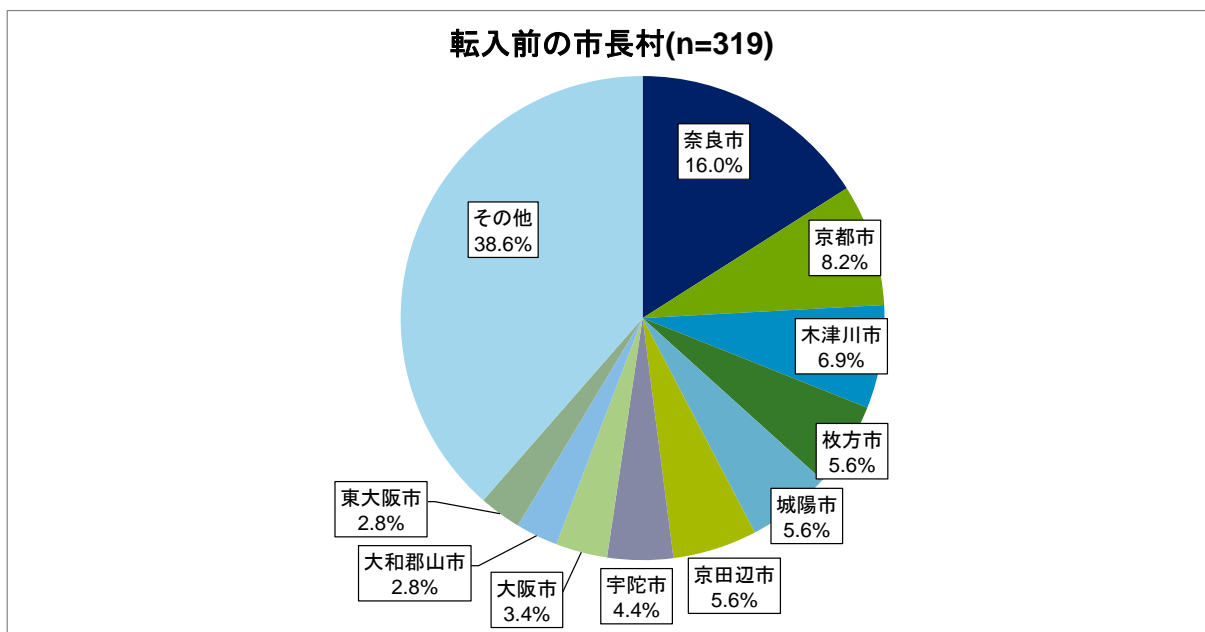
転入時期調査の結果、「6年以上前」と回答した人の割合が62.5%と最も高いです。
なお、転入が5年以内と回答した人の割合が15.8%です。

② 転入前の市町村調査

問 24

精華町に転入する前の市町村名をお答えください。

※該当者は問 23 で「1 年前」「2～3 年前」「4～5 年前」と回答した人のみ



	市長村名	回答数	割合
1	奈良市	51	16.0%
2	京都市	26	8.2%
3	木津川市	22	6.9%
4	枚方市	18	5.6%
5	城陽市	18	5.6%
6	京田辺市	18	5.6%
7	宇陀市	14	4.4%
8	大阪市	11	3.4%
9	大和郡山市	9	2.8%
9	東大阪市	9	2.8%
11	その他	123	38.6%
	合計	319	100.0%

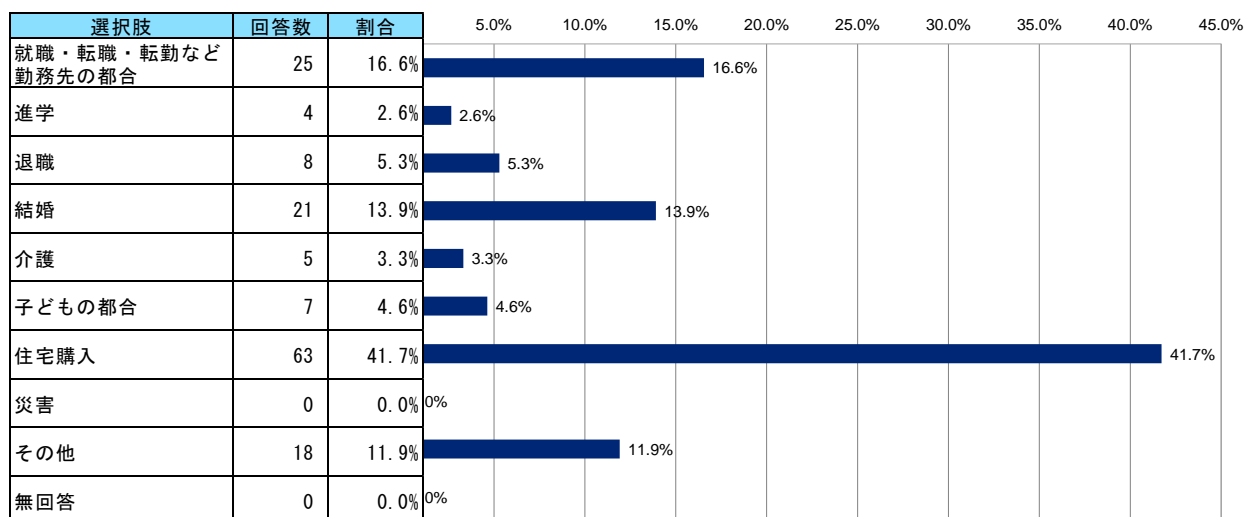
転入前の市町村調査、「奈良市」と回答した人の割合が 16.0%と最も高いです。次いで、「京都市」が 8.2%、「木津川市」が 6.9%、「枚方市」「城陽市」「京田辺市」が 5.6%と続きます。

③ 転入のきっかけ調査

問 25

精華町への転入のきっかけについて、主な理由として、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

※該当者は問 23 で「1年前」「2～3年前」「4～5年前」と回答した人のみ



n = 151

転入のきっかけ調査の結果、「住宅購入」と回答した人の割合が **55.6%**と最も高いです。次いで、「就職・転職・転勤など勤務先の都合」が **20.5%**、「結婚」が **19.2%**と続きます。

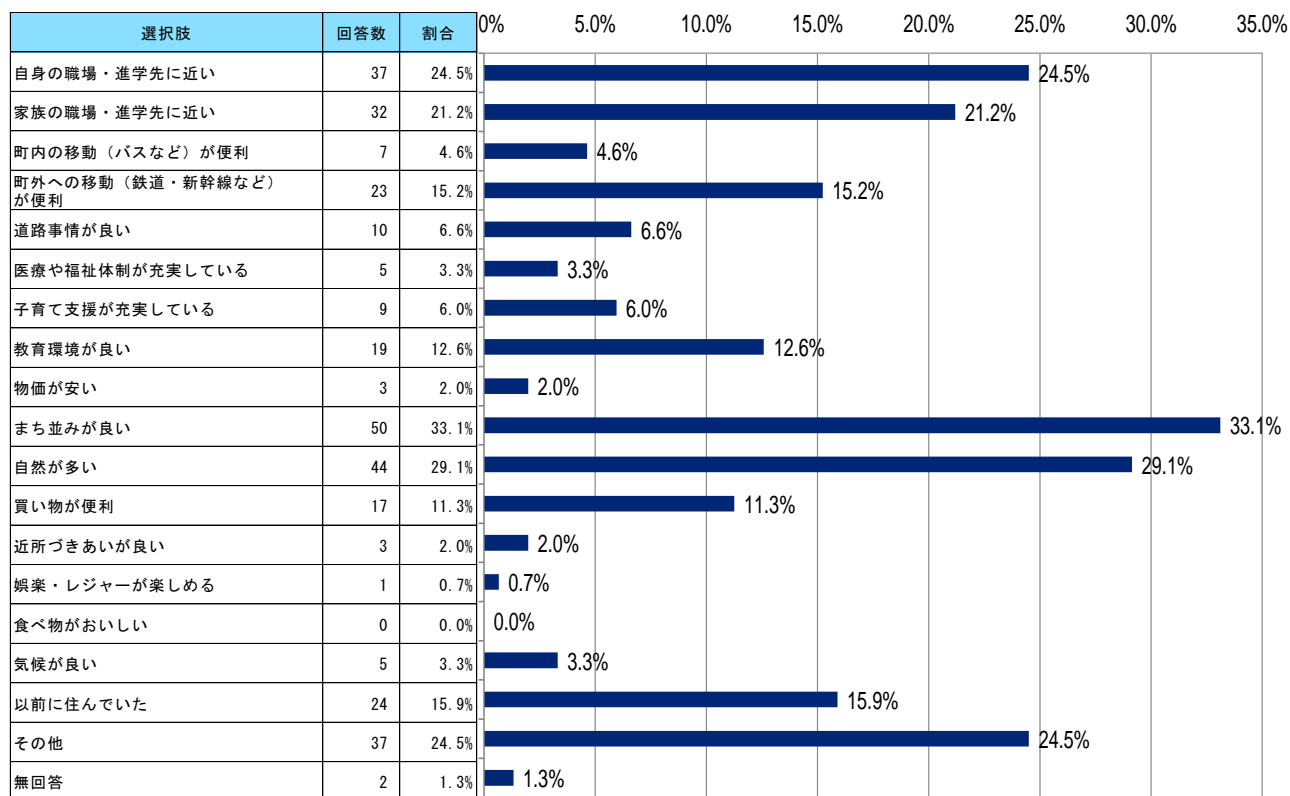
「住宅購入」と回答した人の割合と「就職・転職・転勤など勤務先の都合」と回答した人の割合の差は **25.1%**となっており、他の項目より非常に大きくなっています。

④ 転入の理由調査

問 26

精華町を転入先として選択した理由について、次の中から、3つまで選んで番号に○をつけてください。

※該当者は問 23 で「1 年前」「2～3 年前」「4～5 年前」と回答した人のみ



n = 151

転入の理由調査の結果、「まち並みが良い」と回答した人の割合が 41.7%と最も高いです。次いで、「自然が多い」が 39.7%、「自分の職場・進学先に近い」が 28.5%と続きます。

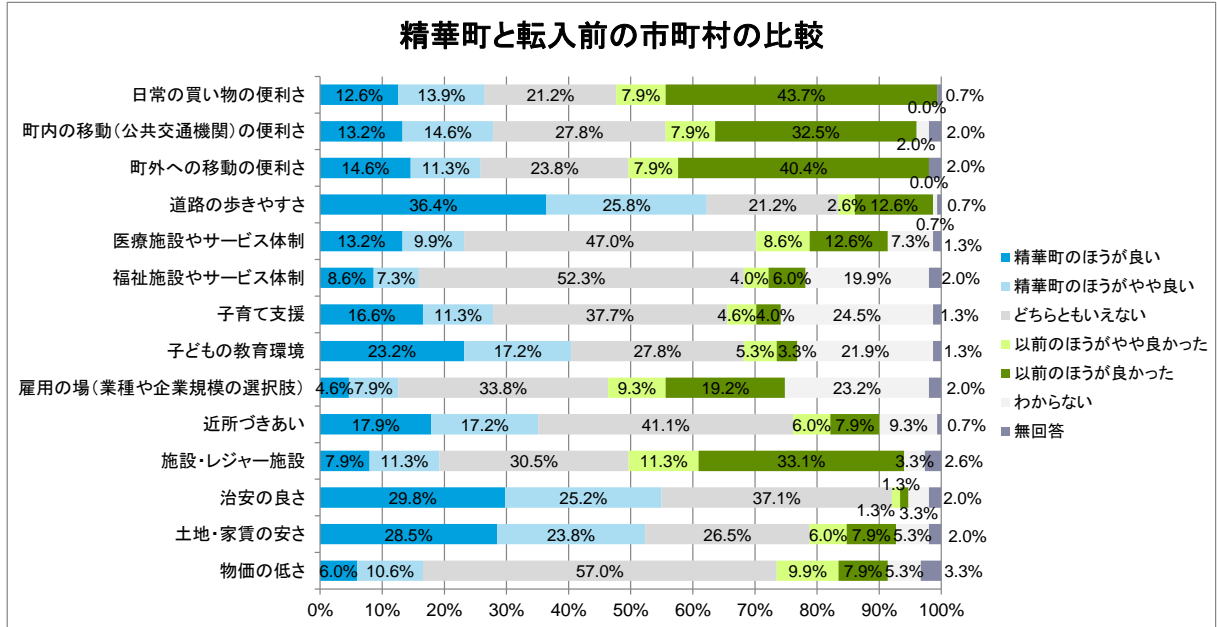
「まち並みが良い」と回答した人の割合と「自然が多い」と回答した人の割合の差は 2.0%と上位 2 項目の差は 5%以内に収まっています。

⑤ 転入前の市町村と精華町の比較調査

問 27

精華町と転入前の市町村で、以下の項目は良くなりましたか？それぞれあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

※該当者は問 23 で「1年前」「2～3年前」「4～5年前」と回答した人のみ



転入前の市町村と精華町の比較調査の結果、「道路の歩きやすさ」「子どもの教育環境」「治安の良さ」「土地・家賃の安さ」は「精華町のほうが良い」と「精華町のほうがやや良い」を合わせると、40%を上回ります。

一方、「日常の買い物の便利さ」「町内の移動(公共交通機関)の便利さ」「町外への移動の便利さ」「施設・レジャー施設」は「以前のほうが良かった」「以前のほうがやや良かった」を合わせると40%を上回ります。

1 日常の買い物の便利さ

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	19	12.6%
精華町のほうがやや良い	21	13.9%
どちらともいえない	32	21.2%
以前のほうがやや良かった	12	7.9%
以前のほうが良かった	66	43.7%
わからない	0	0.0%
無回答	1	0.7%
合計	151	100.0%

2 町内の移動（公共交通機関）の便利さ

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	20	13.2%
精華町のほうがやや良い	22	14.6%
どちらともいえない	42	27.8%
以前のほうがやや良かった	12	7.9%
以前のほうが良かった	49	32.5%
わからない	3	2.0%
無回答	3	2.0%
合計	151	100.0%

3 町外への移動の便利さ

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	22	14.6%
精華町のほうがやや良い	17	11.3%
どちらともいえない	36	23.8%
以前のほうがやや良かった	12	7.9%
以前のほうが良かった	61	40.4%
わからない	0	0.0%
無回答	3	2.0%
合計	151	100.0%

4 道路の歩きやすさ

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	55	36.4%
精華町のほうがやや良い	39	25.8%
どちらともいえない	32	21.2%
以前のほうがやや良かった	4	2.6%
以前のほうが良かった	19	12.6%
わからない	1	0.7%
無回答	1	0.7%
合計	151	100.0%

5 医療施設やサービス体制

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	20	13.2%
精華町のほうがやや良い	15	9.9%
どちらともいえない	71	47.0%
以前のほうがやや良かった	13	8.6%
以前のほうが良かった	19	12.6%
わからない	11	7.3%
無回答	2	1.3%
合計	151	100.0%

6 福祉施設やサービス体制

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	13	8.6%
精華町のほうがやや良い	11	7.3%
どちらともいえない	79	52.3%
以前のほうがやや良かった	6	4.0%
以前のほうが良かった	9	6.0%
わからない	30	19.9%
無回答	3	2.0%
合計	151	100.0%

7 子育て支援

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	25	16.6%
精華町のほうがやや良い	17	11.3%
どちらともいえない	57	37.7%
以前のほうがやや良かった	7	4.6%
以前のほうが良かった	6	4.0%
わからない	37	24.5%
無回答	2	1.3%
合計	151	100.0%

8 子どもの教育環境

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	35	23.2%
精華町のほうがやや良い	26	17.2%
どちらともいえない	42	27.8%
以前のほうがやや良かった	8	5.3%
以前のほうが良かった	5	3.3%
わからない	33	21.9%
無回答	2	1.3%
合計	151	100.0%

9 雇用の場

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	7	4.6%
精華町のほうがやや良い	12	7.9%
どちらともいえない	51	33.8%
以前のほうがやや良かった	14	9.3%
以前のほうが良かった	29	19.2%
わからない	35	23.2%
無回答	3	2.0%
合計	151	100.0%

10 近所づきあい

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	27	17.9%
精華町のほうがやや良い	26	17.2%
どちらともいえない	62	41.1%
以前のほうがやや良かった	9	6.0%
以前のほうが良かった	12	7.9%
わからない	14	9.3%
無回答	1	0.7%
回答者	151	100.0%

11 施設・レジャー施設

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	12	7.9%
精華町のほうがやや良い	17	11.3%
どちらともいえない	46	30.5%
以前のほうがやや良かった	17	11.3%
以前のほうが良かった	50	33.1%
わからない	5	3.3%
無回答	4	2.6%
合計	151	100.0%

13 土地・家賃の安さ

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	43	28.5%
精華町のほうがやや良い	36	23.8%
どちらともいえない	40	26.5%
以前のほうがやや良かった	9	6.0%
以前のほうが良かった	12	7.9%
わからない	8	5.3%
無回答	3	2.0%
合計	151	100.0%

12 治安の良さ

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	45	29.8%
精華町のほうがやや良い	38	25.2%
どちらともいえない	56	37.1%
以前のほうがやや良かった	2	1.3%
以前のほうが良かった	2	1.3%
わからない	5	3.3%
無回答	3	2.0%
合計	151	100.0%

14 物価の低さ

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	9	6.0%
精華町のほうがやや良い	16	10.6%
どちらともいえない	86	57.0%
以前のほうがやや良かった	15	9.9%
以前のほうが良かった	12	7.9%
わからない	8	5.3%
無回答	5	3.3%
合計	151	100.0%

(10) 自由意見

下表は、アンケート調査票の自由意見欄に記入された内容を精華町第5次総合計画で策定した施策分類別にまとめたものです。

今回のアンケート調査では、332名（全体の34.9%）からご意見をいただきました。なお、複数の分野にわたる意見については重複カウントしているため、意見総数と一致しません。

施策		件数	割合	
学研都市のまちづくり	けいはんな学研都市	学研都市の推進	27	4.5%
		企業誘致	36	6.0%
	産業	農業	13	2.2%
		商工・サービス業	58	9.7%
		観光	5	0.8%
	まちなみ	市街地形成	32	5.4%
		景観	25	4.2%
	道路・公共交通	道路	16	2.7%
		公共交通	56	9.4%
	住環境	上水道	2	0.3%
下水道		1	0.2%	
住宅		17	2.8%	
暮らしのまちづくり	健康・医療	健康づくり	3	0.5%
		地域医療・生活衛生	1	0.2%
		医療・保健	13	2.2%
	児童福祉	子育て環境・子育て支援	53	8.9%
	高齢・障がい福祉	高齢福祉	29	4.8%
		障がい福祉	2	0.3%
	コミュニティー・地域福祉	コミュニティー	23	3.8%
		地域福祉	2	0.3%
	防災・交通安全	地域防災・消防	1	0.2%
		浸水対策	1	0.2%
交通安全・防犯		13	2.2%	
環境のまちづくり	学校教育	教育振興	8	1.3%
		教育環境	15	2.5%
	生涯学習	歴史	1	0.2%
		文化活動	15	2.5%
		スポーツ活動	5	0.8%
	人権尊重と男女共同参画	人権	0	0.0%
		男女共同参画	0	0.0%
		国際交流・平和	1	0.2%
	環境共生	環境保全	3	0.5%
		資源・エネルギー	4	0.7%
情報化	地域情報化	11	1.8%	
	図書館	11	1.8%	
協働のまちづくり	住民協働	交流連携	5	0.8%
		公共的活動支援	1	0.2%
	行財政運営	行政経営	39	6.5%
		窓口サービス	7	1.2%
		広域連携	2	0.3%
		その他	41	6.9%
合計		598	100.0%	

【学研都市の推進 27件】

「学研都市のPR促進」「学研都市に集積している高度な施設の利活用」「私のしごと館・国立国会図書館の利活用等」に関する意見などがありました。

【企業誘致 36件】

「人口減少の抑制や若者の定住のため企業誘致の促進」「学研都市として立地している企業への就業機会の増加等」に関する意見などがありました。

【農業 13件】

「担い手の育成」「いちご狩りをはじめとした観光農業の振興（看板の見直し）」に関する意見などがありました。

【商工・サービス業 58件】

「スーパーなどの商業施設の必要性に関すること」「車がないと日常の買い物が不便であること（交通弱者の買い物対策）」「大型商業施設やレジャー施設等の必要性」に関する意見などがありました。

【観光 5件】

「交流人口の促進を図るための具体的な事業等の必要性」に関する意見などがありました。

【市街地形成 32件】

「学研都市を活かしたまちづくりの必要性」「町内の地域間の開発状況の違いに関する意見」「祝園駅前・駅周辺の開発」に関する意見などがありました。

【景観 25件】

「精華町の街並みのすばらしさ」「町内の景観が変化していることへの不安」に関する意見などがありました。

【道路 16件】

町内各所の道路整備に関する意見などがありました。

【公共交通 56件】

「近鉄けいはんな線の延伸」「町内のバス利便性向上」「老後（車を運転しなくなった後）の交通環境への不安」に関する意見などがありました。

【上水道 2件】

水道料金に対する意見がありました。

【下水道 1件】

下水道料金に対する意見がありました。

【住宅 17件】

「若者が定住するための住宅施策の促進」「空き家対策の必要性」に関する意見などがありました。

【健康づくり 3件】

「健康づくりをする場の確保」に関する意見などがありました。

【地域医療・生活衛生 1件】

健康診断の無料化に関する意見がありました。

【医療・保健 13件】

「医療機関の充実や小児科の不足」に関する意見などがありました。

【子育て環境・子育て支援 53件】

「幼稚園の必要性」「ファミリーサポートセンターの必要性」「特別保育の必要性」「経済的援助の充実および見直し」「精華町の子育て環境や子育て支援が充実していることに対する肯定的な意見」などがありました。

【高齢福祉 29件】

「買い物対策の」「高齢化するコミュニティへの対策」「高齢者の社会参画に」に関する意見などがありました。

【障がい福祉 2件】

障がい者にとって住みよいまちづくりを継続してほしいとの意見がありました。

【コミュニティー 23件】

「地域コミュニティづくりの重要性」「地域コミュニティへの参画の難しさ」「公民館等施設の充実」に関する意見などがありました。

【地域福祉 2件】

地域福祉の充実のために高齢者の積極的な参画を促す意見がありました。

【地域防災・消防 1件】

防災対策の充実を望む意見がありました。

【浸水対策 1件】

河川改修計画の早期実行に関する意見がありました。

【交通安全・防犯 13件】

「交通に関する危険個所の解消」「精華町の治安の良さ」に関する意見などがありました。

【教育振興 8件】

義務教育の充実に関する意見などがありました。

【教育環境 15件】

「中学校給食の開始」「小中学生のいる世帯への経済的支援」に関する意見などがありました。

【歴史 1件】

郷土史や伝統文化の振興に関する意見がありました。

【文化活動 15件】

「学研都市を活かした文化活動の必要性」「若者向けのイベントの促進」「様々な地域住民や多世代交流ができるイベントの促進」に関する意見などがありました。

【スポーツ活動 5件】

スポーツ活動ができる場の確保に関する意見などがありました。

【国際交流・平和 1件】

国際交流イベントの促進に関する意見がありました。

【環境保全 3件】

精華町のきれいな自然環境を保全してほしいとの意見がありました。

【資源・エネルギー 4件】

再生可能エネルギー対策の促進に関する意見などがありました。

【地域情報化 11件】

「インターネットを活用した広報の一層の促進」「積極的な精華町のシティプロモーションの必要性」に関する意見などがありました。

【図書館 11件】

図書館機能の充実を求める意見などがありました。

【交流連携 5件】

「学研都市に立地する企業との連携促進」に関する意見などがありました。

【公共的活動支援 1件】

ボランティア活動の推進に関する意見がありました。

【行政経営 39件】

「税金が高い」「アンケート結果の有効活用」「精華町独自の施策の推進」「市制移行の要望」に関する意見などがありました。

【窓口サービス 7件】

「役場職員の対応への満足」「役場職員の多さ」に関する意見などがありました。

【広域連携 2件】

「合併に関する検討や近隣自治体との連携促進」に関する意見などがありました。

【その他 41件】

「今後のまちづくりへの期待」「人口減少社会に対応した町政運営への要望」に関する意見などがありました。

3 資料

○「地方創生に関するアンケート調査」調査票

「地方創生に関するアンケート調査」のお願い

住民の皆様には、日頃から町政の推進にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、精華町では、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、政府が進める人口減少の克服と地域活性化による地方創生の取り組みに合わせ、今後5年間（平成31年度まで）の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「総合戦略」を策定することとしています。

そこで、豊かな自然と歴史に恵まれ、学研都市の中心に位置する精華町の地域資源を活用し、「まちの魅力」を高めることで、新たな「まちの価値」を創造し、「住んでみたい、住んで良かったまち」、「訪れたい、訪れて良かったまち」と、愛着と誇りを感じることができる学研都市精華町を目指した「シティプロモーション」を政策の柱とした戦略策定に取り組むため、住民の皆様のご意見をお聞きし、反映してまいりたいと考えています。

ご多用のこととは存じますが、どうか調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、今回の調査は18歳以上の住民の皆様の中から、2,500人を無作為に抽出し実施するものです。

平成27年6月

精華町長 木村 要

記入上の注意

- 1 お送りしたあて名のご本人がお答えください。氏名は記入しないでください。
- 2 ご回答いただいた内容は、個人が特定できないように、全て統計的に処理いたします。
- 3 何らかの事情により、ご本人が記入できない場合には、ご本人の意思を反映してご家族の方などが記入してください。
- 4 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、平成27年6月29日（月）までに郵便ポストに投函してください。（切手は不要です。）
- 5 記入にあたって不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】〒619-0285 京都府相楽郡精華町大字南稻八妻小字北尻70番地
精華町役場 企画調整課 担当：西川・森島
土・日・祝日を除く平日午前8時30分～12時00分 午後1時～午後5時15分
TEL：0774-95-1900 FAX：0774-95-3971
E-mail：kikaku@town.seika.kyoto.jp

◆「あなた自身のこと」についてお聞きします。

問1 それぞれの内容についてお答えください。

(1) あなたの性別は？(1つに○)	1 男性	2 女性
(2) あなたの年齢は？	満_____歳	
(3) あなたの居住地は？	1 精北小学校区 3 山田荘小学校区 5 精華台小学校区 6 不明・その他()	2 川西小学校区 4 東光小学校区
(4) あなたの精華町での居住年数は？ (1つに○)	1 1年未満 2 1年以上5年未満 3 5年以上10年未満 4 10年以上20年未満 5 20年以上	
(5) あなたの職業は？(1つに○)	1 農林業 3 建設業 5 公務員 7 製造業 9 運輸業 11 医療・福祉業 13 パート・アルバイト・派遣 14 学生 16 その他()	
(6) どこへ通勤・通学していますか？(1つに○)	2 水産業 4 サービス業 6 教員・研究員 8 情報・通信業 10 金融・保険業 12 専業主婦(主夫) 15 無職	
(7) 同居している家族構成を教えてください(1つに○)	1 精華町内 2 京都府内(精華町以外) 3 奈良県内 4 大阪府内 5 通勤・通学していない 6 その他()	
(7) 同居している家族構成を教えてください(1つに○)	1 単身 3 親子 5 その他()	2 夫婦のみ 4 三世代

◆精華町についてお聞きします。

問2 精華町の住みやすさについてどう思われますか？
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1 住みよい	2 まあまあ住みよい
3 どちらともいえない	4 どちらかといえば住みにくい
5 住みにくい	6 わからない

1 または 2 を選んだ方は、問3-1 へ

4 または 5 を選んだ方は、問3-2 へ

問3-1 「精華町が住みよい」と感じる理由は何ですか？
次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

問3-2 「精華町が住みにくい」と感じる理由は何ですか？
次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

1 買い物が便利
2 町内の移動（公共交通）が便利
3 町外への移動（公共交通）が便利
4 道路事情が良い
5 医療や福祉体制が充実している
6 子育て支援が充実している
7 教育環境が良い
8 町並みが良い
9 自然が多い
10 魅力的な職場がある
11 近所づきあいが良い
12 余暇が楽しめる
13 歴史・文化に愛着がある
14 その他
()

1 買い物が不便
2 町内の移動（公共交通）が不便
3 町外への移動（公共交通）が不便
4 道路事情が悪い
5 医療や福祉体制が不十分
6 子育て支援が不十分
7 教育環境が悪い
8 町並みが悪い
9 自然が少ない
10 魅力的な職場がない
11 近所づきあいが難しい
12 余暇が楽しめない
13 歴史・文化に愛着を持ってない
14 その他
()

◆「精華町の魅力」についてお聞きします。

問4 精華町の魅力や誇れるものは何だと思いますか？
主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 文化・学術・研究の拠点を目指す研究開発施設などの集積
- 2 まつり・行事などの地域におけるイベントの充実
- 3 教育・文化・芸術・スポーツ・国際交流など盛んな住民活動
- 4 山や川が身近にある自然環境
- 5 過ごしやすい気候
- 6 その他 ()

◆「精華町の今後のまちづくり」についてお聞きします。

問5 安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために、どのようなことに取り
組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 結婚に対する支援策の充実
- 2 妊娠、出産に関する相談、情報提供など支援策の充実
- 3 乳幼児の保健指導や育児相談の充実
- 4 子どもが遊べる場所の整備、充実
- 5 保育所・幼稚園や放課後児童クラブ（学童保育）の充実
- 6 教育環境や施設整備などの充実
- 7 子育てと仕事の両立しやすい環境の整備
- 8 子育て世帯への経済的支援
- 9 その他 ()

問6 精華町の経済を活性化するために、どのようなまちづくりが必要だと思いますか？主なも
のを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 農林水産業の振興
- 2 企業誘致の推進
- 3 起業化支援の強化
- 4 安定した雇用先の確保
- 5 中小企業・個人事業主への支援強化
- 6 大学、研究機関、産業界などが連携して行う新商品開発や事業化などの促進
- 7 観光客の誘致宣伝活動の強化など、観光振興策の充実
- 8 その他 ()

問7 若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 若い人や女性への就労支援
- 2 若い人が交流する場の提供
- 3 町民のまちづくり活動や若者のイベントの開催への支援
- 4 U・I・Jターンの拡充
- 5 大学生や専門学校生などの地元就職の支援
- 6 地元の大学や専門学校などの魅力の向上
- 7 町会など地域コミュニティへの若者の参加機会の拡充
- 8 その他（)

◆「精華町のまちの現状」についてお聞きします。

問8 精華町の人口は35,630人（2010年国勢調査時点）ですが、2025年頃にピーク（37,048人）を迎えた以降は減少していくと、国立社会保障・人口問題研究所の推計結果が公表されています。この推計結果をご存知ですか？
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1 知っている
- 2 なんとなく聞いたことがある
- 3 知らなかった

問9 精華町の人口が減少していくことについて、あなたの考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 人口減少が望ましくなく、現在より増加するように考えるべき
- 2 人口減少が望ましくなく、現在程度の人口を維持するように考えるべき
- 3 人口減少はやむを得ないが、できるだけ減少に歯止めをかけるべき
- 4 人口減少はやむを得ない
- 5 その他（)

問10 将来、精華町の人口減少が進行した場合に、あなたが不安に感じることを次のうちからあなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 国や地方が税収減となり、行政サービスが低下する
- 2 年金の減額、社会保険料や医療費の増額など、社会保障にかかる個人の負担増
- 3 地域を支える担い手の不足や地域活力の低下
- 4 過疎化の進行による土地の荒廃
- 5 労働力人口の減少などによる地域産業の衰退
- 6 人口減少による消費減などでの「にぎわい」の喪失
- 7 地域の伝統行事や文化の喪失
- 8 スポーツ、文化、娯楽などの余暇を楽しむ機会の減少
- 9 それほど影響はない

◆「結婚・出産・子育てに対する考え方」についてお聞きします。

問1 1 あなたは、現在結婚していますか？
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------------------|
| 1 結婚している（既婚）→問13へ | 2 独身（未婚） |
| 3 独身（結婚歴あり） | 4 その他（ ） |

《問1 1で、2～4を選択した方にお聞きします。》

問1 2 結婚をしていない理由は何ですか？
あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| 1 結婚したいと思える相手がいない | 2 家族を養うほどの収入がない |
| 3 精神的に自由でいられる | 4 経済的に自由でいられる |
| 5 異性とうまくつきあえない | 6 仕事（学業）に専念したい |
| 7 結婚資金が足りない | 8 まだ若すぎる |
| 9 高齢である | 10 結婚するつもりはない |
| 11 その他（ ） | |

問1 3 結婚を支援するために、行政としてどのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|------------------|
| 1 安定した雇用の確保 | 2 結婚に係る経済的支援 |
| 3 婚活イベントなど出会いの場の提供 | 4 交際術やマナーなどを学ぶ講座 |
| 5 結婚相談窓口（仲立ち） | |
| 6 若い世代（中学生・高校生）への結婚に関する講習会 | |
| 7 行政が関わる必要はない | |
| 8 その他（ ） | |

問1 4 子育てについてどのようなイメージを持っていますか？
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------------|-----------|----------|
| 1 楽しい | 2 にぎやか | 3 充実感がある |
| 4 お金がかかる | 5 時間がとられる | 6 不安がある |
| 7 その他（ ） | | |

問19 あなたがこれまでに聞いたことのある精華町に関連するキーワードはどれですか？
あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 京町セイカ | 2 けいはんな学研都市 |
| 3 洛いも | 4 いちご |
| 5 せいか365 | 6 お千代と半兵衛の墓 |
| 7 いごもり祭 | 8 せいか祭り |
| 9 ふるさと案内人 | 10 けいはんな日時計のレーザー |
| 11 国立国会図書館 関西館 | 12 けいはんな記念公園 |
| 13 科学のまちの子どもたちプロジェクト | |
| 14 ツアー・オブ・ジャパン | |
| 15 その他 () | |

◆「働く場所」についてお聞きします。

問20 あなたは、理想の勤務地はどこですか。
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | |
|---------------|
| 1 精華町内 |
| 2 京都府内（精華町以外） |
| 3 奈良県内 |
| 4 大阪府内 |
| 5 通勤・通学していない |
| 6 その他 () |

問21 あなたが勤務先を選ぶときの条件として優先順位が高い条件はどれですか。
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | |
|--------------------------|
| 1 勤務地・通勤の便 |
| 2 仕事の内容 |
| 3 労働条件（労働時間、休日・休暇など） |
| 4 雇用形態（正規職員、パート・アルバイトなど） |
| 5 賃金（年収） |
| 6 その他 () |

問22 あなたが就職や転職をするときに利用した方法はどれですか。
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1 学校や教師などの紹介
- 2 ハローワーク
- 3 家族や友人・知人の紹介
- 4 新聞やチラシなどの求人広告
- 5 会社のホームページ
- 6 インターネットなどの就職サイト
- 7 その他 ()

◆「転入」についてお聞きします。

《問23の質問は、精華町に転入された方のみお答えください。》

問23 精華町に転入した時期はいつ頃ですか。

- 1 1年前 2 2～3年前 3 4～5年前 4 6年以上前→自由意見へ

《問24～問27の質問は、問23で1～3を選択した方にお聞きします。》

問24 精華町に転入する前の市町村名をお答えください。

都道府県名 _____ 市町村名 _____

問25 精華町への転入のきっかけについて、主な理由として、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------|
| 1 就職・転職・転勤など勤務先の都合 | 2 進学 |
| 3 退職 | 4 結婚 |
| 5 介護 | 6 子どもの都合 |
| 7 住宅購入 | 8 災害 |
| 9 その他 () | |

問26 精華町を転入先として選択した理由について、次の中から、**3つまで選んで**番号に○をつけてください。

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1 自身の職場・進学先に近い | 2 家族の職場・進学先に近い |
| 3 町内の移動（バスなど）が便利 | 4 町外への移動（鉄道・新幹線など）が便利 |
| 5 道路事情が良い | 6 医療や福祉体制が充実している |
| 7 子育て支援が充実している | 8 教育環境が良い |
| 9 物価が安い | 10 まち並みが良い |
| 11 自然が多い | 12 買い物が便利 |
| 13 近所づきあいが良い | 14 娯楽・レジャーが楽しめる |
| 15 食べ物がおいしい | 16 気候が良い |
| 17 以前に住んでいた | 18 その他（ ） |

問27 精華町と転入前の市町村で、以下の項目は良くなりましたか？

それぞれあてはまる番号を**1つ選んで**○をつけてください。

精華町が良い ←

→ 以前の居住地が良い

	精華町のほうが良い	精華町のほうがやや良い	どちらともいえない	以前のほうがやや良かった	以前のほうが良かった	わからない
1 日常の買い物の便利さ	6	5	4	3	2	1
2 町内の移動（公共交通機関）の便利さ	6	5	4	3	2	1
3 町外への移動の便利さ	6	5	4	3	2	1
4 道路の歩きやすさ	6	5	4	3	2	1
5 医療施設やサービス体制	6	5	4	3	2	1
6 福祉施設やサービス体制	6	5	4	3	2	1
7 子育て支援	6	5	4	3	2	1
8 子どもの教育環境	6	5	4	3	2	1
9 雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	6	5	4	3	2	1

	精華町のほうが良い	精華町のほうがやや良い	どちらともいえない	以前のほうがやや良かった	以前のほうが良かった	わからない
10 近所づきあい	6	5	4	3	2	1
11 娯楽・レジャー施設	6	5	4	3	2	1
12 治安の良さ	6	5	4	3	2	1
13 土地・家賃の安さ	6	5	4	3	2	1
14 物価の低さ	6	5	4	3	2	1

人口減少対策やまちづくりに関することでご意見がありましたら、自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、6月29日(月)までに郵便ポストに投函してください。

4. 精華町地域創生戦略策定に向けた 中学生アンケート調査結果報告書

目 次

1 調査の概要	2
① 調査の目的	
② 調査方法と回収結果	
③ 調査項目	
④ 留意点	
2 調査結果	3
(1) 回答者の属性に関する調査結果.....	3
(2) 精華町のイメージに関する調査結果.....	4
① 好意に関する意識調査	
② 定住意向の調査	
(3) 将来に関する調査結果.....	8
① 将来に関する調査	
② 精華町に住まない理由に関する調査	
③ 将来就職する地域に関する調査	
④ 将来の仕事に関する調査	
(4) 精華町への期待に関する調査結果.....	12
① 精華町への期待に関する調査	
(5) 精華町の広報に関する調査結果.....	13
① 精華町のキーワード調査	
② 町行政が発信している情報の入手方法調査	
(6) 自由意見.....	15
3 資料	16

1 調査の概要

① 調査の目的

①安定した雇用の創出、②地方へのひとの流れの創出、③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるための支援などにより、地域の活性化を目指す「精華町まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮）」の策定にあたり、町民の町政に対する評価やニーズを統計的に把握することを目的として調査を実施しました。

② 調査方法と回収結果

○ 調査対象

本町の3つの中学校の中学3年生にアンケートを依頼し、387件の回答を得ました。

○ 調査方法

調査票を各中学校に配布・回収しました。

○ 調査期間

平成27年6月

○ 回収結果

精華中学校	精華南中学校	精華西中学校	合計
88件	69件	230件	387件

③ 調査項目

○ 回答者の属性に関する質問

○ 精華町のイメージに関する質問

○ 将来に関する質問

○ 精華町への期待に関する質問

○ 精華町の広報に関する質問

④ 留意点

○ 結果は百分率で表示しました。百分率は小数第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%と一致しない場合があります。

○ 複数回答可の質問の百分率の合計は、100%を超えます。住みやすさに関する質問結果

○ 重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。

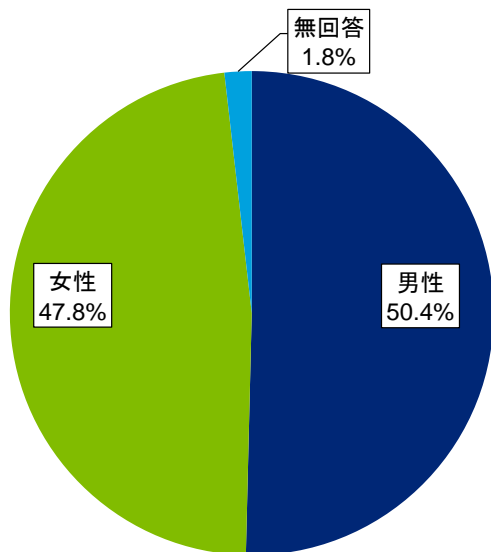
○ 質問のサンプル数は「n=」で表しています。

2 調査結果

(1) 回答者の属性に関する調査結果

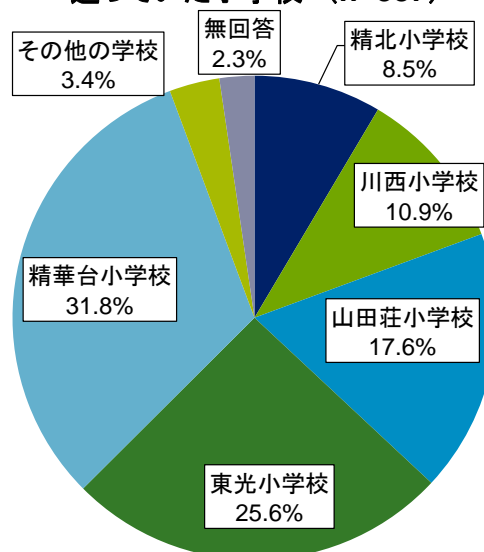
① 性別

性別 (n=387)



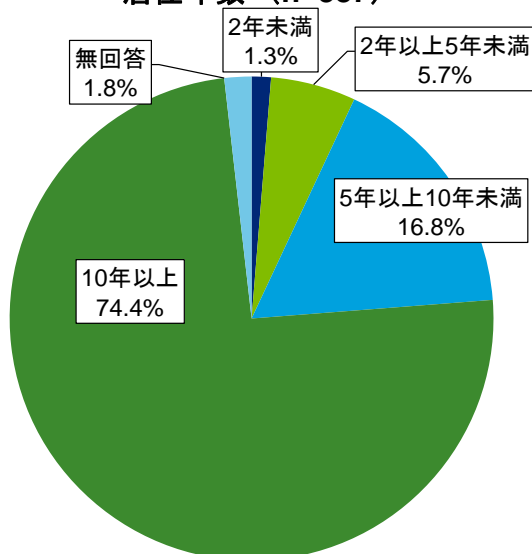
② 通っていた小学校

通っていた小学校 (n=387)



③ 居住年数

居住年数 (n=387)



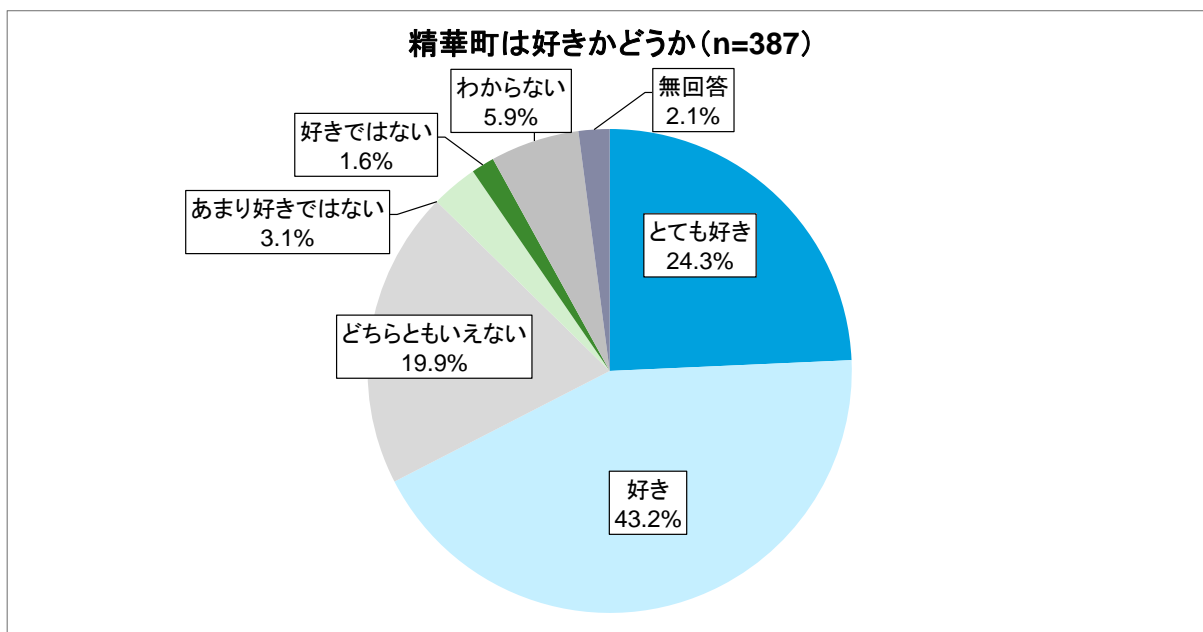
(2) 精華町のイメージに関する調査結果

① 好意に関する意識調査

問 2-1

あなたは精華町が好きですか？

(あてはまる番号を1つ選んで○)



選択肢	回答数	割合
とても好き	94	24.3%
好き	167	43.2%
どちらともいえない	77	19.9%
あまり好きではない	12	3.1%
好きではない	6	1.6%
わからない	23	5.9%
無回答	8	2.1%
合計	387	100.0%

精華町に対する好意の意識調査の結果、「好き」と回答した人の割合が最も高く 43.2%となっています。

また、「とても好き」「好き」を合わせると、回答者の 67.5%が精華町を好きだと回答しています。

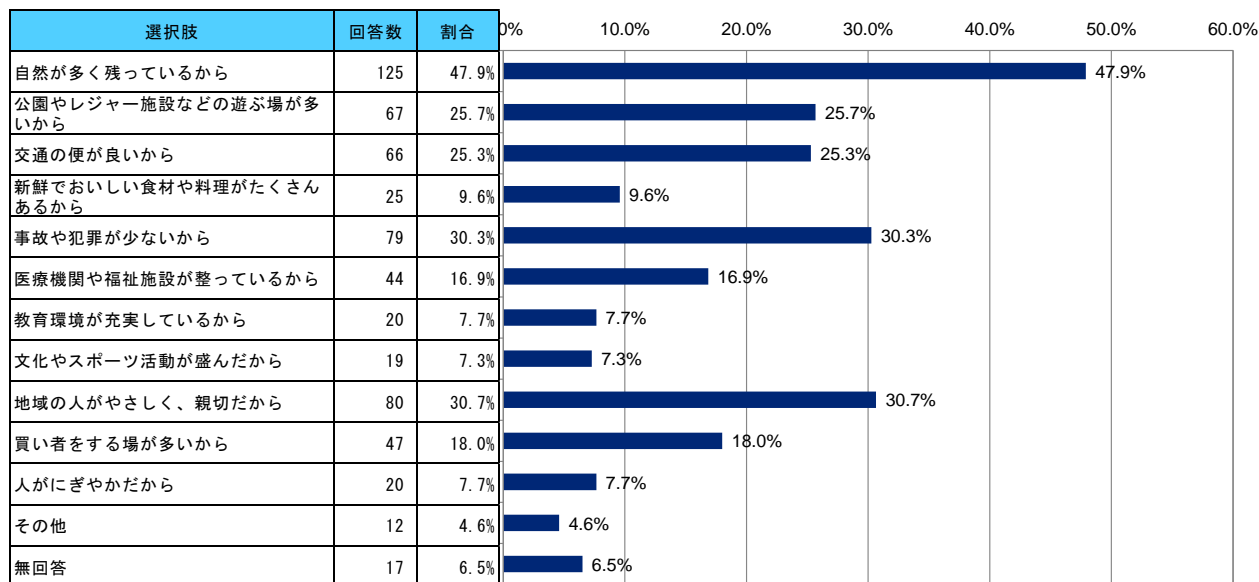
「好きではない」「あまり好きではない」を合わせると、回答者の 4.7%が精華町を好きではないと回答しています。

問 2-1-①

あなたが、精華町を好きな理由は何ですか？

次の中から 3 つまで選んで番号に○をつけてください。

※該当者は問 2-1 で「とても好き」「好き」と回答した人のみ



n=261

問 2-1 で「とても好き」「好き」と回答した人のうち、精華町が好きな理由として、「自然が多く残っているから」との回答が 47.9%と最も高いです。

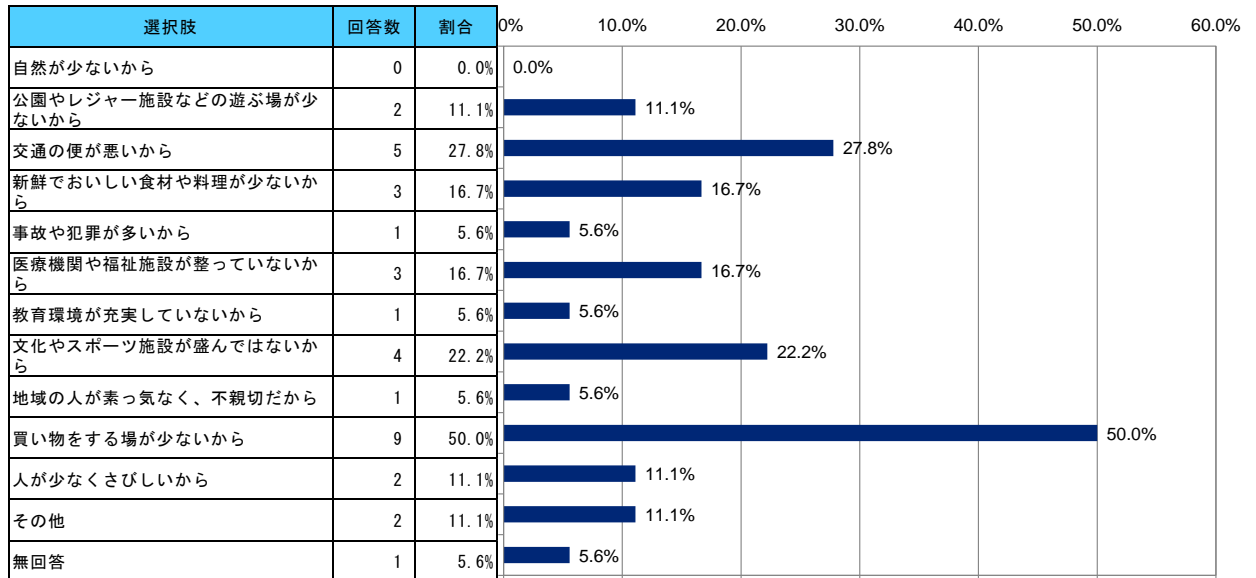
次いで、「地域の人がやさしく、親切だから」が 30.7%と高く、「事故や犯罪が少ないから」が 30.3%と続きます。

問 2-1-②

あなたが、精華町を好きではない理由は何ですか？

次の中から 3 つまで選んで番号に○をつけてください。

※該当者は問 2-1 で「あまり好きではない」「好きではない」と回答した人のみ



n=18

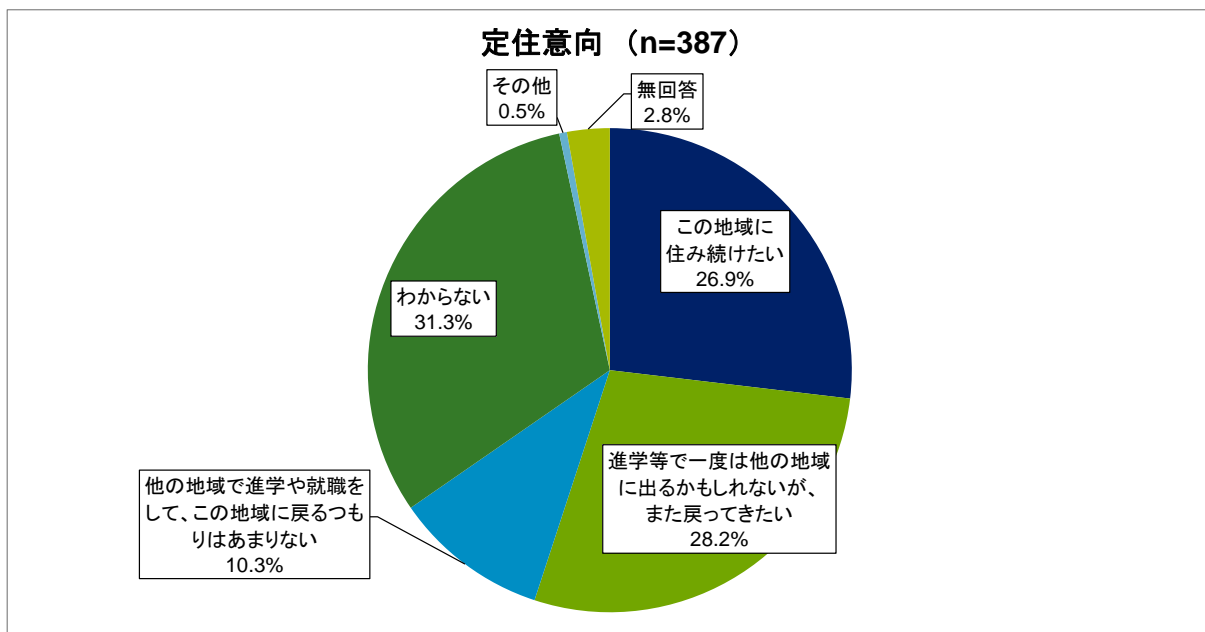
問 2-1 で「あまり好きではない」「好きではない」と回答した人のうち、精華町が好きではない理由として、「買い物をする場が少ないから」との回答が 50.0%と最も高いです。

次いで、「交通の便が悪いから」が 27.8%と高く、「文化やスポーツ施設が盛んではないから」が 22.2%と続きます。

② 定住意向の調査

問 2-2

あなたは、これからも精華町に住み続けたいですか？
 (あてはまる番号を **1つ選んで**○)



選択肢	回答数	割合
この地域に住み続けたい	104	26.9%
進学等で一度は他の地域に出るかもしれないが、また戻ってきたい	109	28.2%
他の地域で進学や就職をして、この地域に戻るつもりはあまりない	40	10.3%
わからない	121	31.3%
その他	2	0.5%
無回答	11	2.8%
合計	387	100.0%

精華町での定住意向の調査の結果、「わからない」との回答が 31.3%と最も高いです。

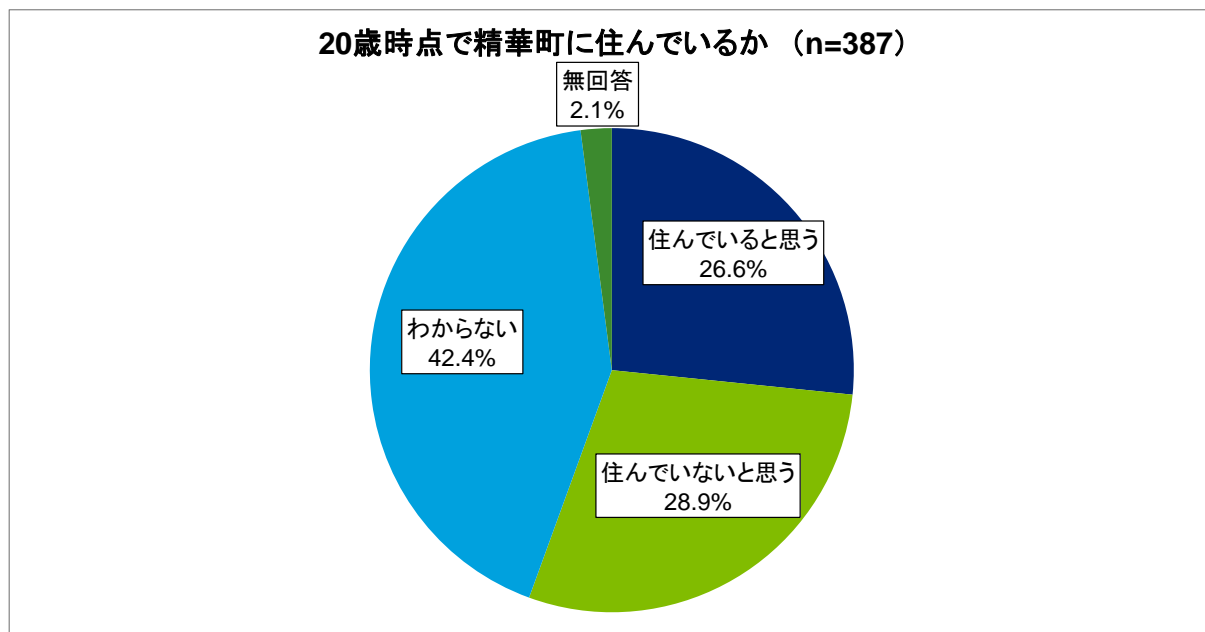
「この地域に住み続けたい」「進学等で一度は他の地域に出るかもしれないが、また戻ってきたい」を合わせると、回答者の 55.1%が将来定住したいと回答していますが、一方で「他の地域で進学や就職をしてこの地域に戻るつもりはない」と選んだ回答者が 10.3%います。

(3) 将来に関する調査結果

① 将来に関する調査

問 3-1

あなたは、20歳になったとき、精華町に住んでいると思いますか？



選択肢	回答数	割合
住んでいると思う	103	26.6%
住んでいないと思う	112	28.9%
わからない	164	42.4%
無回答	8	2.1%
合計	387	100.0%

将来に関する調査の結果、「わからない」との回答が42.4%と最も高いです。次いで、「住んでいないと思う」が28.9%、「住んでいると思う」が26.6%です。

② 精華町に住まない理由に関する調査

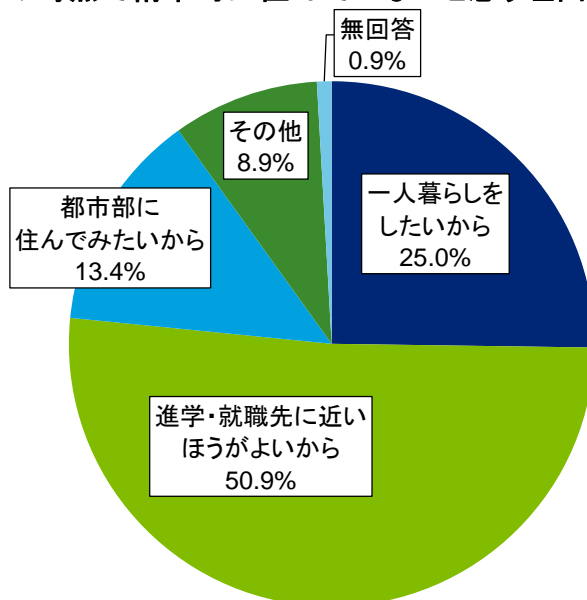
問 3-2

その主な理由は何ですか？

(もっともあてはまる番号を1つ選んで○)

※該当者は問 3-1 で「住んでいないと思う」と回答した人のみ

20歳の時点で精華町に住んでいないと思う理由 (n=112)



選択肢	回答数	割合
一人暮らしをしたいから	28	25.0%
進学・就職先に近いほうがよいから	57	50.9%
都市部に住んでみたいから	15	13.4%
その他	10	8.9%
無回答	1	0.9%
合計	112	100.0%

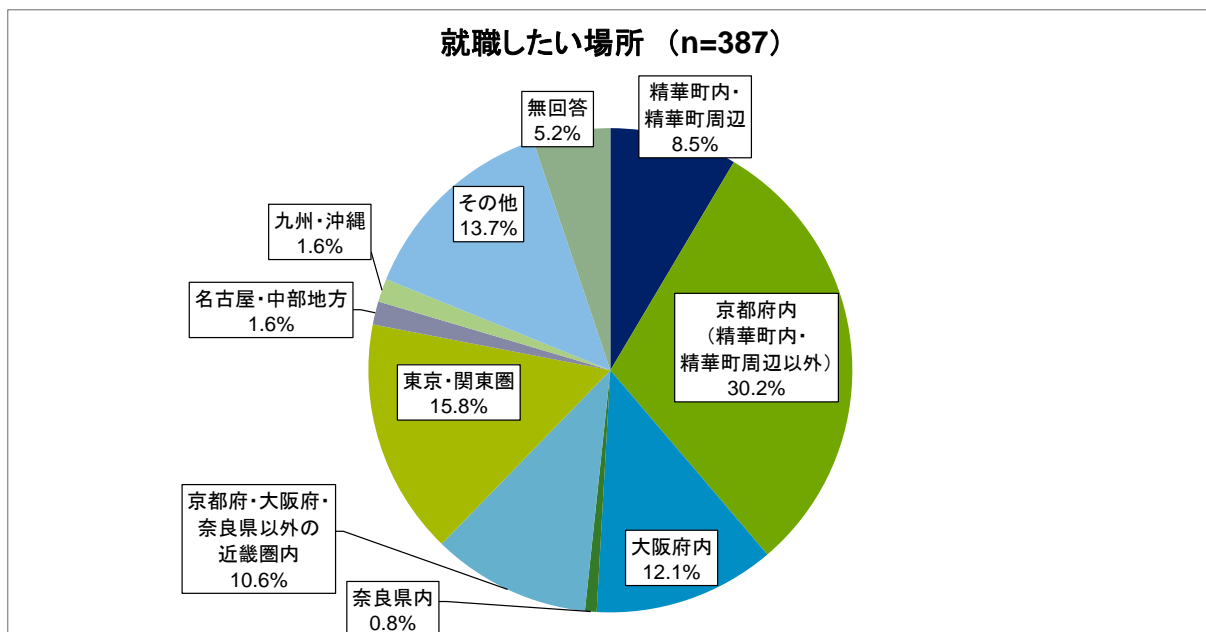
問 3-1 で「住んでいないと思う」と回答した人のうち、精華町に住まない理由として「進学・就職先に近いほうがよいから」との回答が 50.9%と最も高いです。

次いで、「一人暮らしをしたいから」が 25.0%、「都市部に住んでみたいから」が 13.4%と続きます。

③ 将来就職する地域に関する調査

問 3-3

あなたは、将来、どこで就職したいですか？
 (もっともあてはまる番号を1つ選んで○)



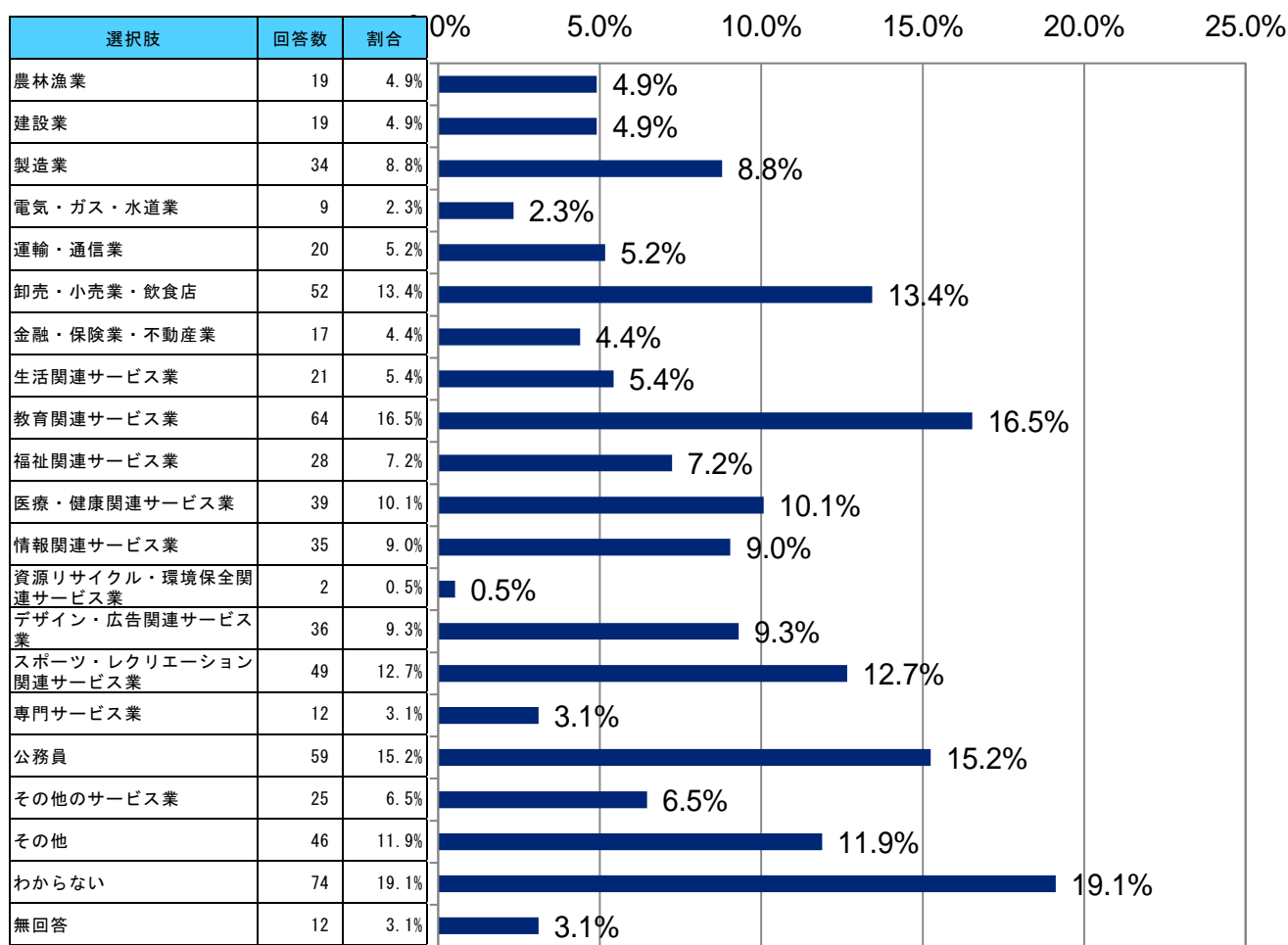
選択肢	回答数	割合
精華町内・精華町周辺	33	8.5%
京都府内 (精華町内・精華町周辺以外)	117	30.2%
大阪府内	47	12.1%
奈良県内	3	0.8%
京都府・大阪府・奈良県以外の近畿圏内	41	10.6%
東京・関東圏	61	15.8%
名古屋・中部地方	6	1.6%
九州・沖縄	6	1.6%
その他	53	13.7%
無回答	20	5.2%
合計	387	100.0%

将来就職する地域に関する調査の結果、「京都府内 (精華町内・精華町周辺以外)」との回答が30.2%と最も高いです。

次いで、「東京・関東圏」が15.8%、「大阪府内」が12.1%と続きます。

④ 将来の仕事に関する調査

問 3-4
 将来、どのような仕事に就きたいですか？
 (興味がある分野の番号すべてに○)



n=387

将来の仕事に関する調査の結果、「わからない」との回答が 19.1%と最も高いです。

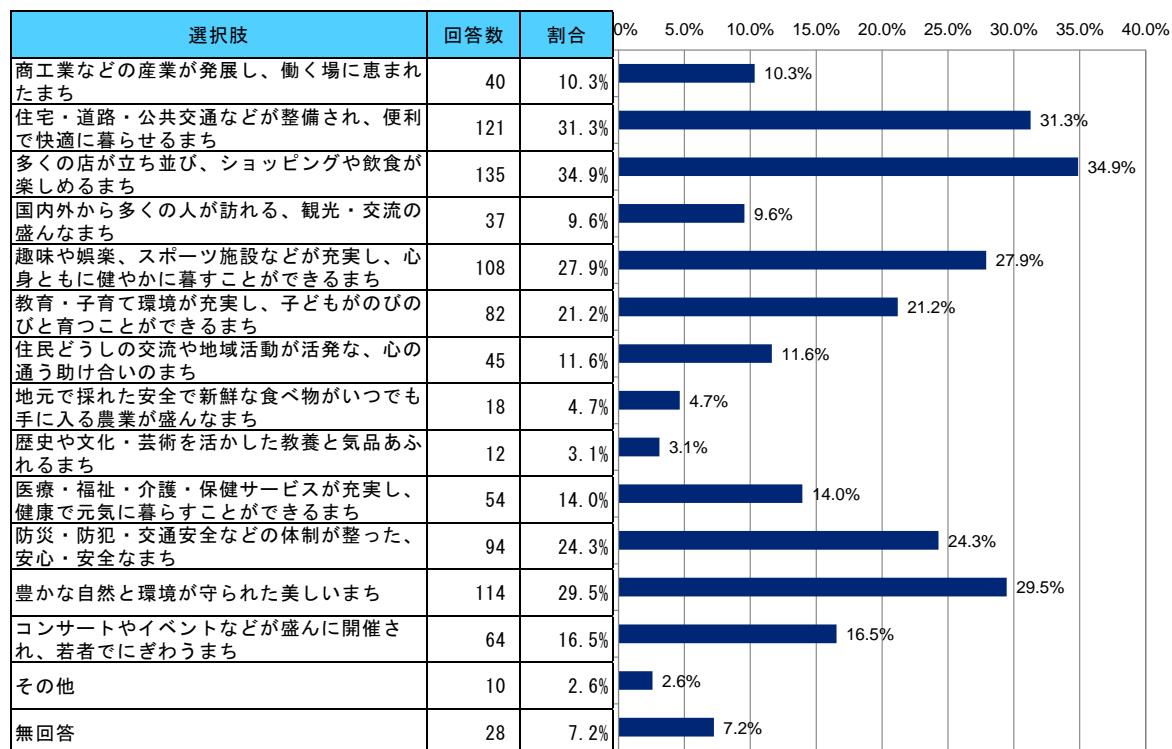
次いで、「教育関連サービス業」が 16.5%、「公務員」が 15.2%、「卸売・小売業・飲食店」が 13.4%と続きます。

(4) 精華町への期待に関する調査結果

① 精華町への期待に関する調査

問 4

あなたは、精華町が将来どのようなまちになることを期待しますか？
次の中から **3つまで選んで** 番号に○をつけてください。



n = 387

精華町への期待に関する調査の結果として、「多くの店が立ち並び、ショッピングや飲食が楽しめるまち」との回答が 34.9%と最も高い。

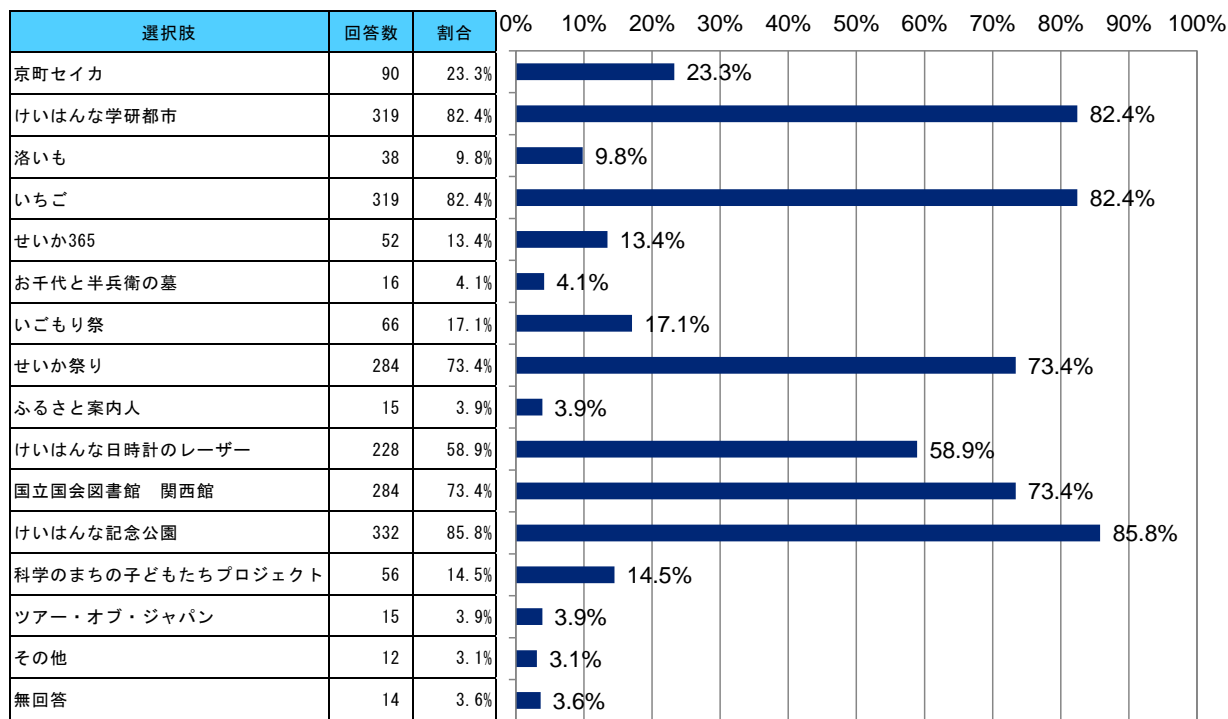
次いで、「住宅・道路・公共交通などが整備され、便利で快適に暮らせるまち」が 31.3%、「豊かな自然と環境が守られた美しいまち」が 29.5%と続きます。

(5) 精華町の広報に関する調査結果

① 精華町のキーワード調査

問 5-1

あなたがこれまでに聞いたことのある精華町に関連するキーワードはどれですか？あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。



n = 387

精華町のキーワード調査の結果、「けいはんな記念公園」との回答が 85.8%と最も高いです。

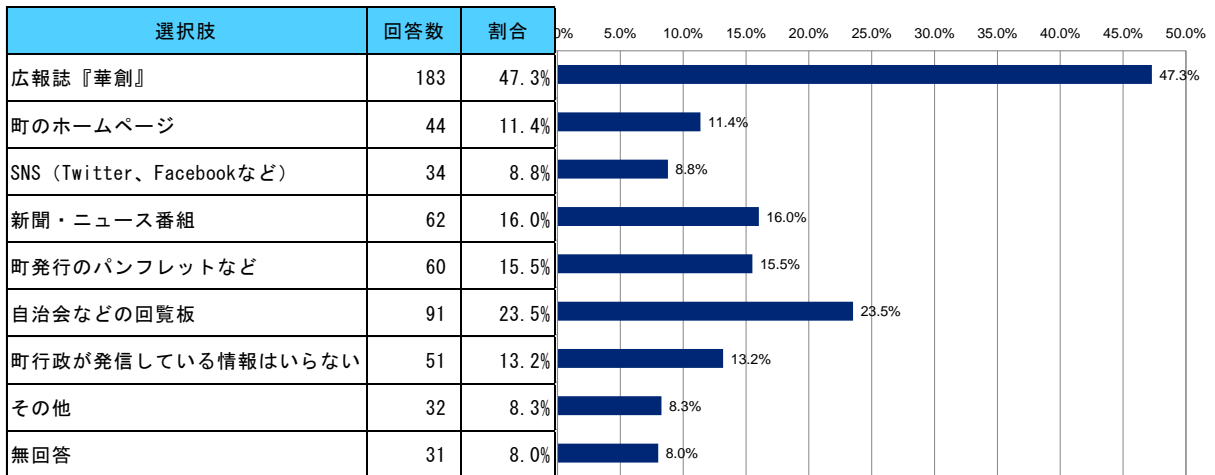
次いで、「けいはんな学研都市」「いちご」が 82.4%、「せいか祭り」「国立国会図書館 関西館」が 73.4%と続きます。

② 町行政が発信している情報の入手方法調査

問 5-2

町のことをどのような方法で知りますか？

(該当する番号すべてに○)



n = 387

町行政が発信している情報の入手方法調査の結果、「広報誌『華創』」との回答が 47.3%と最も高いです。

次いで、「自治会などの回覧板」が 23.5%、「新聞・ニュース番組」が 16.0%と続きます。

(6) 自由意見

下表は、アンケート調査票の自由意見欄に記入された内容の一覧です。

今回のアンケート調査では、28名からご意見をいただきました。なお、複数の分野にわたる意見については重複カウントしているため、意見総数と一致しません。また、下記ご意見には「なし」「特になし」といった意見を除いています。

No.	中学校名	性別	小学校	居住年数	自由意見
1	精華	男性	精華台	10年以上	自然を残しておいてほしい
2	精華	女性	川西	10年以上	教室にクーラーを付けて欲しい
3	精華	男性	川西	10年以上	もっと買い物ができるデパートを作って欲しい。
4	精華	男性	精北	10年以上	粕田にコンビニが欲しい
5	精華	女性	精北	10年以上	学校にクーラーをつけてほしい
6	精華	女性	川西	10年以上	学校の教室にクーラーを！！
7	精華	女性	川西	5年以上10年未満	学校にクーラーをつけてほしい
8	精華	男性	川西	10年以上	学校にクーラーをつけてほしい
9	精華	女性	精北	10年以上	ボールを使って遊べる場所がない
10	精華南	女性	山田荘	5年以上10年未満	給食センターを作ってほしいです。
11	精華南	女性	山田荘	5年以上10年未満	フレスコの建物の跡には店を入れて欲しい。
12	精華南	男性	山田荘	5年以上10年未満	クーラーを付けてほしい(学校に)。イオンがあったらうれしい
13	精華南	男性	山田荘	10年以上	クーラーがほしい
14	精華南	女性	山田荘	10年以上	精華町に警察所があまりないのが、よろしくないと思います。
15	精華南	男性	山田荘	10年以上	お金がないの、どうにかありませんか。
16	精華南	男性	山田荘	5年以上10年未満	クーラー、ヒーターなど、教室につけてほしい。
17	精華南	男性	山田荘	2年以上5年未満	桜が丘にコンビニをつくれ
18	精華西	男性	精華台	10年以上	頑張ってください。
19	精華西	女性	精華台	10年以上	サントリー色々建ててるけど、もっと公園とか緑を増やしてほしい。
20	精華西	男性	精華台	2年以上5年未満	信号をつけてほしい
21	精華西	男性	東光	10年以上	アニメイト、映画館、ラウンド1が欲しい。この町を緑を残しつつも、アキバのような空間にしたい。京阪を祝園に引き込んで欲しい。
22	精華西	男性	精華台	10年以上	給食早くしてください。
23	精華西	男性	精華台	10年以上	4町目に住んでるんですけど、コンビニに行く為に10分ぐらい自転車で行かないといけないんで、近くにコンビニ作ってください。
24	精華西	男性	精華台	10年以上	SEGAのゲームセンターを作ってほしい
25	精華西	女性	精華台	10年以上	早く給食制度にして下さい(できれば年内に)
26	精華西	男性	精華台	10年以上	学校全部にクーラーをつけてください。
27	精華西	男性	精華台	10年以上	消防署と交番を増やした方が良い。
28	精華西	男性	東光	10年以上	美しい精華町を！

3 資料

○「地方創生に関するアンケート調査」調査票

中学3年生アンケート

精華町では、少子高齢化や人口の減少などに対応したまちづくりを進めるため、今回、次代を担う若い世代を代表して中学3年生のみなさんを対象としたアンケートを実施することになりました。アンケート調査結果を今後のまちづくりに活用したいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。

精華町役場 企画調整課

問1 あなたご自身のことについて教えてください。

(1) あなたの性別は（あてはまる番号を1つ選んで○）。

- | |
|------|
| 1 男性 |
| 2 女性 |

(2) あなたが通っていた小学校はどちらですか（あてはまる番号を1つ選んで○）。

- | | | | |
|----------|-----------|----------|---------|
| 1 精北小学校 | 2 川西小学校 | 3 山田荘小学校 | 4 東光小学校 |
| 5 精華台小学校 | 6 その他の学校（ | | ） |

(3) あなたは、現在の場所に住んでどのくらいですか（あてはまる番号を1つ選んで○）。

- | | | |
|---------|------------|-------------|
| 1 2年未満 | 2 2年以上5年未満 | 3 5年以上10年未満 |
| 4 10年以上 | | |

問2 精華町のイメージを教えてください。

(1) あなたは精華町が好きですか（あてはまる番号を1つ選んで○）。

- | | | |
|-------------|----------|-------------|
| 1 とても好き | 2 好き | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり好きではない | 5 好きではない | 6 わからない |

⇒①上記(1)で1、2と回答した方のみ、お答えください。あなたが、精華町を好きな理由は何ですか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | |
|-------------------------|
| 1 自然が多く残っているから |
| 2 公園やレジャー施設などの遊ぶ場が多いから |
| 3 交通の便が良いから |
| 4 新鮮でおいしい食材や料理がたくさんあるから |
| 5 事故や犯罪が少ないから |
| 6 医療機関や福祉施設が整っているから |
| 7 教育環境が充実しているから |
| 8 文化やスポーツ活動が盛んだから |
| 9 地域の人々がやさしく、親切だから |
| 10 買い物をする場が多いから |
| 11 人が多くにぎやかだから |
| 12 その他（ |

⇒②上記(1)で4、5と回答した方のみ、お答えください。あなたが、精華町を好きではない理由は何ですか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | |
|-------------------------|
| 1 自然が少ないから |
| 2 公園やレジャー施設などの遊ぶ場が少ないから |
| 3 交通の便が悪いから |
| 4 新鮮でおいしい食材や料理が少ないから |
| 5 事故や犯罪が多いから |
| 6 医療機関や福祉施設が整っていないから |
| 7 教育環境が充実していないから |
| 8 文化やスポーツ施設が盛んではないから |
| 9 地域の人々が素っ気なく、不親切だから |
| 10 買い物をする場が少ないから |
| 11 人が少なくさびしいから |
| 12 その他（ |

(2) あなたは、これからも精華町に住み続けたいですか（あてはまる番号を1つ選んで○）。

- | |
|----------------------------------|
| 1 この地域に住み続けたい |
| 2 進学等で一度は他の地域に出るかもしれないが、また戻ってきたい |
| 3 他の地域で進学や就職をして、この地域に戻るつもりはあまりない |
| 4 わからない |
| 5 その他（ ） |

問3 あなたの将来について教えてください。

(1) あなたは、20歳になったとき、精華町に住んでいると思いますか。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 住んでいると思う | 2 住んでいないと思う |
| 3 わからない | |

(2) 「2 住んでいないと思う」と回答した方にお聞きします。その主な理由は何ですか。
(もっともあてはまる番号を1つ選んで○)。

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 一人暮らしをしたいから | 2 進学・就職先に近いほうがよいから |
| 3 都市部に住んでみたいから | 4 その他（ ） |

(3) あなたは、将来、どこで就職したいですか（もっともあてはまる番号を1つ選んで○）。

- | | | |
|----------------------|----------------------|----------|
| 1 精華町内・精華町周辺 | 2 京都府内（精華町内・精華町周辺以外） | |
| 3 大阪府内 | 4 奈良県内 | |
| 5 京都府・大阪府・奈良県以外の近畿圏内 | 6 東京・関東圏 | |
| 7 名古屋・中部地方 | 8 九州・沖縄 | 9 その他（ ） |

(5) 将来、どのような仕事に就きたいですか（興味がある分野の番号すべてに○）

- | |
|---|
| 1 農林漁業（農業、畜産業、漁業、林業など） |
| 2 建設業（総合建設会社、工務店など） |
| 3 製造業（生産工場の工員、技術者など） |
| 4 電気・ガス・水道業（電力会社、ガス会社など） |
| 5 運輸・通信業（鉄道会社、バス・トラック会社、旅行会社、電話会社など） |
| 6 卸売・小売業・飲食店（問屋、デパート、スーパー、レストランなど） |
| 7 金融・保険業・不動産業（銀行、保険会社、証券会社、不動産会社など） |
| 8 生活関連サービス業（クリーニング業、理・美容業、写真業など） |
| 9 教育関連サービス業（幼稚園、小・中・高等学校、大学の教員など） |
| 10 福祉関連サービス業（老人ホーム、障害者福祉施設、保育所など） |
| 11 医療・健康関連サービス業（医師、看護師など） |
| 12 情報関連サービス業（ソフトウェア会社、情報処理・提供サービス会社など） |
| 13 資源リサイクル・環境保全関連サービス業（廃棄物処理会社など） |
| 14 デザイン・広告関連サービス業（広告代理店、デザイン業） |
| 15 スポーツ・レクリエーション関連サービス業（スポーツクラブ、ゴルフ場など） |
| 16 専門サービス業（弁護士、公認会計士、著述家） |
| 17 公務員（役所の職員、警官、消防士、自衛官など） |
| 18 その他のサービス業 |
| 19 その他（ ） |
| 20 わからない |

問4 精華町への期待を教えてください。

- (1) あなたは、精華町が将来どのようなまちになることを期待しますか。
次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 商工業などの産業が発展し、働く場に恵まれたまち
- 2 住宅・道路・公共交通などが整備され、便利で快適に暮らせるまち
- 3 多くの店が立ち並び、ショッピングや飲食が楽しめるまち
- 4 国内外から多くの人を訪れる、観光・交流の盛んなまち
- 5 趣味や娯楽、スポーツ施設などが充実し、心身ともに健やかに暮らすことができるまち
- 6 教育・子育て環境が充実し、子どもがのびのびと育つことができるまち
- 7 住民どうしの交流や地域活動が活発な、心の通う助け合いのまち
- 8 地元で採れた安全で新鮮な食べ物がいつでも手に入る農業が盛んなまち
- 9 歴史や文化・芸術を活かした教養と気品あふれるまち
- 10 医療・福祉・介護・保健サービスが充実し、健康で元気に暮らすことができるまち
- 11 防災・防犯・交通安全などの体制が整った、安心・安全なまち
- 12 豊かな自然と環境が守られた美しいまち
- 13 コンサートやイベントなどが盛んに開催され、若者でにぎわうまち
- 14 その他 ()

問5 町の広報について教えてください。

- (1) あなたがこれまでに聞いたことのある精華町に関連するキーワードはどれですか？
あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1 京町セイカ | 2 けいはんな学研都市 |
| 3 洛 <small>らく</small> いも | 4 いちご |
| 5 せいか365 | 6 お千代と半兵衛の墓 |
| 7 いごもり祭 | 8 せいか祭り |
| 9 ふるさと案内人 | 10 けいはんな日時計のレーザー |
| 11 国立国会図書館 関西館 | 12 けいはんな記念公園 |
| 13 科学のまちの子どもたちプロジェクト | |
| 14 ツアー・オブ・ジャパン | |
| 15 その他 () | |

- (2) 町のことをどのような方法で知りますか？（該当する番号すべてに○）

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| 1 広報誌『華創』 | 2 町のホームページ |
| 3 SNS (Twitter、Facebook など) | 4 新聞・ニュース番組 |
| 5 町発行のパンフレットなど | 6 自治会等の回覧板 |
| 7 町政情報は知らない | 8 その他 () |

その他、ご意見がありましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

5. 精華町地域創生戦略策定に向けた 小学生アンケート調査結果報告書

目 次

1 調査の概要	2
① 調査の目的	
② 調査方法と回収結果	
③ 調査項目	
④ 留意点	
2 調査結果	3
(1) 回答者の属性に関する調査結果.....	3
(2) 精華町のイメージに関する調査結果.....	4
① 好意に関する意識調査	
(3) 将来に関する調査結果.....	7
① 定住意向の調査	
② 10年後の居住予想に関する調査	
(4) 精華町の広報に関する調査結果.....	9
① 精華町のキーワード調査	
(5) 自由意見.....	10
3 資料	13

1 調査の概要

① 調査の目的

①安定した雇用の創出、②地方へのひとの流れの創出、③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるための支援などにより、地域の活性化を目指す「精華町まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮）」の策定にあたり、町民の町政に対する評価やニーズを統計的に把握することを目的として調査を実施しました。

② 調査方法と回収結果

○ 調査対象

本町の5つの小学校の小学6年生にアンケートを依頼し、446件の回答を得ました。

○ 調査方法

調査票を各小学校に配布・回収しました。

○ 調査期間

平成27年6月

○ 回収結果

精北小学校	川西小学校	山田荘小学校	東光小学校	精華台小学校	合計
60件	73件	67件	111件	135件	446件

③ 調査項目

○ 回答者の属性に関する質問

○ 精華町のイメージに関する質問

○ 将来に関する質問

○ 精華町の広報に関する質問

④ 留意点

○ 結果は百分率で表示しました。百分率は小数第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%と一致しない場合があります。

○ 複数回答可の質問の百分率の合計は、100%を超えます。住みやすさに関する質問結果

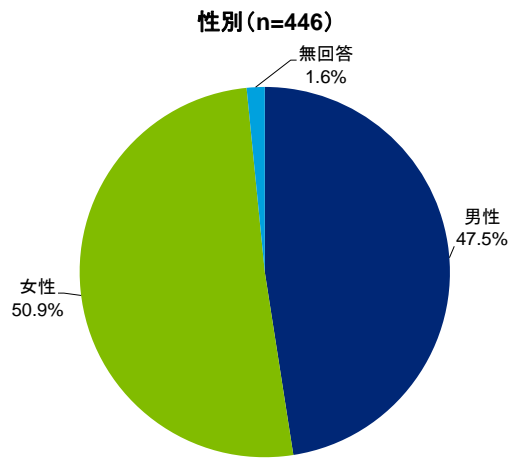
○ 重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。

○ 質問のサンプル数は「n=」で表しています。

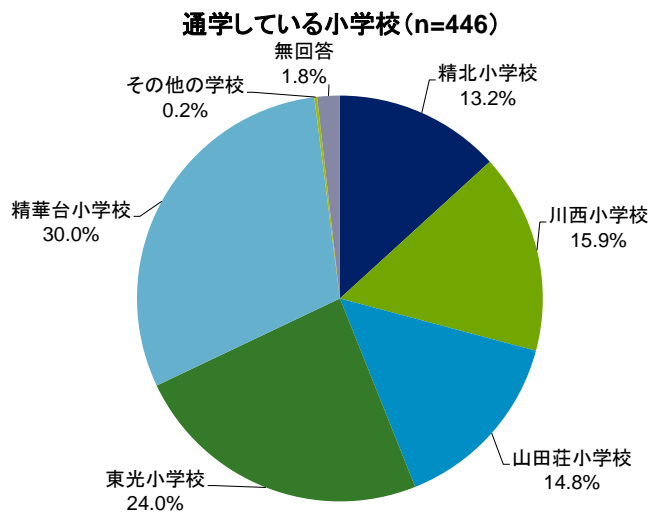
2 調査結果

(1) 回答者の属性に関する調査結果

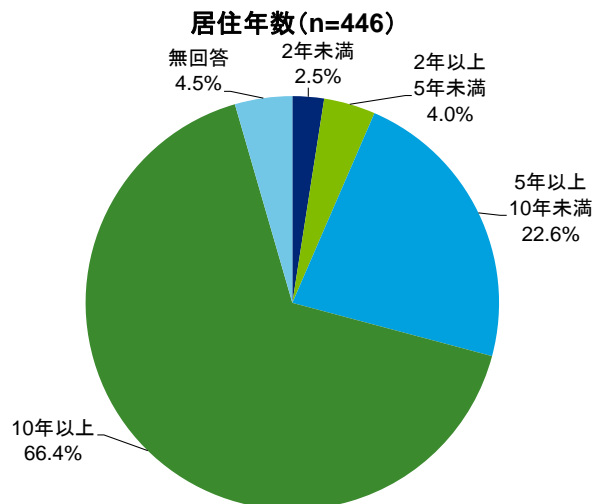
① 性別



② 通学している小学校



③ 居住年数



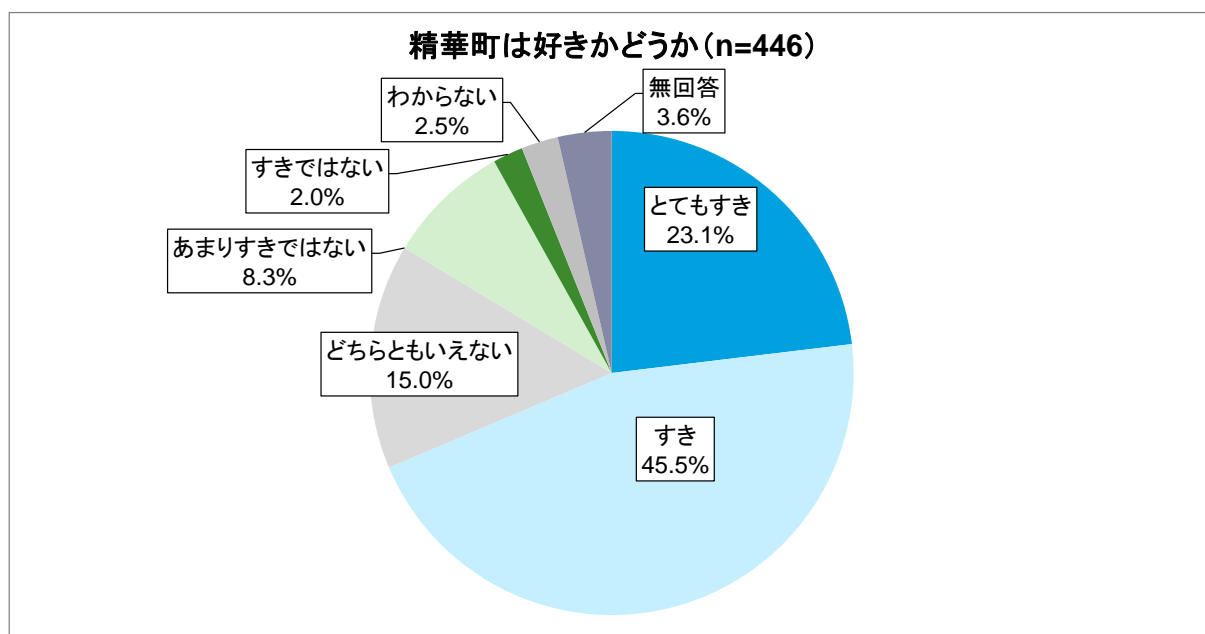
(2) 精華町のイメージに関する調査結果

① 好意に関する意識調査

問 2-1

あなたは精華町が好きですか？

(あてはまる番号を1つ選んで○)



精華町に対する好意の意識調査の結果、「好き」と回答した人の割合が最も高く 45.5%となっています。

また、「とても好き」「好き」を合わせると、回答者の 68.6%が精華町を好きだと回答しています。

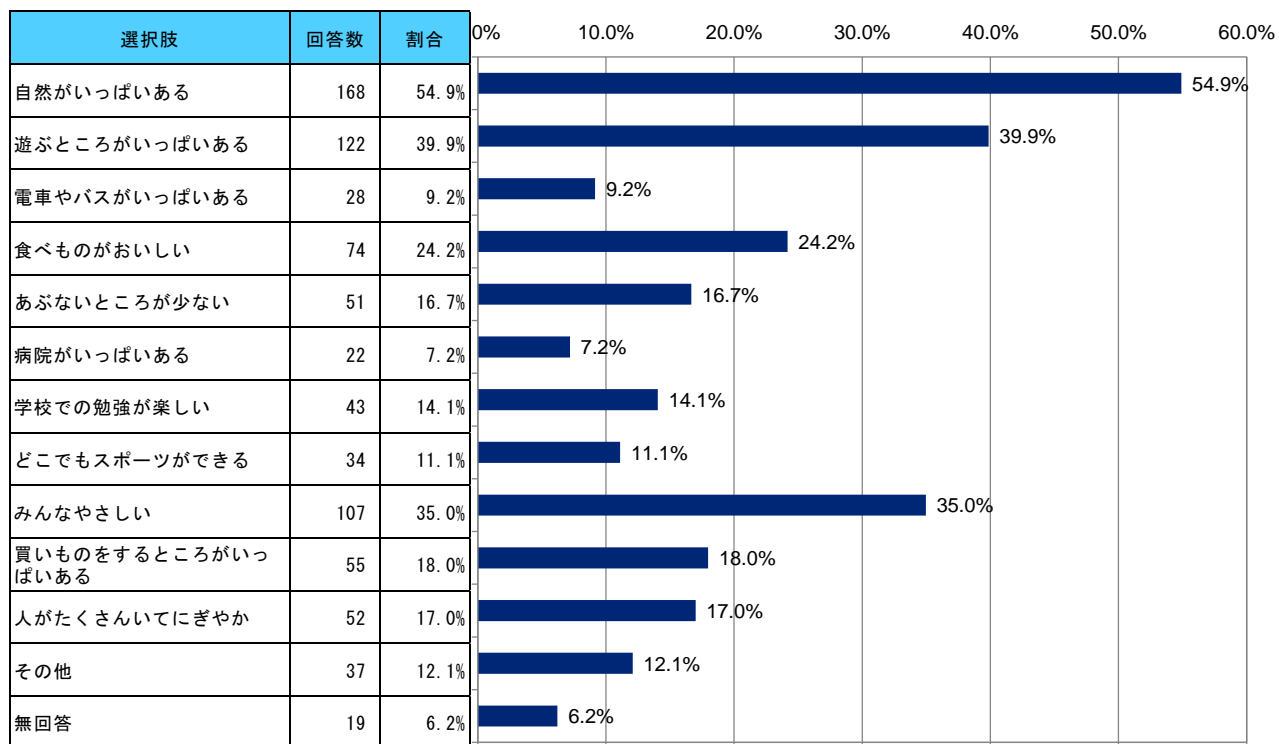
「好きではない」「あまり好きではない」を合わせると、回答者の 10.3%が精華町を好きではないと回答しています。

問 2-1-①

あなたが、精華町を好きな理由は何ですか？

次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

※該当者は問 2-1 で「とても好き」「好き」と回答した人のみ



n=306

問 2-1 で「とても好き」「好き」と回答した人のうち、精華町が好きな理由として、「自然がいっぱいある」との回答が 54.9%と最も高いです。

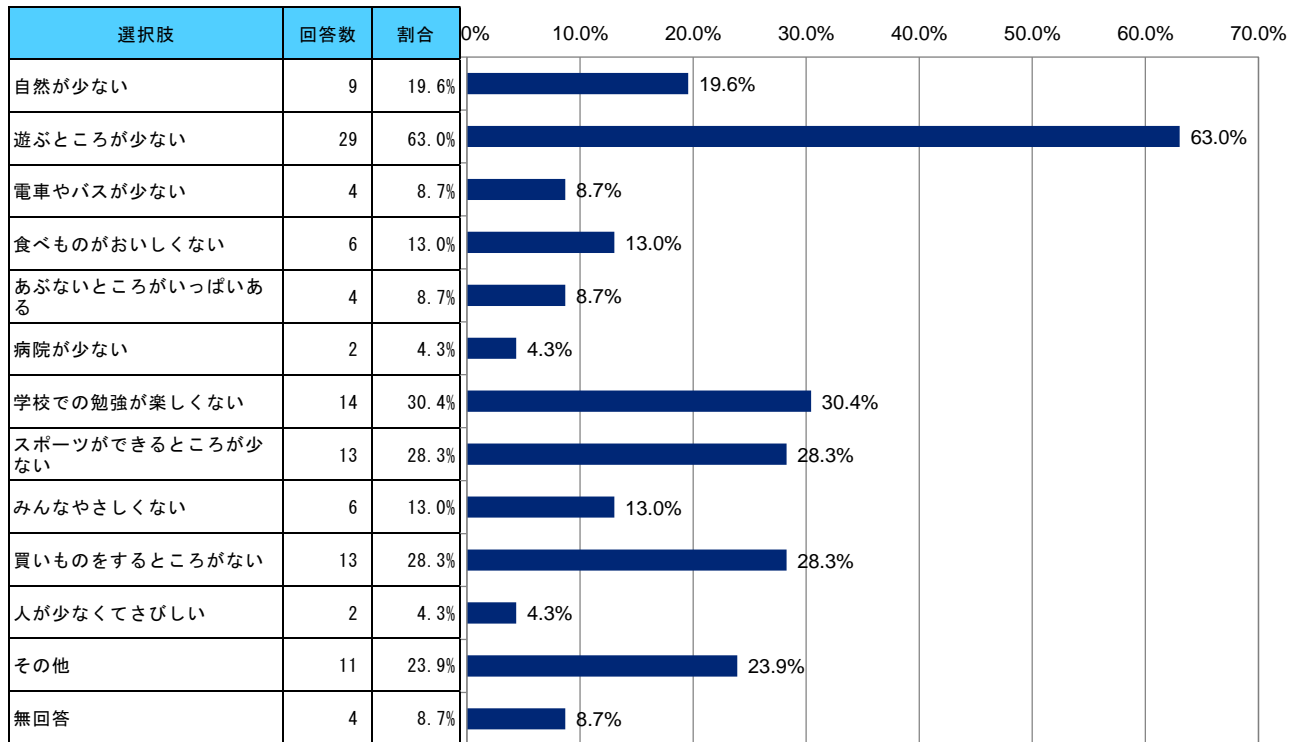
次いで、「遊ぶところがいっぱいある」が 39.9%、「みんなやさしい」が 35.0%と続きます。

問 2-1-②

あなたが、精華町を好きな理由は何ですか？

次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

※該当者は問 2-1 で「あまり好きではない」「好きではない」と回答した人のみ



n=46

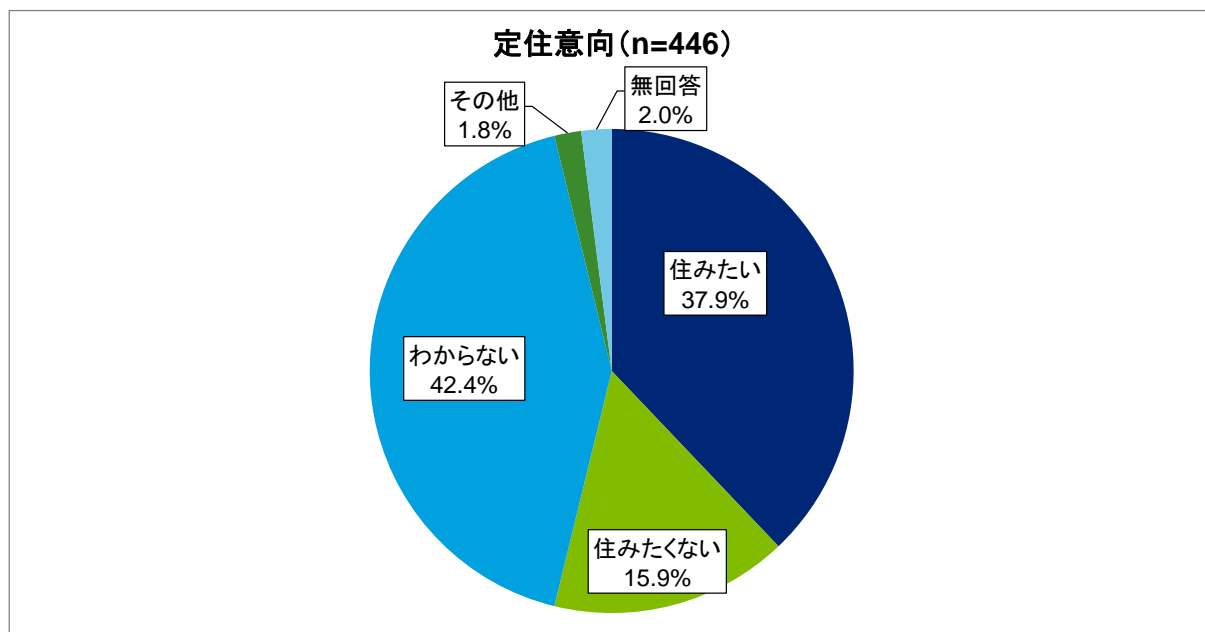
問 2-1 で「あまり好きではない」「好きではない」と回答した人のうち、精華町が好きではない理由として、「遊ぶところが少ない」との回答が 63.0%と最も高いです。

次いで、「学校での勉強が楽しくない」が 30.4%と高く、「スポーツができるところが少ない」「買いものをするところがない」が 28.3%と続きます。

(3) 将来に関する調査結果

① 定住意向の調査

問 3-1
あなたはずっと精華町に住みたいですか？
(あてはまる番号を1つ選んで○)



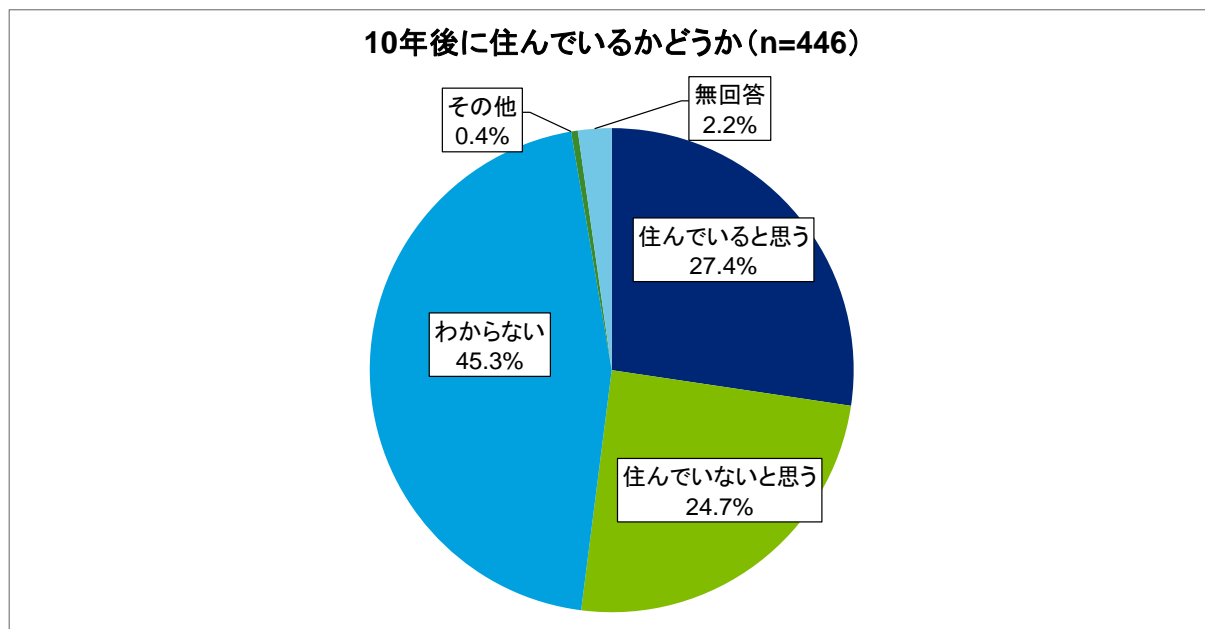
選択肢	回答数	割合
住みたい	169	37.9%
住みたくない	71	15.9%
わからない	189	42.4%
その他	8	1.8%
無回答	9	2.0%
回答者	446	100.0%

精華町での定住意向の調査の結果、「わからない」との回答が42.4%と最も高いです。次いで、「住みたい」が37.9%、「住みたくない」が15.9%です。

② 10年後の居住予想に関する調査

問 3-2

あなたは10年後精華町に住んでいると思いますか？
(あてはまる番号を1つ選んで○)



選択肢	回答数	割合
住んでいると思う	122	27.4%
住んでいないと思う	110	24.7%
わからない	202	45.3%
その他	2	0.4%
無回答	10	2.2%
回答者	446	100.0%

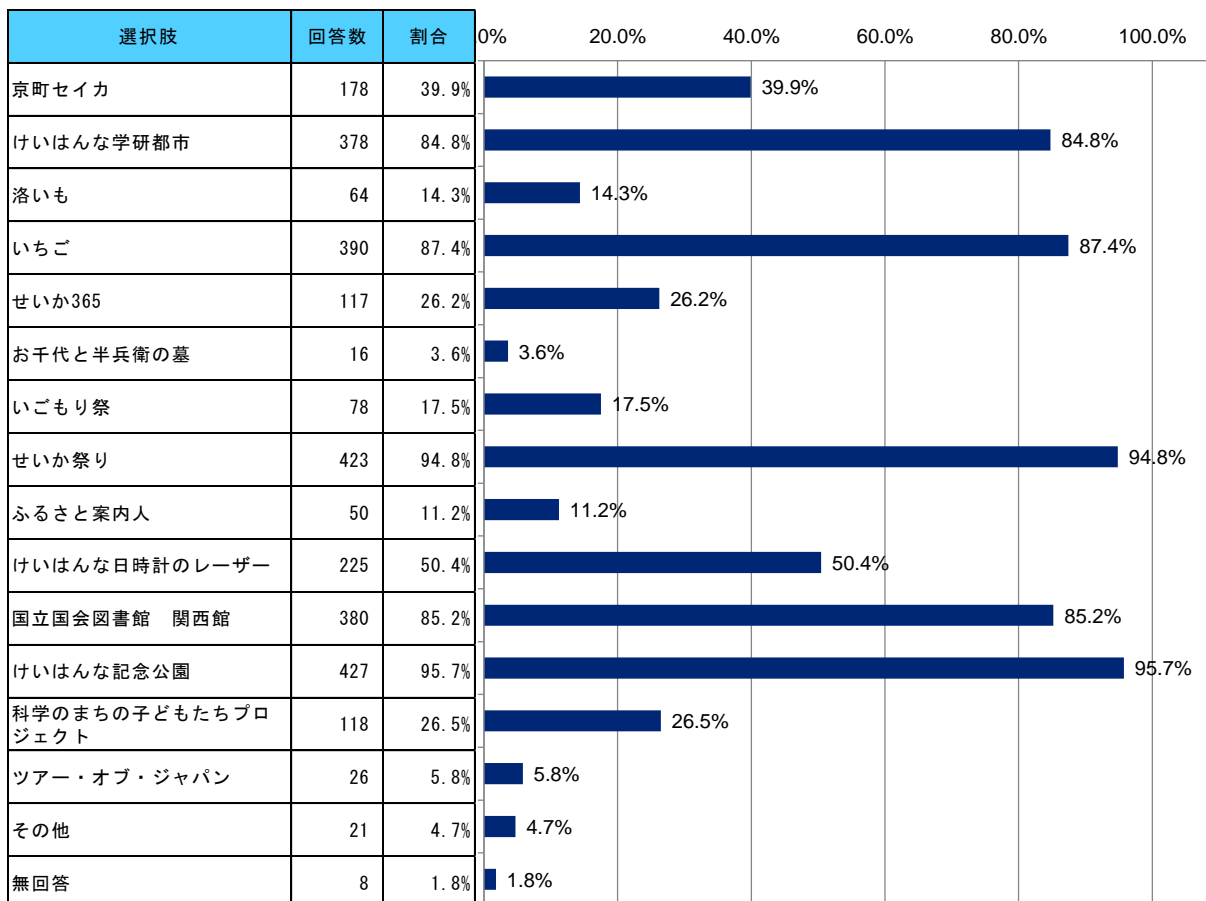
10年後の居住予想に関する調査の結果、「わからない」との回答が45.3%と最も高いです。次いで、「住んでいると思う」が27.4%、「住んでいないと思う」が24.7%です。

(4) 精華町の広報に関する調査結果

① 精華町のキーワード調査

問 4

あなたは、精華町についてこれまで聞いたことのある言葉はどれですか？
(あてはまる番号をすべて選んで○)



n = 446

精華町のキーワード調査の結果、「けいはんな記念公園」との回答が95.7%と最も高いです。次いで、「せいか祭り」が94.8%、「いちご」が87.4%、「国立国会図書館 関西館」が85.2%、「けいはんな学研都市」が84.8%と続きます。

(5) 自由意見

下表は、アンケート調査票の自由意見欄に記入された内容を精華町第5次総合計画で策定した施策分類別にまとめたものです。

今回のアンケート調査では、313名（全体の70.2%）からご意見をいただきました。なお、複数の分野にわたる意見については重複カウントしているため、意見総数と一致しません。

施策		件数	割合	
学研都市のまちづくり	けいはんな学研都市	学研都市の推進	5	1.0%
		企業誘致	1	0.2%
	産業	農業	7	1.4%
		商工・サービス業	106	21.2%
		観光	2	0.4%
	まちなみ	市街地形成	76	15.2%
		景観	53	10.6%
	道路・公共交通	道路	30	6.0%
		公共交通	13	2.6%
	住環境	上水道	0	0.0%
下水道		0	0.0%	
住宅		6	1.2%	
暮らしのまちづくり	健康・医療	健康づくり	0	0.0%
		地域医療・生活衛生	0	0.0%
		医療・保健	0	0.0%
	児童福祉	子育て環境・子育て支援	2	0.4%
	高齢・障がい福祉	高齢福祉	2	0.4%
		障がい福祉	0	0.0%
	コミュニティー・地域福祉	コミュニティー	26	5.2%
		地域福祉	1	0.2%
	防災・交通安全	地域防災・消防	2	0.4%
		浸水対策	0	0.0%
交通安全・防犯		38	7.6%	
環境のまちづくり	学校教育	教育振興	2	0.4%
		教育環境	15	3.0%
	生涯学習	歴史	0	0.0%
		文化活動	33	6.6%
		スポーツ活動	26	5.2%
	人権尊重と男女共同参画	人権	0	0.0%
		男女共同参画	0	0.0%
		国際交流・平和	0	0.0%
	環境共生	環境保全	22	4.4%
		資源・エネルギー	0	0.0%
情報化	地域情報化	0	0.0%	
	図書館	1	0.2%	
協働のまちづくり	住民協働	交流連携	3	0.6%
		公共的活動支援	0	0.0%
	行財政運営	行政経営	0	0.0%
		窓口サービス	0	0.0%
		広域連携	0	0.0%
		その他	27	5.4%
合計		499	100.0%	

【学研都市の推進 5件】

「研究施設の誘致」「最先端技術の開発」に関する意見などがありました。

【企業誘致 1件】

「特産品による起業の増加」に関する意見などがありました。

【農業 7件】

「いちごを活用したPR」に関する意見などがありました。

【商工・サービス業 106件】

「学校へのクーラーの設置」「大型商業施設やレジャー施設、コンビニ等の必要性」に関する意見などがありました。

【観光 2件】

「祭りや花火大会の開催」に関する意見などがありました。

【市街地形成 76件】

「公園の増加、公園内の遊具の設置」「レジャー施設の増加」に関する意見などがありました。

【景観 53件】

「より多くの自然の増加」「花や木の植樹」に関する意見などがありました。

【道路 30件】

「歩道の拡張・街灯の設置」「信号機の増加」に関する意見などがありました。

【公共交通 13件】

「バスや電車の増便」「バス停への椅子・雨よけの設置」に関する意見などがありました。

【住宅 6件】

「住宅の増加」「住宅の減少」に関する意見などがありました。

【子育て環境・子育て支援 2件】

「幼児の遊技環境の現状」に関する意見などがありました。

【高齢福祉 2件】

「お年寄りの介護の設備」に関する意見などがありました。

【コミュニティー 26件】

「交流を増やすためのイベントや企画の開催」に関する意見などがありました。

【地域福祉 1件】

「ボランティア活動」に関する意見がありました。

【地域防災・消防 2件】

「空き地での避難設備の建設」に関する意見がありました。

【交通安全・防犯 38件】

「交通に関する危険個所の解消」「防犯対策」に関する意見などがありました。

【教育振興 2件】

「学びながら遊べること」に関する意見などがありました。

【教育環境 15件】

「中学校給食の開始」に関する意見などがありました。

【文化活動 33件】

「ボランティア活動の実施」「自然を利用したイベントの増加」に関する意見などがありました。

【スポーツ活動 26件】

「スポーツ活動ができる場の確保」に関する意見などがありました。

【環境保全 22件】

「ゴミ拾い活動の促進」「ゴミ箱の設置」に関する意見などがありました。

【図書館 1件】

「国会図書館の対象年齢引き下げ」に関する意見がありました。

【交流連携 3件】

「交流をするためのイベント開催」に関する意見などがありました。

【その他 27件】

「ゆるキャラの作成」「精華町のPR」に関する意見などがありました。

問3 あなたの将来についておしえてください。

(1) あなたはずっと精華町に住みたいですか (あてはまる番号を1つ選んで○)。

1	2	3	4
住みたい	住みたくない	わからない	その他 ()

(2) あなたは10年後精華町に住んでいると思いますか (あてはまる番号を1つ選んで○)。

1	2	3	4
住んでいる と思う	住んでいない と思う	わからない	その他 ()

問4 精華町について知っていることをおしえてください。

(1) あなたは、精華町についてこれまで聞いたことのある言葉はどれですか?
(あてはまる番号をすべて選んで○)。

1	京町セイカ
2	けいはんな学研都市
3	らく 洛いも
4	いちご
5	せいか365
6	おちよ はんべえ ちよはんべえ 千代と半兵衛の墓
7	いごもり祭
8	せいか祭り

9	ふるさと案内人
10	けいはんな日時計のレーザー
11	国立国会図書館 関西館
12	けいはんな記念公園
13	科学のまちの子どもたちプロジェクト
14	ツアー・オブ・ジャパン
15	その他 ()

精華町を良くするために、良いアイデアがあれば、自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました。

6. 精華町まち・ひと・しごと創生有識者会議

精華町まち・ひと・しごと創生有識者会議 構成

第 1 グループ

(敬称略、五十音順)

		団体等名称	備考
1	今川 晃	同志社大学政策学部 教授	座長
2	常山 広	関西文化学術研究都市推進機構 コーディネーター (元 時事通信 京都総局長)	
3	中村 艶子	同志社大学グローバルコミュニケーション学部 准教授	
4	本政 悦治	京都銀行精華町支店 支店長	
5	森家 隆文	経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部 地域経済課 課長補佐 (地方創生コンシェルジュ)	
6	吉田 一雄	精華町商工会 会長	

第 2 グループ

(敬称略、五十音順)

		団体等名称	備考
1	今川 晃	同志社大学政策学部 教授	座長
2	木戸 明美	科学のまちの子どもたちプロジェクト	
3	佐久間 隆司	精華町シルバー人材センター ふるさと案内人の会 会長	
4	森田 起一	みんなの元気塾 代表	
5	矢野 正樹	神戸新聞社 デジタル事業局技術開発部 次長	
6	山口 隆史	けいはんな記念公園 所長	

第 1 回精華町まち・ひと・しごと創生有識者会議第 1 グループ議事摘録

日時：7 月 13 日（月）13 時 00 分～15 時 00 分

場所：庁舎 6 階委員会室

1 開会

2 町長挨拶

3 出席者の自己紹介

【出席者】 出席者から自己紹介。

4 事務局紹介

【事務局】 事務局メンバーの紹介及び有限責任監査法人トーマツの紹介。

5 資料説明

【事務局】 （仮称）精華町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定における基本的な考え方について、今回の総合戦略と精華町の総合計画との関係及び今後のスケジュールに関して説明。

【トーマツ】 精華町の人口基礎調査分析・アンケート調査結果を要約した形で説明。

【事務局】 シティプロモーション事業に関する説明。

6 ブレーンストーミング（意見交換）

中村氏を座長として、意見交換

【中村氏】 精華町と他市町村を比べた際の強み・弱みに関して意見はあるか。

【常山氏】 退職前に仕事しているときは、精華町に住んではいたが、精華町との接点はほとんどなかった。精華町は自然が多いことや国会図書館があることが強み。これだけ先端企業が揃っており、地域で自然がここまで残っていることがすごいと思う。退職前にそういうことを知っていれば、退職前にも自分が暮らす土地を誇りに感じる事ができていたかもしれない。

【吉田氏】 精華町は、人口が増加し続け、住民が 3.7 万人もいるが、このような町は周辺には存在しない、それが誇らしく思う。また、高額納税者も多い。町の西には生駒山があり、東には木津川が流れており、これほど自然に恵まれた町はないと思う。そこに学研都市ができ、融合されてきて転入者が多くなった。今後も転入者を増加させるために、その誇らしいところを町として打ち出して欲しい。

【本政氏】 精華町の強みは学研都市ということが一番の強みだと思う。国会図書館やそれ以外の国の研究施設にしてもそう。「東のつくば、西のけいはんな」と呼ばれており、町に多数の研究所があることが強みだと思う。裏を返すと、それ以外のものというものをこれからどのようにアピールしていくか。「東のつくば、西のけいはんな」というフレーズが全国的にどこまでアピールできているか。学研都市に国会図書館があり、アジア関連の書籍が日本の図書館で 1 番多いということをごどこまで知られているのか、そうしたことをアピールしていくことが大事だと思う。それがシティプロモーションにも繋がっていくと思う。

- 【森家氏】 精華町に住んでいる同僚に話を聞いたところ、アンケートの回答にあったように、精華町の強みは、自然が多い、環境が良い、住みやすいと答えていた。トーマツから RESAS で調べたデータがあったが、私も産業面に関して精華町の強みを調べてきたが、精華町は創業比率が非常に高い。学研都市の周辺に新たに会社を作る方が多いのだと思う。創業した企業をケアし、ケアできる環境を用意することが大事になってくるのではないかと。また、全国的に見て創業比率が高いことを、今後どのようにアピールしていくかということも大事になると思う。
- 【中村氏】 他市町村との比較における強みとして、自然が多いことが皆の意見で共通する。また、先端の研究機関、東のつくば、西のけいはんなということが挙げられる。精華町に住んでいる学生に話を聞くと、東のつくば、西の精華町と言っているくらい精華町を誇りに感じている学生がいる。一方、学生にアンケートを取った場合、精華町に関して、3:7から2:8で知らない人が多く、いかに外に PR していくかが課題だと思う。創業比率が高いという面で、研究や起業をこれからどのように推進していくかに関して、話をしていきたい。先ほど、シティプロモーションの5つの柱の説明を受けたわけだが、今後これらを踏まえてどういったことが有効なのか、それぞれの立場から伺いたい。
- 【常山氏】 関東では、けいはんな学研都市の知名度は高くなく、関西に住んでいてもあまり知らないという人が多い。推進機構のホームページは、階層が深く、情報量が多く、閲覧者が欲しい情報を得られず見にくいという声が多いため、ホームページをリニューアルした方がよいという意見が出ている。どのようなホームページがいいのかというと、岡山県の西栗倉村のホームページが非常に見やすく、参考になる。西栗倉は若い人が増えている。西栗倉村のホームページを精華町の方も見たらよいと思う。西栗倉村はフェイスブックが充実しており、運用の基準もあり、情報発信もしており、推進機構も同じようなものを作ればよいと考えている。華創は、写真が多くて読みやすく、読む方も高齢者が多いため、今のままでよいと思うが、精華町のホームページは、推進機構と近い課題を抱えていると思う。
- 【中村氏】 ホームページや広報の観点から良いアドバイスをいただいたが、関連したことで何かあるか。
- 【本政氏】 色んな情報発信をすることが大事だと思う。国立研究開発法人情報通信研究機構で200インチの立体視ディスプレイにより立体画像を見ることが出来る装置がある。うめきたのナレッジキャピタルで展示されており、一般の方に技術力をアピールされている。しかし、来年3月末以降の利用予定が決まっていないと聞いている。それを使い、京町セイカちゃんの立体画像によって、様々な学研都市や精華町の情報をおアピールしていくようなツールができると、学研都市にある研究所の技術力もおアピールできると思う。
- 【中村氏】 京町セイカということ言えば、若い世代にもアピールできると思う。他にどうか。
- 【吉田氏】 祝園駅と新祝園の間の連絡橋で、机を置いたりしてする、アナログな情報発信の取り組みはどうかと考えている。近鉄の改札を出たところに精華町の大きな掲示板があるが、貼っているだけではなかなか説得力がない。ちょっとした机の設置をお願いし、地元根付いた情報発信をしていくという提案である。

- 【森家氏】 精華町らしさを一つでも二つでも設けるのが大事だと思う。子どもたちに科学を学ぶという機会を提供するという事は精華町の強さだと思う。打ち出し方は難しいかもしれないが、精華町らしさを全面に押し出すことを考えるとよいと思う。他の自治体さんも自分のまちらしさを切り口として出すことが難しいという話をよく聞くため、シティプロモーションに挙がっている内容を充実させていければ、精華町らしさに繋がるのではないかな。
- 【中村氏】 シティプロモーションの1つ目に関する情報発信の強化ということであれば、先ほど話に挙がっていた、梅田のナレッジキャピタルにある大型スクリーンはPR力があり、そういったところに精華という名前を、京町セイカちゃんを活用してアピールしていくことは情報発信の目玉のひとつになりえると思う。シティプロモーションの2つ目に関しては、地域に誇りを持つ教育の推進ということが森家さんから挙がっていたが、教育に関して皆さんの意見を伺いたい。考えていただいている間に私から話をさせていただくと、先ほど常山さんからホームページ作りはコストがかかるという話があったが、ブレストなので可能かどうかは後ほど判断していただきたいが、けいはんな周辺の高等教育機関、京都大学・奈良先端大学・同志社大学などの連携は図ることができるのではないかな。また、今の若年層にネットで情報発信ができるようにすることも大事だと思う。たとえば、インターンシップなどを利用する学生と連携し、ホームページやSNSといったインターネットを活用した情報発信をしてもらえれば、コスト的にも下がってくるのではないかなと思う。今、話をつないでいた間に思いついたことがあれば伺いたい。
- 【常山氏】 中村先生の話で大学生と連携するという話があったが、株式会社国際電気通信基礎技術研究所のベンチャーでいい仕事をしているところがある。地元のベンチャーを活用する道もあると思う。
- 【中村氏】 私は1年間アメリカで海外研究をしていた。最初の半年間はスタンフォード、シリコンバレーに行っていた。精華町は高度な学術の町というシリコンバレーに共通するところがある気がする。教育面でいえば、研究機関と高等教育機関の若い世代との連携を推進していけると良いと思う。学生は経験が少ないためインターンシップで経験を得られる、町としては費用を抑えて学生を活用できる、そうなればウィン-ウィンの関係になると思う。また、シリコンバレーでは研究開発を行う研究所の見学ツアーを行う方もいる。海外からの観光客を京都市から精華町まで引っ張ってくることはできないかという視点もあると思う。
- 【森家氏】 科学や教育に関して精華町さんもやられているが、子どもたちが精華町に集まってくるように、科学を学習するには精華町ということにしていけばよいのではないかな。先ほども話があったが、大学の先生が色々教えてくれる、学生さんが色々教えてくれる、研究所の方が色々教えてくれるといったところがあれば良いと思う。こういう話ができる自治体はあまりない。また、創業率が高いということに加え、精華町は学術研究費に対する域外への取引、それによる収入が全国的に高いというデータが出ている。こういったことから、科学のまち、精華町ということを目指していけばよいのではないかな。
- 【吉田氏】 24年前の昔の冊子に当時の子どもたちが書いた将来の精華町というものがあり、それを見ると現在の精華町を的確に予想している子どもたちもいる。子どもや学生と交流を深く広くもてればよいと思う。子どもの夢を尊重するという事だ。

- 【本政氏】 学研都市ということ子ども教育環境の充実に使っていくということは有効なことだと思う。教育環境が充実しているところには親御さんは喜んで行かれる。京都の御所南学区は教育環境が充実しているということで、人がいっぱいプレハブの校舎で授業をしている。精華町でも科学系の勉強ができるということがアピールできればよいのではないかな。
- 【中村氏】 企業や研究所の見学ツアーといったものが存在しないため、それができるようにしたらよいのではないかな。また、グローバルコミュニケーション学部の所属学生の中には、翻訳をかってでたいという日本人の学生・留学生の学生もおり、協力することができると思う。また、国際学会を開けるようなコンベンションセンターも考えることはできると思う。関西空港・京都駅からのシャトルバスなどで、より便利がよくなると、観光客にも1泊や2泊はしてもらえるのではないかな。
- 【吉田氏】 商工会としての考え方だが、長期的な生家のリフレッシュという切り口で、外国人が使用する長期的なシェアハウスや高齢者を始めとした福祉への空き家の活用を考えて欲しい。空き家対策事業を町としても取り組んでもらえると、商工会としてもやりやすい。また、祝園駅・新祝園の南側は夜になると、暗く、不気味な雰囲気になり、急行停車駅としての姿ではないと思うが、商工会で対応できることではない。
- 【中村氏】 インフラの話が出たが、町全体にWi-Fiを配備することも検討してはどうか。京都市もやっているが、シリコンバレーもずいぶん前から実施しているが、精華町も考えてみてはどうか。他に意見はないかな。
- 【常山氏】 インフラ面でいうと、精華町の施設を住民がもっと使うことができればよいのではないかなと思う。また、木津川流域、精華町には文化遺産がたくさんある。突拍子もないが、木津川市にある山城郷土資料館は昭和47年からある施設だが狭いため、精華町に持ってきて、精華町を含めた南山城の歴史を提示するとよいのではないかな。
- 【吉田氏】 お茶の京都とのコラボを考え、商工会で地元の職人さんを集めたスイーツ事業を立ちあげた。女性の考え方を全面に打ち出し、女性の意見を尊重したスイーツ事業を今後立ち上げようと考えている。
- 【森家氏】 地域産品の6次産業化に向けた活動は、経済産業省も推進しており、国のメニューも利用しながら、進めていただければと思う。
- 【中村氏】 インフラという面でいえば、町の中だけということではなくたとえば、京都からの電車やバスの車両の外や中にセイカちゃんの画像を貼ってもらうのはどうか。また、駅近の保育関連の施設を作ることもアイデアとして提案したい。複数の企業が出資してコンソーシアムという形で保育所を作るということもある。
- 【中村氏】 時間が来たため、これでブレインストーミングを終了する。

7 事務連絡

- 【事務局】 次回は8月のお盆前後に開催予定している。

8 閉会

以上

第 1 回精華町まち・ひと・しごと創生有識者会議第 2 グループ議事摘録

日時：7 月 13 日（月）10 時 00 分～12 時 00 分

場所：庁舎 6 階 委員会室

1 開会

2 町長挨拶

3 出席者の自己紹介

【出席者】 出席者から自己紹介。

4 事務局紹介

【事務局】 事務局メンバーの紹介及び有限責任監査法人トーマツの紹介。

5 資料説明

【事務局】 （仮称）精華町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定における基本的な考え方について、今回の総合戦略と精華町の総合計画との関係及び今後のスケジュールに関して説明。

【トーマツ】 精華町の人口基礎調査分析・アンケート調査結果を要約した形で説明。

【事務局】 シティプロモーション事業に関する説明。

6 ブレーンストーミング（意見交換）

有限責任監査法人トーマツの堀井氏を座長代理として、意見交換。

【堀井氏】 精華町の町に関してどのように思うか。

【佐久間氏】 引っ越してきた際、有名な場所がないと最初は思ったが、歴史のない町というものはない。精華町にも視点を変えるとすばらしいところがたくさんある。ふるさと案内に参加される精華町民の方でも「なんとなしに見ていた風景がこんなにすばらしかったのか」とおっしゃる方も多し。

【山口氏】 平安京遷都 1200 年の記念事業の一つとして、京都府が破格のお金を費やしてけいはんな記念公園は作られた。平米当たり 2 万円、森を除いたら平米当たり 5 万円ほどかかっている。全国でもトップ 10 に入る公園だと思う。そういう宝物が精華町にある。良い町には良い公園があり、良い美術館があり、良いホールがあり、良い道がある。こうしたものをきちんと PR していくと感動するものになっていく。開発した場所だけを見ているとニュータウンだが、周りにある緑を見れば全国でも有数。また、数字的な話も PR しても良いと思う。国土交通省が出していたと思うが、一人当たりの公園緑地面積というものがある。精華町の人口は 3 万人、けいはんな記念公園だけで 24 ヘクタールあるため、精華町住民一人当たり 8 平米、他にいろんな公園があるため 10 平米は超える。数字を見ても全国でも有数の環境といえる。

【堀井氏】 ソフト面、人とか人材とかに関してはどうか。

【森田氏】 それぞれの地域に資源は存在するが、何もしなくては資源の魅力は高まらない。地域の人たちや行政が魅力を高めていくために、仕掛けを行っていくことが大切。元気塾では資源を活かし、魅力を高めることを目指して活動している。ただ、そうしたことができる、引っ張っていく、巻き込んでいく人

材が少ないのが現状。先頭に立ってやっていく人材作りのバックアップを行政に期待したい。

- 【堀井氏】 人を巻き込んでいくための仕組みや外部から見た精華町のよさについて、どう思うか。
- 【矢野氏】 外部から見た場合、「京都」というのが精華町のひとつのブランドで武器。特に若い女性でアニメや漫画が好きな方の中には歴史がブームとなっている。例えば、日本刀を見に行く女性が存在する。京都にあり、奈良にも近いので、女性には注目されることが可能だと思う。特にこのような趣味の女性には魅力的である。本人が楽しむのももちろんだが、ネットで情報発信してもらうのがネットの強み。まずは個人に満足してもらいながら、SNSを使用してPRにつなげていくと良いと思う。
- 【堀井氏】 隣の町から見て、精華町に対して思うところを伺いたい。
- 【木戸氏】 木津川市に住んでいるが、精華町の施設も使用している。図書館は子どもたちも使用していた。子育て環境としてはすばらしいが、研究施設と教育が連携できていないように思う。子どもたちにとっては近くて遠い存在。また、シルバー人材センターはあるが、子育てでキャリアを一旦中断した女性の再就職をサポートするものがない。この地域は非常に優秀な女性人材が多い。高学歴ということもあり、出産年齢が遅くなる。そうした女性が子育てでひと段落しても、自分の能力を活かすところがない。優秀な女性人材が町内には埋もれている。無償ボランティアはあるが、子どもの教育にはお金が必要であり、そのお金を捻出しなければならないが、自分がしたいボランティア活動と収入がリンクしないジレンマを多くの人を持っている。そうしたジレンマが解消されれば、相当よくなると思う。教育でいえば、公立高校がすばらしく、優秀な子どもが多いエリアだと京都市内の高校では知られているが、そのことを住んでいる方は知らない。また、けいはんな自然公園というすばらしい自然を隣の町に住んでいるとうらやましく思う。自然に関わることによって、高校から大学になったときに応用が利く、幅の広い人間になるような気がする。そのため、自然と教育が絡むようなことがあれば親御さんも喜ぶ気がしている。
- 【森田氏】 学研の関係でいえば、昔、行政で仕事をしているとき、株式会社国際電気通信基礎技術研究所でロボットを活用し、何か行政の施策にいかせられないか、話をしに行ったことがある。その際に見せてもらったロボットは人を相手に話をするものだった。それを高齢者との触れ合いに使ってもらった。しかし、継続的な取り組みにならなかった。何を言いたいかというと、せっかく、学研都市に先端の技術をもった研究所があるが、直接行政や地域との連携や関わりがほとんどない。直接地域と関わるような取り組みができれば、学研都市の魅力ももっと増していくと思う。学研都市の建設の当初から関わってきたが、学研都市ということを出している割には未だに関わりが少ない。行政がもっとサポートできればと、現役のときから退職してからもそのように考えている。
- 【佐久間氏】 学研都市の研究施設も対象として、ふるさと案内をしていこうとしているが、小さな研究所は開放的で見せていただけるが、大きなところは難しい。その辺りの橋渡しを行政に期待したい。そうしたことで精華町内外に情報発信をすることができると思う。
- 【堀井氏】 学研都市の研究都市の活用という意味でいえば、どのように考えるか。

- 【山口氏】 学研都市といえば、科学技術に目がいってしまうが、研究所の活用は、情報セキュリティの観点から職業柄、かなり閉鎖的だと思うので、難しいのではないか。中学生の職業案内も受け入れており、むしろよく協力してくれている方だと思う。一方で子育ての話が出たが、子育て環境をどうするか、少子化対策に関しては精華町がブランドを持つことができるポイントだと思う。科学技術だけではなく自然環境を大事にした上で、文化がキーポイントになると思う。木津川市は緑がほとんど残っておらず、精華町は桁が違うくらい緑が多いため、そういうものを活用した教育環境の整備がよいのではないか。また、関西文化学術研究都市という冠がついているが、幅広い意味で文化と捉えれば、子どもたちが魅力を感じる文化を育てる余地があると思う。科学技術に関しては研究所に頼ってはいつか壁にぶつかってしまうと思う。むしろ子どもたちにとって大事なインフラである自然環境、文化体験というようなものをもう少し取り上げてよいと思う。その仕組みづくりをもう少し考えてよいと思う。先日、うちの公園で自然とか文化とかのプログラムができるアルバイトを募集すると、木戸さんがおっしゃったように子育てがひと段落した多くの女性が集まった。その方たちもボランティアではなくてお金が欲しい。ボランティアができるのは安定した収入があるから集中できるわけで、多くの方は余裕がない。そうした人を活用できる仕組みをすれば面白いことになると思う。私が知っている例を紹介させてもらおうと、アメリカのある日本庭園では、会員を年に1万円で募集したところ、8,000人もの会員が集まった。そして、それを基にボランティアではなくスタッフを雇って環境整備を行っている。日本で制度上できるかどうかかわからないが。
- 【堀井氏】 子育てが終わったあとの女性が活躍できる場という面でいえばどうか。
- 【木戸氏】 キャリアを絶って子育てをした女性は、子どもと家庭を中心に働きたいという方が多いため、どうしても通勤がしやすい奈良市で働くということになる。働く場所が精華町内にあればいいことはない。有償ボランティアのようなものがあればさらに良いのではないか。PTAの会長をしていたが、精華町の高校生の親を見ていると、仕事をしている女性の割合やひとり親の割合が低い。自己実現をしたいと考えている女性が多いと思う。教育環境がすばらしく、女性の自己実現にも可能であれば、人口が流入し、さらに魅力の高いまちになるのではないか。
- 【堀井氏】 女性の人材活用、学研都市を活かしたまちづくり、自然の魅力を活かしたまちづくりという話が出たが、これらの中で具体的なアイデアがあればご意見を伺いたい。
- 【佐久間氏】 ふるさと案内のPRというか活動方針になるが、有償化で考えていることがある。山城広域振興局が企画している、京都ちーたび100選というものがある。色んな店や施設とコラボして、全国的に発信し、こういう食事をしませんか、こういうお菓子を食べませんか、このようなすばらしい場所に行つて一緒に説明しますよ、という活動をしようと考えている。具体的には、けいはんなプラザのレストランの薬膳料理を食べ、けいはんな記念公園の北側にある湿地帯を案内するといった旅を企画しようと思っている。
- 【堀井氏】 今までの話を聞いた上で、こんなことをやればよいのではと考えるものはあるか。
- 【矢野氏】 他の地域でいえば、美味しいものを食べながら、マラソンをするといったことも聞いたことがある。神戸でいえば、神戸の町中の色々な名所を走つて地元を再発見する取組をしている。サブカルチャーという視点でいうと、コ

スプレを楽しむということが若年層から中年層まで定着してきている。侍や忍者の格好のコスプレをして神社仏閣の庭でキャラクターになりきって写真を撮るといったことはどうか。特に、ここでしかできないという場所で精華町でしかできないサブカルチャー体験をしてみると、PR次第では全国に広がるのではないか。また、精華町を離れた方にも一緒に情報発信を手伝ってもらうことも大事だと思う。

- 【堀井氏】 精華町から出て行った方に協力を得るのは具体的にはどのようにすればよいか。
- 【矢野氏】 京町セイカちゃんを上手に使いながら、応援してもらおうとよいのではないか。精華町を離れた方にも京町セイカちゃんをアピールしていくことで、その人から周りに情報発信をしてもらうことでPRに繋がると思う。
- 【堀井氏】 コスプレの話は佐久間委員の話にも繋がるのではないか。
- 【佐久間氏】 今まで考えたことがなかったが、検討していきたい。健康という視点も大事だと考えており、今後は精華365とコラボして案内していこうと考えている。
- 【堀井氏】 女性の人材活用という視点で、女性を上手に取り組んでいくためアイデアとして意見はないか。
- 【山口氏】 精華町は子育てをブランド化できると思う。子育て中の女性でも活躍できるソフトがないか考えている。ハードはもう存在している。子どもたちがきれいに管理された森で遊びまわることができる教育環境を提供するという企画を秋くらいから実施していくつもり。これに関して、女性の活用につなげていきたいと考えている。また、広場で朝から晩まで子どもたちが遊んでいるが、戦前は公園に子どもを見守る専門の大人がいた。そうした見守ってくれる人がいる公園であったら、母親は安心だと思う。けいはんな公園が良いのは管理する人がいるから安心だ、とおっしゃる方もいる。これに関しても女性を活用できると考えている。人がいることが安心に繋がる。ただ、これに関しては仕組みをどうしていくかを検討している段階。
- 【森田氏】 今後、介護度の低いサービスの主体が国から市町村に移る。高齢者を地域で支えるということが大事であり、女性に担ってもらい地域で支えるという流れになるのではないか。そうしたことで女性の活用を進めていくことができればよいのではないか。
- 【堀井氏】 今までの話を聞いた上での女性活用に関する意見を伺いたい。
- 【木戸氏】 優秀な教養の高い、高学歴な外国人女性が非常に多い。お金は入らないけど、女性の自己実現に繋がる何かはできるのではないか。そうしたことができる場ができるとうばらしい町になると思う。私の体験で言えば、文化的なところに行った際、自分とその女性で（同じものを見ているにも関わらず）見たものへの認識や感想が大きく異なったり、ギャップがあったりすることが楽しかった。ソフト面でいえば、こうした女性を活用できるのではないか。
- 【堀井氏】 今までの議論を踏まえて、考えたことや言えなかったことはあるか。
- 【山口氏】 経済的なことを考えた方がよいと思う。有償ボランティアとして、交通費・弁当代を支払うだけでなく、ある程度お金を提供しなければならないと思う。お金の確保の仕方は考えないといけない。
- 【森田氏】 国の言うとおりにやっても結果は出ない。田が荒れると地域は崩壊する。農家の後継者不足への対策、直売所や道の駅といった、農業に関する精華町独自の取り組みをしていかないといけない。また、その取り組みに関して総合戦略に入れて欲しい。

【堀井氏】 これでブレインストーミングを終了する。

7 事務連絡

【事務局】 次回は8月のお盆前後に開催予定している。

8 閉会

以上

第2回精華町まち・ひと・しごと創生有識者会議第1グループ議事摘録

日時：8月19日（水）13時30分～15時30分

場所：庁舎6階委員会室

1 開会

2 資料説明

【事務局】事務局より資料及び今後のスケジュールの確認

3 ブレーンストーミング（意見交換）

今川氏を座長として、意見交換

【トーマツ】 人口ビジョンにおける精華町の目標人口の考え方

目標人口の考え方（配布資料④精華町人口ビジョンのP19～P21）、目標人口は2022年（総合計画最終年）に3.8万人程度を目指す。また、2030年～2040年は3.8万人程度を維持し、2045年以降は緩やかな減少に抑える。

配布資料④P18の人口シミュレーション「中位（移動）・高位②（出生）」をベースに、2035年以降、出生率が国の算定した希望出生率（1.8）に徐々に近づくとし、推計を行った。若者の流出を抑制するとともにUターンを促す。

宅地開発による転入者の増加を図り続けることは困難であることから、出生率を高める施策を随時実施していく。

人口ビジョンに関して意見交換

【今川氏】人口ビジョンに関して、堀井氏から説明があったが、質問や意見を出して欲しい。

（特になし。）

【事務局】 地域創生戦略素案の説明

・【基本目標1】 誘客拡大に向けた情報発信の強化

交流人口拡大に向けて、地域の魅力をインターネットや動画等の多様なメディアで情報発信するほか、サブカルチャーにおける創作活動支援等、けいはんな学研都市における多様な文化の創造・発信を促進する。

・【基本目標2】 地域に誇りを持つ教育の推進

未来を担う子ども達に、世界最先端の科学と文化が集積する研都市にふさわしい学びの機会を提供するため、「科学のまち子ども」プロジェクトを推進するとともに、地域公共人材の育成を図る。

・【基本目標3】 ふるさとの魅力づくり

各地域の歴史・景観をはじめとする地域資源を再発見し、情報を整理・集積し公開等することで地域の活性化につなげる。また、より多く住民が「ふるさとは“ここ精華町”」と感じられるよう、子どもや高齢者、障害者等にやさしい情報発信を推進する。

・【基本目標4】 地元産品・観光のブランド力強化

地元産品の販売力向上や販路拡大による六次産業化へ向けた取り組み、地域資源の観光コンテンツ化等による地域ブランドの創造・強化を図る。

・【基本目標5】 健康・スポーツによる地域活性化

ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ開催を契機に、自転車を核とした交流人口の増加、地域のPRを図る。また、町を挙げて健康づくりに取り組む「せいか365プロジェクト」の推進に向けた情報発信に取り組む。

地域早々戦略素案に関しての意見交換

【今川氏】 基本目標1の誘客拡大に向けた情報発信の強化で意見があれば発言して欲しい。

(特になし)

【今川氏】 情報発信に関してはなかなか出にくいかもしれない。また後でもよいので、あれば発言して欲しい。次に、基本目標2の地域に誇りを持つ教育の推進に関して意見が欲しい。

【中村氏】 精華町の強みは、前回の議論でもあったが科学技術に関するところ。これに関しては議論を重ねるまでもないため、それ以外のことをお話したい。今日のために、企業にヒアリングを行った。その際、科学技術に携わる方々でも、組織管理ができるような人材が必要になると力説されていた。日本とアメリカのシリコンバレーとの違いは、技術者であっても経営のビジョン、ベンチャーマインドを持った人がシリコンバレーには多いということである。技術者であっても財務諸表を読める人材がいなければ組織は動かないと聞いている。また、男女共同参画社会の実現、ワークライフバランスの面では、小学生の段階で自分がどういうことができるのか、具体的に言えば個人生活、家庭生活、社会生活、職業生活の4つの中で何ができるかを考えさせることが必要だと思う。また、グローバルなコミュニケーションを図る上でも英語教育の推進が必要である。

【事務局】 けいはんなプラザにたくさんのベンチャー企業があり、小学生の職場体験でベンチャー企業との交流を図っている。財務の教育を盛り込んでいくことは今後の課題と考えている。また、女性の社会参画は重要なテーマであると捉えている。高齢化が進んでいく中で、精華町の地域づくりに女性の関わりが大事だと考えている。それに伴い、ワークライフバランスを小学生の段階で教育していくことも必要だという認識を持っている。

【吉田氏】 精華町商工会では、次世代の経営者の育成を図るために経営術の講座を実施している。今まではそういった勉強会では参加者が日銭を出して、講師を呼んで実施していた。今年、経営支援発達計画に関し、国から申し出があり、支援計画に申し込んだ。経営力アップのための援助を国からもらい、若い新たな経営者の育成や後継者の育成につなげていこうとしている。商工会の副会長がシリコンバレーに住んでいたことから、前回の会議のシリコンバレーの話に、副会長は興味を持っており、シリコンバレーとの共通点を若い商工会のメンバーに話をすれば、何か良い影響があるだろうという話が出ていた。男女共同参画について、保育所はあるが、駅前に子供を預かるような託児所のような施設があることが望ましいと思う。女性にとって子育てをしやすく、働きやすい職場づくりを商工会では検討している。ツアー・オブ・ジャパンでも、お茶の京都ということで、スイーツ店を回って簡単な特産物、お土産を開発するような企

画を検討している。5年計画を立て、京都という点を前面に出していきたいと考えている。

【常山氏】 科学体験フェスティバルには2,200人の参加者があった。1回目で相当数集まったため、毎年続けるとしたら、けいはんなプラザでは施設面で限界がある。旧私のしごと館（KICK）のスペースがあるため、それを活用することも念頭においていた方が良く考えている。

【事務局】 科学体験フェスティバルは精華町だけでなく、近隣の市町村の方にも大変好評だったため、今後も継続していきたい。会場等の問題に関しても念頭に入れながら体制整備を検討していきたい。

【中村氏】 研究者の出前授業でもコーディネーターが必要だと思う。

【事務局】 出前講座を行っており、担当者が1名いる。しかし、科学のまちの子どもたちプロジェクトを推進していく上で、体制の変更をしないと発展していかないと考えている。

【森家氏】 関東でもけいはんな地区を知っている人がいる。科学のまちを進めていく上でどのようにアピールしていくか、精華町が中心になると考えられるため、工夫を持って進めて欲しい。また、仕事の創出という面で、どのように事業化していくかという観点が入るとなおよいと考える。

【事務局】 東のつくばに対して、西のけいはんなということを知らない人も多い。けいはんな学研都市をアピールするためにも、科学のまちの子どもたちプロジェクトを推進し、シティプロモーションに繋げていきたい。まち・ひと・しごと創生ではあるが、精華町では特にシティプロモーションを施策の柱に据えて戦略を組んでいくことをご理解いただきたい。

【今川氏】 基本目標3のふるさとの魅力づくりに関して意見をいただきたい。

【常山氏】 基本目標3-4の環境・アグリバイオパーク構想とはどのような内容か。京大の農場が木津川市に来ることが関係しているのか。

【事務局】 参考資料②京都府の地域創生戦略の23ページを参照いただきたい。地方創生において自治体との連携を進めるように国から言われており、この内容に関しては京都府と精華町で一致している内容であるため、京都府と連携していく意味で掲げている。京大の附属農場が木津川市に来たり、府立大学の附属農場が精華町にあったりすることも、構想に含めて進めていく。また、京都府がKICKでエネルギーだけでなくバイオや農業に関してオープンイノベーションを進めているが、それの中のひとつのテーマとしても理解している。

【常山氏】 デジタルミュージアムの詳細はどのようなものか。

【事務局】 精華町は民具を代表する歴史的な資料、民族的な資料の保存状態が他の自治体に比べて非常に良く、集積の数も多いという評価をもらっている。しかし、

集積したデータが約 1000 点以上あるが、活かしきれていない現状がある。そのような民具等をデジタル化して、一般の方にも見てもらえるように仮想的な博物館のようなものの整備を構想している。

【森 家 氏】 スマートシティ構想の推進に関するイメージはどのようなものか。

【事 務 局】 現在、京都府を中心として関係機関が連携して進めている事業である。昨年までの 5 ヶ年で次世代エネルギーの実証事業をけいはんなで進めてきた。それを受けて、5 ヶ年で積み重ねてきたことを事業化していくために KICK でスマートシティ構想の取り組みが行われている。新しいエネルギー創出のための取り組みについて、京都府や京田辺市・木津川市と事業化に向けて連携を検討している。

【今 川 氏】 基本目標 4 の地元産品・観光のブランド力強化に関して意見をいただきたい。

【本 政 氏】 論点から少し離れるかもしれないが、京都は修学旅行生が非常に多い。精華町の強みである学研都市ということを利用して修学旅行生向けの観光コンテンツとして構築し、職業体験や職場体験ができれば、シティプロモーションに繋がる一つの切り口になるのではないか。

【事 務 局】 町内にある 3 つの中学校で職場体験プログラムを実施しているが、修学旅行生を受け入れる場所や施設に限りはある。ただ、最近は企業の立地も進んでいるので、産業ツーリズムという観点で観光コンテンツを立ち上げる余地はあると考えている。

【中 村 氏】 グローバル化という観点からの要望だが、日本とアメリカでは学期が異なる。アメリカの学生は 6 月ぐらいから夏休みに入るが、日本では中間試験等の最中であるため、観光ツーリズムで海外から来る子どもたちにとってのアクティビティがない。修学旅行も時期は決まっており、海外の学生が来日する期間も想定できるので、上手にコンテンツがかみ合えば、年中学生を呼び込むことも可能になるかもしれない。

【吉 田 氏】 商工会の活動に関してだが、各会社に向けて職業体験をしてもらうためのまちゼミを 11 月に開催する予定をしている。

【中 村 氏】 先日、九州でロボットが受付をするホテルに関して報道があったが、精華町でも同じようなことができればさらによい町になると思う。

【事 務 局】 コンテンツとしてきっかけになるようなものはあるので、今後検討していきたい。精華町でも ATR や NICT のような施設でロボット研究を行っている。アピタで道案内をするロボットの実証実験をしたこともある。そのときはテレビでも取り上げられた。

【今 川 氏】 基本目標 5 の健康・スポーツによる地域活性化についてどうか。

- 【中村氏】 精華町はまだ若い人が多いが、今後介護の必要性が増す。全国的にも電子カルテやテレビ上での診察等、医療介護の研究の取り組みが一般化されていくため、それを踏まえることが必要だと考える。若い世代の人にUターンしてもらうために重要なことは、やはり医療介護の分野だと思う。技術面では、精華町は先進性があるので、全国でもモデルになるように、医療介護分野に先進的に取り組んでいくとよいのではないか。
- 【事務局】 精華町では、健康でいられるまちづくり、高齢でも地域活動ができるまちづくりを追及していきたいと考えている。基本目標5で掲げている事業は、医療介護に関する施策を考えないというわけではなく、特にシティプロモーションの観点で重点的な施策を掲げている。
- 【今川氏】 マイナンバーと医療介護を組み合わせると何かできないか。
- 【事務局】 15ページの5-3に書いておるとおり、精華町としても取り組んでいきたいと考えている。
- 【吉田氏】 JRと近鉄の間で高層ビルを建てるという話を聞いたことがある。実現可能かどうかかわからないが、お年寄りが独居している世帯が多いことから、そのような人たちを駅の近くのマンション等に住んでもらい、空いた家には若い人に住んでもらえるようにすると、町外からの転入もあり、流出抑制に繋がる。集合住宅では子供が増えたときに手狭になり、一戸建てを建てようとしても精華町は土地が非常に高い。高齢者住宅用のマンションを駅前に建ててもらえると発展するかもしれない。
- 【事務局】 高齢化に伴い、空き家の問題が出てくると考える。空き家対策も今後の検討課題であると認識している。
- 【今川氏】 その他に全体を通して意見や言い足りないことはないか。
- 【森家氏】 基本目標4や5において、地域産品を売り出す場合、売り出すための工夫や活用の仕方がポイントである。また、健康管理に関して、良いモデルを作るつもりで実施して欲しい。
- 【吉田氏】 精華町ではケールの栽培を行っている。そのケールと抹茶を使ったスイーツの開発を町内の菓子店と検討している。
- 【事務局】 PRの工夫としては、昨年試験的にラベルを精華町のキャラクターにして特産品を東京で販売した。また、秋葉原で販売しないかという話もあり、精華町のキャラクターを活用した販路の拡大が検討できると考えている。ヘルスツーリズムに関して、歩数計をスマートフォンのアプリとして制作途中であり、全国で使ってもらえるような仕組みづくりができればと考えている。また、ツアーオブジャパンがあるため、来場客への土産や秋葉原で販売できるような商品も考えていきたい。

【中村氏】 セイカちゃんのクッキーなどがあれば消費者も欲しいと感じるのではないか。京都市内の人が集まるところに精華町の特産品を扱ったアンテナショップを作るのもよいと思う。

【今川氏】 京都でもくまもんグッズが売っている。

【吉田氏】 京都銀行と京都中央信用金庫あたりは土曜・日曜がシャッター街のようになっており、商工会に場所を貸して欲しい。

【常山氏】 学研都市として今後すべきことは、精華町と同様にプロモーション。精華町のプロモーションと学研都市のプロモーションの歩調があえばなおよいと考える。

4 事務連絡

【事務局】 今後のスケジュール等に関する説明

5 副町長挨拶

以上

第2回精華町まち・ひと・しごと創生有識者会議第2グループ議事摘録

日時：8月19日（水）10時00分～12時00分

場所：庁舎6F委員会室

1 開会

2 資料説明

【事務局】事務局より資料及び今後のスケジュールの確認

3 ブレインストーミング（意見交換）

今川氏を座長として、意見交換

【トーマツ】 人口ビジョンにおける精華町の目標人口の考え方

目標人口の考え方（配布資料④精華町人口ビジョンのP19～P21）、目標人口は2022年（総合計画最終年）に3.8万人程度を目指す。また、2030年～2040年は3.8万人程度を維持し、2045年以降は緩やかな減少に抑える。

配布資料④P18の人口シミュレーション「中位（移動）・高位②（出生）」をベースに、2035年以降、出生率が国の算定した希望出生率（1.8）に徐々に近づくとし、推計を行った。若者の流出を抑制するとともにUターンを促す。

宅地開発による転入者の増加を図り続けることは困難であることから、出生率を高める施策を随時実施していく。

人口ビジョンに関して意見交換

【今川氏】人口ビジョンに関して、堀井氏から説明があったが、質問や意見を出して欲しい。

【森田氏】人口推計の結果は、地域の現実とかけ離れていると感じる。たとえば東畑地域では、高齢者単独や夫婦だけの世帯が多く、子供は出て行っている。その子供たちも町外で既に生活の基盤があり、Uターンしてもらうのは難しい。20～30年後には、たとえば東畑の世帯数は現在の200世帯から半分の100世帯ほどになると私個人は考えている。寺や神社、農業といった今までの地域社会の維持が難しくなってきたように感じている。このような実態を人口ビジョンには反映されているのか。

【トーマツ】人口が増加するエリア・減少するエリアはあると思うが、推計は精華町全体で行っており、平準化して算出している。高齢者が増え、人口が減るのは自明なので、Uターンの促進などの施策を行って、この目標に近づけていきたい。

【事務局】精華町人口ビジョンの19ページの社人研の推計では、人口は今後右肩下がりで減少する。この減少幅を緩やかにしていくための施策を行っていく（若者のUターンなど）。5ページでは、山城地域の昼夜間人口を比較しているが、精華町は76.7パーセント。これは最下位に近い水準であり、定住人口を増やすとともに、昼間人口、交流人口を増やす施策を実施していきたい。

【事務局】 地域創生戦略素案の説明

・【基本目標1】誘客拡大に向けた情報発信の強化

交流人口拡大に向けて、地域の魅力をインターネットや動画等の多様なメディアで情報発信するほか、サブカルチャーにおける創作活動支援等、けいはんな学研都市における多様な文化の創造・発信を促進する。

・【基本目標 2】 地域に誇りを持つ教育の推進

未来を担う子ども達に、世界最先端の科学と文化が集積する研都市にふさわしい学びの機会を提供するため、「科学のまち子ども」プロジェクトを推進するとともに、地域公共人材の育成を図る。

・【基本目標 3】 ふるさとの魅力づくり

各地域の歴史・景観をはじめとする地域資源を再発見し、情報を整理・集積し公開等することで地域の活性化につなげる。また、より多く住民が「ふるさとは“ここ精華町”」と感じられるよう、子どもや高齢者、障害者等にやさしい情報発信を推進する。

・【基本目標 4】 地元産品・観光のブランド力強化

地元産品の販売力向上や販路拡大による六次産業化へ向けた取り組み、地域資源の観光コンテンツ化等による地域ブランドの創造・強化を図る。

・【基本目標 5】 健康・スポーツによる地域活性化

ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ開催を契機に、自転車を核とした交流人口の増加、地域のPRを図る。また、町を挙げて健康づくりに取り組む「せいか 365 プロジェクト」の推進に向けた情報発信に取り組む。

地域創生戦略素案に関する意見交換

【今川氏】 基本目標 1 の誘客拡大に向けた情報発信の強化で意見、修正点などの指摘をいただきたい。

【山口氏】 情報発信をすることは良いと思う。ただし、何を発信するのかによってツールも変わってくる。どのような切り口を想定しているのか。

【事務局】 すべての情報が不足しており、情報発信の充実が必要であると考えている。東のつくばに対して、西のけいはんな学研都市。学研都市精華町という周知を推し進めていく。住民も精華町の良さを認識していないので、住民向けにも地域資源を発信してもらいたい。内向きと外向きの情報発信を行っていききたい。

【矢野氏】 ネットが重要視されているが、マスメディアに向けた情報発信がまずは重要である。これは、信用できる人（機関）が情報を発信しているという意識を持ってもらうことがねらいである。自治体の情報発信があり、新聞社の情報発信があり、その後にソーシャルメディアの情報発信が来る。これがいまの情報の流れである。ヤフーのトピックスにどうやって掲載されるかを考えることが大事ではないか。

【事務局】 マスメディアの活用を踏まえ、それに加えてソーシャルメディアを活用して情報を拡散させる仕組みを考えていきたい。

【山口氏】 けいはんな記念公園でも情報発信を頑張っているが、その経験から言えばマスメディアとともに、地元への情報発信が重要である。特に内向きへの発信としては、華創のような紙ベースのツールも大切である。

- 【木戸氏】 研究者として精華町で働いている外国人も、住んでみて初めてその良さに気付く。外国に向けては情報が全く発信されていない。文化、施設もたくさんあり、東京や大阪への交通アクセスも良い。しかし、検索しても精華町のことはヒットしない。そこは工夫する必要がある。
- 【事務局】 フェイスブックなどで国際交流員の英語による情報発信も行っているが、なかなかうまくいっておらず、課題だと認識している。提案やアイデアがあればいただきたい。
- 【佐久間氏】 ふるさと案内人としては、情報発信できるものを蓄積しているところである。ふるさと案内人の精華町内での認知度は低く、小学生は10パーセントぐらいであるが、中学生は4～5パーセント、一般の方が6パーセントほどである。小学生と中学生の認知度の差を考えると、ここ3年間ほどで、小学校低学年と接してきた結果だと思う。先日も、山田小学校の3年生に地元の歴史を話させてもらった。こうした活動により、内向きへの発信を進めていきたい。
- 【今川氏】 海外の方は出身地の自慢話をしたりするが。
- 【佐久間氏】 海外の方の話でいえば、アメリカ在住で父親が祝園出身の方が祝園神社の祭りに参加され、案内したことがある。
- 【今川氏】 基本目標2の地域に誇りを持つ教育の推進に関して意見をいただきたい。
- 【山口氏】 教育に関しては、前回の会議のときに木戸さんがおっしゃっていたが、精華町の教育環境はブランドになりうると思う。しかし、その際に話があったことと総合戦略の施策とではギャップがあるように思う。公園に来られている方が喜んで帰るのは、水遊びができる、森で遊ぶことができる、そして、管理人がいるため安全で子供を遊ばせられるからではないか。これは精華町の一つのブランドになると思う。前回も申し上げたが、世界的に有名な満足度の高いまちは公園面積の割合が高い。けいはんな記念公園は24万平米あり、人口を3～4万人としたら、住民1人当たり6～7平米くらいの広さになる。これに各地区の公園を加えると、15～20平米くらいはいくと推測され、これは全国的にも相当高い数字ではないか。子供たちの教育にも大きな基盤になる。また、アンケート結果を見ると、子育てをできる環境を親御さんは望んでいる。学童保育や女性の就労支援など、子供を育てやすく、教育が充実したまちであることが重要だと思う。これらの施策を入れてもいいのではないか。
- 【事務局】 けいはんな記念公園をはじめとした自然は精華町を含め、学研都市においても大きな資源であることは認識している。基本目標3の3-2豊かな自然環境を活かした交流人口の拡大というところで自然環境の利用を挙げているが、精華町は科学だけではなく豊かな自然環境にも親しんでもらえるということ、教育の面で表記を工夫していきたい。
- 【山口氏】 子育てしやすい環境は魅力的である。人口ビジョンでも少子化対策を挙げているが、子育て環境が全国よりも整っていることをアピールしていくことで、

人を呼び寄せてくることに繋がると思う。特に女性目線での支援策を考えて欲しい。

【木戸氏】 最終的に住むところを決めるのは奥さんである。前回の会議の後からも考えていたことだが、子育て中の女性が自己実現できて、収入を得ることができる新しいことがあれば・・・と思う。もしくは、子供を安全に預けられる仕組みがあれば、子育て中の女性も仕事に行くことができる。「科学のまち」に関しては推進すべきである。学校の理科の授業で、先生は実験が苦手である。それであれば、プロの研究員に実験を任せてもいいのではないか。それを進めるためのコーディネーターを整備したほうがよい。

【事務局】 学校の先生は、理科の実験が苦手ではないかという意見であったが、先生と研究者の間で実験の勉強をする機会を設けたりしていると聞いている。このプロジェクトは推進していきたいと考えている。

【今川氏】 他に意見はあるか。

【矢野氏】 女性のキャリアを活かした地域での活躍の促進に関して、気になったことがある。仕事を辞めて家庭に入っている人でも、手に職を持っている人も多い。趣味レベルの人もいれば、専門学校を出たような方もおり、スキルを持った方を広報に活用してはどうか。私の経験でいえば、兵庫県のサブカルチャーをPRするために「オタクをもっともっと」という企画を行った。2人の募集定員に対して70～80人の応募があった。このように、自分の趣味を仕事にしたい人は多い。芸大とか美術大を出た女性で、家庭に入っている人もおり、その人をパートでも在宅でも良いので雇用し、サブカルチャーをアピールすることで、精華町はサブカルの方に優しいまちという認識が広がるのではないか。また、昨日若いコスプレをしている高校生に衣装に関して話を聞くと、コスプレの衣装をおばあちゃんが作っているとのことだった。衣装づくりを通じて、若者とお年寄りをつなぐといったこともできればよいのではないか。

【今川氏】 基本目標3のふるさとの魅力づくりに関して意見をいただきたい。

【佐久間氏】 3-1にある観光ルートの開発という表現はどうかと感じる。精華町は京都や奈良のような国宝級の観光名所は少ないが、散策路といった緑がたっぷりの魅力的な場所が多い。みんなが歩けるところで、普通の緑がある風景を売り出していくだけでもよいのではないか。また、デジタルミュージアムというのはどういうものか。

【事務局】 観光ルートに関しては、佐久間氏の考えられているように事務局も捉えているため、表記の仕方の工夫はしていきたい。デジタルミュージアムの詳細はこれからだが、イメージとしてはホームページ等でどこにいても精華町の民具や歴史的な資料を見られるようなものをイメージしている。

【事務局】 補足すると、観光ルートに関しては、散策ルートという側面のほかに、精華町はコンパクトなまちであるが散策するには距離があるため、路線バスや自転車も活用していくことも一案ではないか。デジタルミュージアムについては、

教育委員会で民具を保管しているが、保管されているだけで活用されていない。保管しているものを外に出して見てもらえるようにしていきたい。

【事務局】 デジタルミュージアム化については、第1グループの常山氏から私のしごと館に郷土資料館を誘致したらよいのではないかという意見があった。南山城でいえば、精華町は民具の保管量が圧倒的に多いという話があり、眠らせておくだけではもったいないため、デジタルミュージアムでの活用を考えている。

【佐久間氏】 精華町で奈良時代の井戸が発掘された。井戸は生活の場そのものであり、展示ができなくても、デジタル化によって公表していくとよいのではないか。東畑に民具を集めた資料館があるため、それも活用していただければと思う。

【山口氏】 ふるさとの魅力づくりとして自然環境を活かすためには、緑をきれいにすることがまず重要である。里山が多くあるが、荒れおり、それをきれいにすることが大事である。また、精華大通りは電柱がなく、並木もきれいだ、夏になれば草が生えていて荒れている。まずはハード面の整備を重視すべきではないか。自然環境や通りをきれいにしていく仕組みを考えていけばよいと思う。里山については、木を使ったエネルギーの開発（木質バイオマスエネルギー）を活用すれば、関電などから電気を買わなくてもエネルギーを確保できる。これをうまく利用すれば、エネルギーの自給ができ、町にお金が落ちて、雇用が生まれる。地域でお金が回るようになる。里山に価値を持たせ、美しい森をきれいに保ち、かつ経済と結びつけるために、木質バイオが切り口としては注目されているため、活用してはどうか。

【事務局】 元々ある自然環境を保全していくということは大事だと考えており、精華大通りの整備も対応していきたい。また、木質バイオエネルギーがエネルギーの自給自足、雇用に繋がっていくことも踏まえ、今後の課題として考えていきたい。

【山口氏】 高齢者が増えるのは避けがたい。高齢者が地元で働くことも重要である。それに関して木質バイオが活用できると考える。

【森田氏】 歴史ある資源はあるが、現実にはほったらかしにされている。活用するためには、お金もかかるし人手も必要である。何かしらのきっかけがないと、自主的な整備を推進するのは難しい。そうしたきっかけをつくったり、応援したりするような施策が必要である。

【事務局】 地域資源の掘り起こしに関して、地域の美しさを作っていくということはシティプロモーションという視点でも重要であると考えている。基本目標2で挙げている地域公共人材の育成の施策の中で、先頭に立っていただける方、地域活動をコーディネートしていただける方を後押ししていきたいと考えている。

【今川氏】 基本目標4の地元産品・観光のブランド力強化に関して意見をいただきたい。

【木戸氏】 東京にいる娘に聞いていると東北の震災の原発事故以降、食材は九州からのお取り寄せばかりという家庭もある。しかし、京都のこのエリアのものは売ら

れていない。精華町のもものは美味しいのでもっと売り出してもいいのではないか。

【事務局】 精華町も売り込んでいける余地があると考えている。4-3にあるように首都圏への特産品の開拓を進めていきたい。

【矢野氏】 東北でも復興のために東北のものを買ってくださいというアピールをしてくると考えられる。その中で、精華町の特産品をどのようにアピールしていくのかを考える必要がある。別の地域の食材も良いが、こちらの食材も良いとお互いに認めあうというやり方もある。その際に地域のキャラクターや代表者を利用することも一案だと思う。

【事務局】 精華町は農産物に対するブランド認証制度を行っており、それと広報キャラクターの活用や、他の地域とのリンクは今後検討していきたい。

【佐久間氏】 具体的な例として、11月に地元の神社で神楽祭りがある。夜に神楽を見る前に鯖寿司を地元で作ってもらってふるまうイベントを企画している。15人ほど参加者を募集する予定。こういったことを増やしていければよいのではないかと考えている。

【木戸氏】 ふるさと納税のプレゼントは何かあるのか。

【事務局】 今は何もしていない。今年から制度も変わっているため、今までどおりではいけないという認識を持っている。基本目標 1-1 でクラウドファンディングを活用したふるさと納税も含めて、何らかの対策は今後は検討していきたいと考えている。元々精華町がふるさと納税に関わらなかったのは、景品合戦になり、ものをもらうために納税することがよくないのではないかと考え、他の自治体とは一線を画してきた。精華町の取り組みに対する応援という趣旨でのふるさと納税を進めていきたい。

【山口氏】 特産品や観光、農業に対して、高齢者や子育て世代を活かすことが地方の活力を上げる要因となりうる。また、けいはんな記念公園で、自分で作った農産物を加工した商品を公園で売って欲しいという話があった。6次産業という考え方が織り込まれているのは良いと思う。

【今川氏】 基本目標 5 の健康・スポーツによる地域活性化についてどうか。

【山口氏】 高齢化が進んでいる中で、65歳以上の方が健康的に生きていけるかが大事になる。65歳以上の方が誇りを持って生きていけることが大事なような気がする。先ほどのバイオマスもその文脈で話し、そうした観点を反映させてはどうか。

【事務局】 基本目標 2-2 で、地域公共人材の育成をあげており、その中で高齢者の活用も考えている。精華町のまちづくりに活躍してもらいたいと考えている。

【佐久間氏】 5-2 のせいか 365 プロジェクトとふるさと案内人で連携をしており、11月に実施する散策では体操を取り入れた内容を検討している。

【今川氏】 その他に全体を通して意見や言い足りないことはないか。

【佐久間氏】 合計特殊出生率を1.8にするという目標があるのはいいが、バラマキのような施策ではなく、保育園や幼稚園などの設備の充実や働いている人の給料アップをすることで、女性の方が安心して子どもを産める環境を整えればいいと思う。

【事務局】 子育て支援の充実においては、精華町では子育て世代の流入が増えているので、成果が出ていると捉えている。ただし、施設で働いている方の給料アップについては、今すぐに対応することは難しいため、それに関してはご理解いただきたい。

【山口氏】 創生戦略の概要の箇所で人口ビジョンの課題（人口減少とその対応）と、総合戦略の施策との結びつきをもっとわかりやすく説明したほうがよい。

【事務局】 検討させていただきたいと思う。

【今川氏】 説明という意味でいえばストーリーをもう少し付け加えてもらえればわかりやすくなると思う。他に言っておきたいことがあれば遠慮なく言って欲しい。

【山口氏】 外側に向けた発信として、ブランディングしていくには戦略が重要である。総合戦略の一覧だけみてもパッとしないので、ブランディングのための戦略を別途考えてもいいのではないか。

【事務局】 広報といっても色んなやり方があるため、ブランディングに関しては先進事例を見ながら、精華町にとってどのように進めていくのがよいか、研究していきたいと考えている。

4 事務連絡

【事務局】 今後のスケジュール等に関する説明

5 副町長挨拶

以上

7. (仮称)精華町地域創生戦略(素案)に対する
議会からの質問事項

「(仮称) 精華町地域創生戦略 (素案)」に係るご質問事項について

ご質問内容	ご質問に対する考え方
<p>・人口増加傾向にするためには、有配偶者率の向上、合計特殊出生率の向上が欠かせないことは、各データから読み取れる。具体案はどのようなか。</p>	<p>有配偶者率につきましては、30歳～40歳代では比較的高水準にあるものの、20歳代が低水準であることに鑑み、若い世代が安心して結婚できるよう、町内での安定した雇用の確保に向け、引き続き企業誘致などに取り組む必要があると考えています。</p> <p>また、合計特殊出生率についても同様の傾向にあり、本町としても、これまでから子育て支援施策の充実などに努めてきておりますが、今後も引き続き、国や府と連携しながら第5次総合計画に基づく各種の子育て支援施策の継続とさらなる充実に努めていく必要があると考えています。</p>
<p>・特に、近隣や類似自治体との比較で、合計特殊出生率の低さの原因を探り、対策を講じる必要がある。</p>	<p>上記と同様の考え方です。</p>
<p>・また、10代後半から20代の社会減の解決策としては、学ぶところと働くところを町内又は近隣に確保する必要がある。</p>	<p>お見込みのとおりであり、引き続き企業誘致などに努めてまいります。</p>
<p>・これらをどのように考えるのか。</p>	<p>少子化対策や企業誘致、産業振興など各分野の取り組みについては、第5次総合計画に基づき進めてまいります。これらの施策がより効果的に推進できるように、本戦略では、特に“精華町の魅力発信”「シティプロモーション」に特化した取り組みを進めてまいりたいと考えています。</p>

内 容	ご質問に対する考え方
<p>【クラウドファンディング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政難の本町にとってPRをかねて歳入増を狙う施策として大変有効であると考えている。是非効果的に進めて欲しいが、具体的な周知方法は。また、広く周知する必要があると考えるが、対象を全国にするならどうするのか。範囲は。 	<p>具体的な手法については、事業実施段階で決定していきたいと考えています。従前のふるさと納税制度はふるさと産品をめぐる過当競争が問題となりましたが、本町が考えるクラウドファンディングは、こうした過当競争にならないように、インターネットを活用して、特定の事業の趣旨に賛同し、応援していただける精華町のファンを増やすとともに、心のこもったお礼を込めて事業実施の成果をお返しできる仕組みを検討していきたいと考えています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・この戦略を実行するに当たりマンパワーをどう考えているのか。現職員で対応できるのか。外部からの支援を得るなら本町住民の力を得られないか。 	<p>シティプロモーションを推進するにあたっては、幅広い知見と専門的な能力が必要であることから、外部の支援に頼らざるを得ない部分もあると考えています。</p> <p>一方、地域の魅力の発掘や発信の部分では、既に地域の団体や住民の方々が取り組みを進めていただいておりますことから、そうした方々と連携・協働しながら、シティプロモーションを推進していきたいと考えています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・さらなる用途変更を視野に、交流人口の増加につなげるための商工業の発展・土地の利活用（特区活用）など必要な施策と考えるが、基本目標として項目を増やせないのか。 	<p>お見込みのとおりであり、第5次総合計画に基づき、町北部地域の未整備クラスターを中心に土地の利活用に努めてまいります。</p>

<p>・プロモーションした結果、「受け皿」「仕組み」をどうするのが明記されていない。地元製品の普及をどのような場所で開発し販売するのか。ネット発信をどのような形で地域還元するのかなどの具体策が必要でないか。</p>	<p>シティプロモーションを展開することにより、将来的には、研究開発から製造まで、そして、大手から中小企業に至るまで、いわゆる川上から川下まで、裾野の広い産業集積を図り、職住近接のまちづくりに努めていく必要があると考えています。なお、個々の事業の具体的な手法については、実施の段階で構築していくこととなります。</p>
<p>・人材育成の具体策はどうか。</p>	<p>本戦略に基づくシティプロモーションにおきましては、「科学のまちの子どもたち」プロジェクトの推進と、「せいかまちづくり塾」を中心とした地域公共人材の育成を中心とした取り組みを想定しています。</p>
<p>・交流人口の拡大を実現するためには、駅前化環境の整備(例えば、インフォメーション機能や飲食、待ち合わせポイントなど)、交通力の整備(駅前広場の増強、L R Tなどの導入、域内共通パス制度、高速道路を活用した大都市・中小都市からの直接的アクセスの確保など)、滞在環境の整備(宿泊施設の拡充、飲食やショッピング、科学館などの文化的施設など)が必要と考えるが、どうか。</p>	<p>本戦略は、町内外に向けてのシティプロモーションに特化したアクションプランとして位置づけており、国の交付金の対象経費も考慮するなかで、主にソフト面及びそれに付随した情報発信を目的とするICTの活用などをイメージしており、ご質問のようなハード整備などの必要性については一定認識していますが、本戦略に盛り込むことは想定しておりません。</p>

以上

8. 精華町子ども議会報告

平成 27 年度子ども議会事前意見一覧

1. 安全・安心に関して

議員名	学校名	意見・アイデア
いづみ ゆうと 泉 優大	精華台小学校	カーブミラーを増やしたり、夜の事故を防ぐため、明かりを増やす。歩行者用道路と自動車用道路の間に柵を設け、事故防止する。助け合ったり、声をかけ合ったり、みんなで協力できる町にするとみんなが安心する。
てらもと こたろう 寺本 虎太郎	精北小学校	精北小学校区だけでも数多くある、見通しの悪い十字路にはカーブミラーをつける。カーブミラーやガードレールをつけ、交通事故を防止する。自転車は横並びにならないようにする。自転車のルールを守ることを、皆に呼びかける。
たけだ とくなり 竹田 徳也	川西小学校	歩道の狭い道に、歩道をもうける。狭い道路を広くする。
おおにし けいと 大西 啓斗	精華台小学校	音の鳴る信号を増やして、高齢者や障害者が歩きやすい道路をつくる。高齢者や障害者に声をかけ、手伝ってあげる。
なか すばる 中 昂琉	山田荘小学校	あいさつや地元の行事に積極的に参加することで、みんなが顔見知りの親しい町になると思う。犯罪が起こりにくくなる。問題のある行動をする人が減る。困ったことがあっても、助け合える。誰に対しても優しくなれる。
くらもと くるみ 蔵本 来海	東光小学校	あいさつ運動。地域の人で花を植える。資源を大切にす。お年寄りからこどもまで楽しめるイベントを開催する。いつでも身近に利用できる地産地消の店を作る。一週間に一回お年寄りの方に看護をつける。暗い、人目のない道に見張りをつける。
ふじた あおし 藤田 葵詩	東光小学校	地域の人と顔を合わせて会うこと、話すことがもっと多くあればいい。特に、子どもと大人が話すことがない。家の前で知らない人に会っても、あいさつしていいのか、しないほうがいいのか迷う。顔見知りになれば、あいさつも話もできる。子どもから大人までみんなが参加できるイベントをもっと多く作りたい。
おおうち ひると 大内 大翔	川西小学校	公園の周りの住宅にボールやフリスビーが飛んでいかないよう、ネットを高く張る。近所同士で、もっとあいさつができるような環境づくりをする。ゴミのポイ捨てをしないようにする。
にった そうま 新田 颯真	川西小学校	信号を渡るときは左右の確認、踏切では音が鳴り始めたら止まるなど、当たり前前のルールを一人一人が守るように心がければ、交通事故を減らすことができる。歩行者、自転車、自動車それぞれがルールを守ることも大切。きれいな町は犯罪が起こりにくいと思うため、定期的に清掃活動を行う。

2. まちの PR に関して

議員名	学校名	意見・アイデア
とさか あきら 土阪 誠	山田荘小学校	交通が便利だということをPRしたい。鉄道では、京都・奈良・大阪へすぐに行ける。空港へのリムジンバスも発着している。駅周辺には、大型ショッピングセンターもあり便利だ。電車やバスの車内に広告を貼ったり、ラッピング車を運行させてはどうか。
うねにし はるか 植西 陽香	東光小学校	いちごがおいしい。交通の便がよい(大阪・京都・奈良)。やさしい人づくり(キッズサポーターほか)。地域の人とよく関わる(あいさつ運動、スクールヘルパー、図書ボランティア、清掃活動)。自然が豊か(けいはんな記念公園、東畑の田畑など)。学研都市の良さを活かした勉強(ロボット、電子辞書など)。
よしむら てっぺい 吉村 鉄兵	精華台小学校	精華町の知ってそうで、知らなかった歴史や文化をうちわに印刷して配布する。たとえば、夏祭りなどの人がたくさん集まるところで配布する。
たなか ゆか 田中 優香	精華台小学校	おいしい精華町産の果物を学校給食に取り入れる。研究所に、社会見学や学校での特別授業を依頼する。有名なけいはんな記念公園を使って、大人・子どもが関係なく遊べるイベントを開催する。
こいずみ はると 小泉 春翔	東光小学校	全国的にも有名になるキャラクターを作る(京町セイカよりこいキャラクター)。ホームページを充実させる(子ども向けのゲームコーナーなど)。町民みんなが楽しく参加できる国内初の行事を開催する。町歌をつくる。
おかだ れん 岡田 蓮	精北小学校	家の前にあった田んぼが住宅開発で無くなった。自然を復活させたい。精華町の森をきれいにし、「かがやく森」と名付ける。そこにつながる道をつくり、「かがやく森へ」と名付けて、みんなが森や自然と触れ合えるようにしたい。「かがやく森」をつくるための、ボランティア活動を行いたい。

子ども議会委員会報告

日時：7月22日（水）午後

場所：精華町役場6階議場及び第1第2委員会室

【議長】

再開します。

今日は、町長さん、教育長さん、私たちの質問に丁寧にお答えいただきありがとうございました。

また、傍聴席の皆さん、今日は多くの皆さんにお越しいただき、ありがとうございました。

今日、私たちは自分たちの思いを代表質問で提案した後、まちづくり委員会で意見交換をおこないました。

まちづくり委員会での意見交換の結果をそれぞれの委員長から報告していただきたいと思えます。

まず、まちのPRについて報告願います。

土阪議員、どうぞ。

※まちのPRについて

【土阪議員】

まちづくり委員会、まちのPRについて委員会が出された意見を報告します。

精華町は交通が便利だという事、鉄道では京都・大阪・奈良へすぐに行ける、空港へのリムジンバスも発着している、駅周辺には大型ショッピングセンターもあり便利、電車やバスの車内に広告を張ったり、ラッピング車運行させてはどうか、イチゴがおいしい、自然が豊か、学研都市の良さを生かした勉強ができる、精華町の歴史や文化をうちわに印刷して配布する、おいしい精華町の果物を学校給食に取り入れる、研究所に社会見学や学校での特別授業を依頼する、有名なけいはんな記念公園を使って大人・子供が関係なく遊べるイベントを開催する、イチゴの早食い・大食いのイベントも出されました。

全国的にも有名になるキャラクターを作るという事で、京町セイカの広める方向については、活発に意見交換しました。

自然を復活させたい。精華町の森をきれいにして、「かがやく森」と名付ける。

このようなたくさん意見が出ました。以上、町のPRについての報告を終わります。

【議長】

続いて、安全安心のまちづくりについて報告願います。

藤田議員どうぞ。

※安全安心のまちづくりについて

【藤田議員】

安全安心のまちづくりについて、5つにわたりました。

一つ目は、交通事故を防止する取り組みをする、カーブミラーやガードレールを付ける、明かりをつける、子供や高齢者や障がい者が歩きやすい道路をつくる、自転車の乗り方に一人一人が気を付ける、交通ルールをしっかりと守り、自分の命も友達の名も大切にすること。

二つ目は、犯罪が起らないためにきれいなまちにする取り組みをする。きれいなまちには、犯罪が起りにくい。そのためには、定期的な清掃活動をする、ゴミや空き缶をほかさない、花いっぱいのかきれいなまちにする。

三つ目は、地域の人とのコミュニケーションづくりの取り組みをする。たとえば、毎日のあいさつ運動。地域の人と顔を合わせて、顔見知りになる。人とのつながりをするのが大切。地域の行事に積極的に参加する。みんなで協力し合って相手を思いやる優しい心を持つ。

四つ目は、いじめは絶対にしない。

五つ目はスマホ・携帯の使い方にルールを守る。

これで終わります。

【議長】

それぞれの委員会から議論の結果を報告いただきました。

いずれの議員も積極的に意見交換いただきありがとうございました。

ご苦労様でした。

本日は、子ども議会に参加して貴重な時間を過ごすことができました。学校を越えた新しい友達もできました。

これからも精華町のまちづくりに関心を持ち、活躍できる場面があればみんなで力を合わせて取り組んでいきたいと思います。

町長さんをはじめ多くの皆さんには、私たちがあたたかく見守っていただきたいと思います。今日はありがとうございました。

これで平成27年度精華町子ども議会を終わります。

どうもありがとうございました。

9. (仮称)精華町地域創生戦略(素案)に対する
パブリック・コメント意見対応表

「精華町人口ビジョン(素案)、(仮称)精華町地域創生戦略(素案)」パブリック・コメント結果

通番	ご意見の内容	ご意見に対する考え方
1-1	<p>「精華町人口ビジョン及び精華町地域創生戦略」に提案 「住んでみたい、住んで良かったまち」</p> <p>我が町、精華町には東西に精華大通り(都市景観 100 選に選ばれました。)があります。けいはんなプラザにある日時計広場(京都府景観資産に選ばれました。)</p> <p>精華大通りには「KICK」(旧・私のしごと館)が再スタートしました。</p> <p>そして、5月に「サントリー研究所」がオープンしました。また8月に「大幸薬品・京都工場」が完成しました。また「国会図書館関西館書庫」の第2期工事が決まったと聞いています。</p> <p>今年のビッグニュースは「三菱UFJ銀行・事務センター」がけいはんな記念公園の前に建設されることです。</p> <p>精華大通りに企業が増えれば雇用も生まれます。シルバー人材センターにも影響があります。</p> <p>「狛田駅」東側の「町開き」も出来て「商業施設」も出来ていると思います。</p> <p>「訪れたい、訪れて良かったまち」づくり</p> <p>将来の精華町人口は約4万人(2025年予測)で高齢化率35%(2025年予測)になるだろうと言われています。精華町も少子化高齢化社会に突入です。</p> <p>そこで、現在凍結状態になっている「東畑地区の開発」です。</p>	<p>お見込みとおり、企業・研究機関の立地が好調に推移しているとともに、旧私のしごと館が京都府により研究開発拠点「KICK」として活用されるなど、けいはんな学研都市にとって「追い風」といえる状況となっている一方で、将来には急激な高齢化の到来が予測されています。</p> <p>そういったなかで、ご提案のような、東畑地区における開発の計画は現時点では予定しておりませんが、今回の本戦略は、町の外に向けた対外的な情報発信と、町内に向けた住民等向けの情報発信を一体的に推進するシティプロモーションを政策の柱とした5つのプログラムを基本目標として、そのための具体的施策を設定しています。「学研都市精華町」のPRの推進などにより、都市のブランド力を高め、訪れたいと感じてもらうことで交流人口の拡大を目指し、それが住んでみたいという思いにつながるような町の魅力の発信が必要と考えています。</p>

	<p>①「シルバーゾーン」=(特別養護老人ホーム・デイサービスセンター・リハビリセンター・娯楽施設)</p> <p>②「野外活動ゾーン」=(キャンプ場・アスレチック・バーベキュー・親水ゾーン)</p> <p>③「町立東畑団地」=(若い世代に低家賃にする。)</p> <p>④「交通アクセス」=(2ウェイの奈良交通バスで・祝園駅・登美ヶ丘駅方面)</p> <p>(一部抜粋)</p>	
2-1	<p>①学研都市精華町のアピール</p> <p>学研都市のことが、周りに知られていません。精華町を知ってもらうためには学研都市のことを世界中にアピールしなければならないと思います。PVをYouTubeで公開するなど、もっと積極的に広報をした方が良いのではないのでしょうか。</p>	<p>けいはんな学研都市の知名度向上については、課題として認識しているところです。本戦略におきましても「基本目標1」の具体的施策として「インターネットメディアを活用した『学研都市精華町』のPR」を掲げまして、ご意見にもありますYouTube等の活用を含め、さまざまな媒体を活用した積極的な情報発信に取り組みたいと考えています。</p>
2-2	<p>②緑のまち精華町</p> <p>精華町は緑がたくさんある町です。町の施設等にもっと植物を植えたりしてきれいな街を演出すれば良いと思います。</p>	<p>精華町の自然環境や景観は、貴重な地域資源と捉えています。本戦略の「基本目標3」にも「豊かな自然環境を活かした交流人口の拡大」を掲げており、地域の里山やけいはんな記念公園との連携を通じた交流人口の拡大を図りたいと考えています。ご意見のような町内の緑を増やすことにつきましても、これまでから推進しています「きれいなまちづくり運動」等を通して、さらにPRしてまいりたいと考えています。</p>

3-1	精華町の広報キャラクター京町セイカちゃんをもっと活躍させてあげてほしい。3DモデルとかコミPoとかを使った自治体キャラクターはすごく貴重だと思うので、どんどん頑張ってもらいたい！！	お見込みのとおり、「基本目標1」の具体的施策「インターネットメディアを活用した『学研都市精華町』のPR」におきましても、広報キャラクターの活用は精華町のシティプロモーションにおける重要なツールの一つと考えています。ご提案にもあるとおり、インターネットをはじめICTの積極的な活用により、効果的な広報の展開を推進していきたいと考えています。
-----	--	---